

埼玉県立近代美術館年報

平成25年度



ANNUAL REPORT 2013—THE MUSEUM OF MODERN ART, SAITAMA

■目次

埼玉県立近代美術館 ミッション・ステートメント 及び戦略目標	3
施設	4
美術館誌	5
企画展	
たまもの 埼玉県立近代美術館大コレクション展	6
浮遊するデザイン 倉俣史朗とともに	21
MOMASコレクション	29
MOMASコレクション [I]	29
MOMASコレクション [II]	31
サンデートーク	33
休館中の展示活動	
美の万華鏡	34
風光彩美—埼玉・四季の輝き	36
埼玉県立近代美術館のポスター・デザイン	37
収集事業	39
新収蔵作品一覧	40
美術資料貸出等一覧	86
教育・普及事業	
美術館講座	
近・現代建築探検ツアー	90
子どものためのプログラム	
MOMASの扉	91
夏休みの特別プログラム	92
ミュージアム・コラボレーション	93
企画展ワークシートの作成	93
学校との連携	94
博物館実習	97
美術館ボランティア	
美術館サポーター	98
教育普及サポート・スタッフ	98
MOMAS彫刻ボランティア	99
広聴・広報・刊行物	100
図書資料の収集と公開	102
椅子の美術館	102
ハイビジョン・コーナー	102
トピックス	
[1]座れる段ボールの椅子グランプリ	103
[2]大規模改修工事（第1期）の報告	105
[3]SMF事業概要	106
埼玉県立近代美術館フレンド	107
貸館事業	108
入館者数一覧	109

名簿

埼玉県立近代美術館協議会委員	110
埼玉県立近代美術館資料選考評価委員会委員	110
埼玉県立近代美術館利用審査会委員	110
埼玉県立近代美術館職員	110

■埼玉県立近代美術館 ミッション・ステートメント及び戦略目標

埼玉県立近代美術館は世界の今を生きる全ての人のために存在します。

- 1 美術と出会い、新たな考え方や価値を発見するための体験を提供します。
 - ① 身近な視点から世界の今をみつめ、国境や言語を超えて共有される美術の素晴らしさを紹介します。
 - ② 出会い・発見・感動をキーワードに、新たな視点に基づく展示や美術の楽しさを体感できるプログラムを提供します。
 - ③ 継続的な収集活動を通して特色あるコレクションを形成し後世に伝えます。また館内外での効果的な活用を通じてその魅力を紹介し付加価値を高めていきます。
 - ④ すべての美術館活動の基盤となる調査研究活動を重視します。
- 2 人々が集い、参加し、交流するための基地となります。
 - ① 魅力あるレストランやショップなど上質な空間とゆとりの時間を提供し、高齢者・障害者を含め誰もが利用しやすい環境を持った、居心地のよい美術館を目指します。
 - ② 美術に関する情報センターの役割を果たします。
 - ③ 美術を愛する人々の交流や自主的活動を支援します。
- 3 未来を創る子どもたちの感性と創造力を育みます。
 - ① 子どもたちとともに生き生きとした感性と創造力の素晴らしさを再発見していきます。
 - ② 学校現場との連携を深め、学校による利用の促進を図ります。
- 4 地域や県民とともに進化する美術館を目指します。
 - ① 県民のニーズや時代の変化に対応して進化する美術館を目指します。美術館の情報を公開し改善に努めます。職員の意識改革を継続して行います。
 - ② 美術館の持つあらゆる資源(人・作品・施設等)を有機的・効果的に活用し、新たな顧客層を開拓するとともに、美術館を支援してくださる方々の輪を広げます。
 - ③ 北浦和公園の活用も含め、美術館がまちのにぎわいの創出や地域の活性化に寄与するように努めます。

■施設

敷地面積 35,177m²

建築面積 2,238m²

延床面積 8,577m²

展示壁長 1,440m

建築高さ 17.8m

構造 地上3階、地下1階、鉄筋コンクリート造、
一部鉄骨鉄筋コンクリート造

工期 昭和55年3月28日～昭和57年2月27日

設計 株式会社黒川紀章建築都市設計事務所

開館 昭和57年11月3日

黒川紀章設計の初の美術館である当館の建築上の特色を挙げると、建物全体がグリッド(格子)の立方体により構成されており、入口へのアプローチとして正面のエントランス・ポーチにグレーゾーン(内部と外部との中間領域)と呼ばれる鳥籠状の構造体が鳥のくちばしのように突き出ている。その四角い形の固さを破るように、ファサード(建物正面)には波状の曲面ガラスがはめこまれている。

各階に分かれた展示室の一体感を確保するため、建物中央に4層を貫く吹き抜けのセンター・ホールが設けられた。ここは天井から自然光を採り入れるとともに、中空にさまざまな展示物を吊り下げることが可能で、極めて特異な空間としてコンサートなどのイベントにも使われる。

2階の企画展示室は、前述の波状ガラスによるファサードの一部から、ギャラリーの中に直接外光が入ってくる。これは、密閉して一定不変の人工光線による状態にするという美術館構造の常識を打破する試みである。ここからは北浦和公園の美しい緑を目にすることができ、密閉されることで失われがちな美術館の中での人間性を回復するという意味でも注目される。

開館後の1985-86年には、田中米吉の作品《ドッキング》が外壁など建築と共生するように設置された。

■美術館誌

平成25(2013)年

- 4月 4日 企画展「たまもの 埼玉県立近代美術館大コレクション展」を開催(～5月19日)。
「MOMASコレクション[I]」を企画展「たまもの」と同会期で開催(～5月19日)。
- 4月 14日 「見沼100年構想の会」による緑のボランティアが北浦和公園を整備(以降毎月第2日曜日)。
- 4月 19日 ソメイヨシノ寄贈者の岡部美代子氏に感謝状贈呈。
- 5月 17日 美術館ホームページの改ざん被害が発生。
- 5月 19日 SMF(Saitama Muse Forum)を開催(～1月18日)。ポリスコンサートを北浦和公園で開催。
- 5月 25日 「MOMASコレクション[II]」を開催(～9月1日)。
- 5月 28日 「第63回県展 埼玉県美術展覧会」を開催(～6月19日)。
- 6月 21日 「第1回埼玉県立近代美術館フレンド理事会」を開催。
- 7月 1日 65歳以上の方の観覧料を一般と同額とする。
- 7月 6日 企画展「浮遊するデザイン 倉俣史朗とともに」を開催(～9月1日)。レセプションにご親族、出品者などが出席。
- 7月 18日 埼玉大学との共催による「ミュージアム・カレッジ 拡張するデザイン」を開催(以降8月21日まで計4回)。「第1回埼玉県立近代美術館利用審査会」を開催。
- 7月 19日 「ファミリー鑑賞会」を常設展示室で開催。
- 8月 4日 「NHK日曜美術館」が「浮遊するデザイン 倉俣史朗とともに」を紹介。
- 8月 21日 「第1回埼玉県立近代美術館協議会」を開催。
- 8月 31日 「座れる段ボールの椅子グランプリ」表彰式及び鑑賞会を開催。
北浦和公園にて「仮面ライダー鎧武」ロケ。
- 9月 1日 ポリスコンサートを北浦和公園で開催。
- 9月 2日 第1期大規模改修工事のため休館(～4月1日)。
- 9月 25日 移動展「埼玉県立近代美術館のポスター・デザイン」を彩の国さいたま芸術劇場で開催(～10月20日)。
- 10月 5日 公民館と共催した「MOMASの扉」を開催(以降1月25日まで計12回)。
- 10月 8日 移動展「美の万華鏡—埼玉県立近代美術館のコレクションから」を和光市民文化センター・サンアゼリアで開催(～10月28日)。
- 11月 19日 美術館の提携駐車場が旧労働会館跡地にオー

ブン。

- 11月 30日 移動展「風光彩美—埼玉・四季の輝き／埼玉県立近代美術館のコレクションから」を県立歴史と民俗の博物館で開催(～3月16日)。
- 12月 26日 所蔵作品(平塚運一の木版画2点)の紛失について記者発表。

平成26(2014)年

- 1月 20日 「埼玉県立近代美術館資料選考評価委員会」による審査(～1月24日)。
- 1月 30日 「ミュージアム・キャラバン」をさいたま市立日進北小学校で開催。講師として収蔵作家高田洋一氏を派遣。
- 2月 5日 「第2回埼玉県立近代美術館利用審査会」を開催。
- 2月 15日 大雪により北浦和公園の八重桜1本が倒壊。
- 2月 20日 美術館ホームページをリニューアル。
- 2月 28日 「第2回埼玉県立近代美術館協議会」を開催。
- 3月 10日 「中銀カプセル」外壁塗装改修(～3月20日)。
- 3月 12日 第1期大規模改修工事完了。
- 3月 26日 北浦和公園にて「仮面ライダー鎧武」ロケ。

■企画展

■たまもの 埼玉県立近代美術館大コレクション展

TAMAMONO: From the Collection of the Museum of Modern Art, Saitama

- 会期：2013年4月4日(木)～5月19日(日)
- 主催：埼玉県立近代美術館
- 協力：JR東日本大宮支社、FM NACK 5
- 観覧料：一般800円(640円)、大高生640円(510円)
- 入場者数：7,196人
- 広報印刷物：ちらしB3/デザイン：大溝裕 (Glanz)
- 担当学芸員：吉岡知子、前山裕司



ちらし

■開催趣旨

この展覧会は、当館が30年以上かけて収集してきたコレクションを前代未聞の規模で公開する試みであった。企画展示室、常設展示室はもちろん、エントランスや図書室、コインロッカー、ミュージアム・ショップまで、全館にわたって作品を展示した。資料を含めて約1,000点を、時代やジャンルにとらわれない32の多彩なテーマによって紹介し、美術館がこれまでに授かったコレクション＝「たまもの」の魅力をつつぷりと味わっていただいた。

- テーマ一覧 * () 内は担当者名
<企画展示室>

1. 面ざし (平野到)
 2. 描かれた家族 (大越久子)
 3. 深く眠る (渋谷拓)
 4. 風薫る季節 (吉岡知子)
 5. 埼玉の景色、東京の景色 (前山裕司)
 6. 豊作と守一 (大越久子)
 7. 瑛九と山田光春―葛藤の果てに (梅津元)
 8. 詩と版画 (吉岡知子)
 9. シュルレアリスムの行方 (吉岡知子)
 10. 字の形・本のカタチ (梅津元)
 11. 百花繚乱 (前山裕司)
 12. 大熊家コレクションの精華 (中村誠、大越久子)
 13. ファントム―現の闇 (梅津元)
 14. プライマル・エレメンツ―コレクション観想 (中村誠)
 15. 〈コマ〉と〈フレーム〉 (梅津元)
 16. 挿絵とか装幀とか (前山裕司)
 17. 食べるもの (大越久子)
 18. 世界は丸い (平野到)
 19. 飛翔―憧憬 (梅津元)
 20. 「鑿の会」の作家たち (伊豆井秀一)
 21. 甦る。春陽会の日々 (前山裕司)
 22. 印象派研究の部屋 (渋谷拓)
 23. ナンセンスのセンス (平野到)
 24. バナーによる記念撮影コーナー (渋谷拓)
- <常設展示室>
25. フレンチ・コネクション―日本とフランス (渋谷拓)
 26. グリーン・レボリューション (中村誠)
 27. 動物のすがた・かたち (吉岡知子)
 28. 夢のメキシコ (吉岡知子)
- <美術館のあちこち>
29. 椅子の美術館 (吉岡知子)
 30. 漫画家・麻生豊の買い物 (前山裕司)
 31. ハイド・アンド・シーク (美術館のかくれんぼ) (前山裕司)
 32. 「MOMASの扉」の仲間たち (山水明、田中耕次)

■関連事業

- ・スペシャル・トーク
- ①大熊雄二「大熊家コレクションと近代日本画の巨匠たち」／4月21日(日)／講堂・企画展示室／参加者：46人
- ②柏原えつとむ「上映&トーク」／5月12日(日)／講堂／参加者：70人
- ・ミュージアム・コンサート「Gift of Music, Gift for All」／5月4日(土)／出演：上野耕平(サクソフォン)、上田晴子(ピアノ)／講堂／参加者：158人
- ・学芸員によるギャラリー・トーク／4月6日(土) 梅津

元（ゲスト：杉原邦恵、佐藤時啓）、4月13日（土）前山裕司、4月20日（土）大越久子、4月27日（土）伊豆井秀一、5月11日（土）平野到、5月18日（土）渋谷拓／参加者：計97人

■広報記録

<新聞>

- ・「さきたま抄」『埼玉新聞』2013年4月5日
- ・砂生敏一「收藏品一挙1000点公開」『埼玉新聞』2013年4月8日
- ・前田朋子「珠玉の1000点 一挙披露」『東京新聞』2013年4月13日
- ・「「地域の宝」見せ方次第」『読売新聞』2013年5月16日
- ・井上晋治「回顧2013 アート」『読売新聞』2013年12月12日

<雑誌、ミニコミ誌等>

- ・告知：『ばど』2013年3月22日号／『彩の国だより』2013年4月号／『びびるす』2013年4月号／『たまログ』2013年4月号／『J:COMクーポン』2013年4月号／『ソー！×たまログ』2013年4月号／『アコレおおみや』2013年4月5日号／『ショッパー』2013年4月11日号／『さいたま朝日』2013年4月28日号／『地域創造レター』2013年5月号／『コロンプス』2013年5月号

<テレビ、ラジオ>

NHK FM「日刊！さいたま〜ず」2013年5月1日

■担当後記

◆「たまもの」は当館の3,000点以上のコレクションからできるだけたくさん見せること、日頃はめったに展示されない珍しい資料も出品することに、挑戦した展覧会であった。「出品点数は目標1,000点！」とちらしであらかじめ宣言したのが刺激となり、壁に作品がびっしりと並び、豊穰感あふれる展覧会ができあがった。出品リストはA4両面印刷で8枚におよび、それぞれ異なる色上質紙に刷って、会場で配布した。なお、展覧会タイトルは、前年度に30周年記念として刊行したコレクション名作選『たまもの』を踏襲した。

◆8人の学芸員が希望のテーマを複数提出し、その中から32テーマに絞った。1番初めのテーマは来館者の方に馴染みやすいほうが良いだろうと、顔のモチーフが並ぶ「面ざし」に決めた。その後は親近性のあるテーマをつなげて、順番を決めていった。学芸員の間で展示したい作品がいくつか重なったが、すべて話し合いで解決できた。

◆各学芸員が自分に割り当てられた空間をどう見せるかに集中し、また展示作業中に互いの展示方法から刺激を受け合った結果、展覧会は異様なほど密度の濃いものとなった。来館者の方からはとても面白かったという感想

と、雑多で疲れたという意見の両方をいただいた。

◆コレクション展示のテーマとして、個人作家の特集展示、時代やジャンルに特化した展示、同一モチーフの作品を並べる展示等が考えられる。「たまもの」では、これらすべてが会場内に一緒に存在するので、「雑多で疲れた」という感想ももつともである。一方、多彩なテーマが32も集まると、同時多発的にお祭りが起こっているような感覚が生まれ、美術館全体が熱気に包まれた。これほどの量のコレクションをまとめて公開したのは、当館史上初である。（吉岡知子）



会場風景（「百花繚乱」の展示）



会場風景（「ファントムー現の闇」の展示）



ミュージアム・ショップの展示

■出品リスト

1. 面ざし

作家名	作品名	制作年	技法・素材
ジョルジュ・ルオー[1871-1958]	横向きのピエロ	1925頃	油彩、カンヴァス
パウル・クレー[1879-1940]	古代風の二重肖像	1933	糊絵具、鉛筆、紙
斎藤与里[1885-1959]	尼	1908	油彩、カンヴァス
田中保[1886-1941]	自画像	1915	木炭、紙
田中保[1886-1941]	黒いドレスの腰かけている女	1920-30	油彩、カンヴァス
キスリング[1891-1953]	リタ・ヴァン・リアの肖像	1927	油彩、カンヴァス
奥瀬英三[1891-1975]	自画像	1916	油彩、カンヴァス
ルフィーノ・タマヨ[1899-1991]	すわっている人	1976	版画の混合技法（エッチングほか）、紙
ルフィーノ・タマヨ[1899-1991]	白い顔	1976	版画の混合技法（エッチングほか）、紙
ルフィーノ・タマヨ[1899-1991]	黄色の顔	1976	版画の混合技法（エッチングほか）、紙
ルフィーノ・タマヨ[1899-1991]	ばら色のトルソ	1980	版画の混合技法（エッチングほか）、紙
ルフィーノ・タマヨ[1899-1991]	顔	1980	版画の混合技法（エッチングほか）、紙
ルフィーノ・タマヨ[1899-1991]	横顔	1980	版画の混合技法（エッチングほか）、紙
山路真護[1900-1969]	古風な神殿	1962	油彩、カンヴァス
里見明正[1912-1974]	聖骸布	1974	油彩、カンヴァス
駒井哲郎[1920-1976]	R夫人肖像	1950	アクアチント、モノタイプ、紙
駒井哲郎[1920-1976]	人形と小動物	1951	アクアチント、紙
駒井哲郎[1920-1976]	小天使	1962頃	アクアチント（カラー）、紙
富張広司[1936-]	現代人	1960	木版、紙
富張広司[1936-]	若人	1960	木版、紙
富張広司[1936-]	カオ（A）	1961	木版、紙
谷口茂[1948-]	PORTRAIT-L	1981	油彩、ネコブリント、カンヴァス
柄澤齊[1950-]	肖像II アルブレヒト・デュラー	1981	木版、紙
柄澤齊[1950-]	肖像XVI マティアス・グリューネヴァルト	1983	木版、紙
柄澤齊[1950-]	肖像XXIV アルフレート・クービン	1985	木版、紙

2. 描かれた家族

作家名	作品名	制作年	技法・素材
モーリス・ドニ[1870-1943]	シャグマユリの聖母子	1925	油彩、カンヴァス
和田英作[1874-1959]	鈴木勝五郎肖像	1908	油彩、カンヴァス
和田英作[1874-1959]	鈴木やす肖像	1908	油彩、カンヴァス
小村雪岱[1887-1940]	雪の朝	1924頃	彩色、絹
奥瀬英三[1891-1975]	母と子	1922	油彩、カンヴァス
瑛九[1911-1960]	兄妹	1944	油彩、紙
瑛九[1911-1960]	二人	1951	エッチング、紙
渡辺武[1916-1945]	母子像	1943	油彩、カンヴァス
松永敏太郎[1918-1986]	編物をする女	1959	油彩、カンヴァス
小松崎邦雄[1931-1992]	五月の花嫁	1965	油彩、カンヴァス
池田満寿夫[1934-1997]	ぼくのもの・おまえのもの1	1963	ドライポイント、ルーレット、紙
野田哲也[1940-]	日記：1973年10月2日	1973	木版、セリグラフ、紙
ヨシズミ トシオ[1952-]	Visage F（Fulcrum）II	1994	ドライポイント、エッチング、アクアチント、紙
吉岡正人[1953-]	二人の世界	1990	油彩、カンヴァス

3. 深く眠る

作家名	作品名	制作年	技法・素材
森田恒友[1881-1933]	午睡する看護婦	1907	油彩、カンヴァス
ジュール・パスキン[1885-1930]	眠る裸女	1928	油彩、カンヴァス
瑛九[1911-1960]	夢	1951	エッチング、紙
瑛九[1911-1960]	ひるね	1955	エッチング、紙
駒井哲郎[1920-1976]	夢の始まり	1949	アクアチント、ドライポイント、紙
駒井哲郎[1920-1976]	夢の推移	1950	メゾチント、紙

駒井哲郎[1920-1976]	夢の終わり	1951	メゾチント、エングレーヴィング、 ドライポイント、紙
泉茂[1922-1995]	ひるね	1957	リトグラフ、紙
寺井力三郎[1930-]	寝る子	1967	油彩、カンヴァス
岡本信治郎[1933-]	眠れるアンディ・ウォーホル坊や	1974	セリグラフ、ホットスタンプ、紙
岡本信治郎[1933-]	8時間眠る男	1974	セリグラフ、ホットスタンプ、紙
岡本信治郎[1933-]	眠れる玩具	1974	木
立石大河亞(タイガー立石) [1941-1998]	I feel, therefore I exist	1973-74	セリグラフ、紙

4. 風薫る季節

作家名	作品名	制作年	技法・素材
森田恒友[1881-1933]	初夏の草原	1911	油彩、カンヴァス
森田恒友[1881-1933]	緑野	1926-27頃	彩色、絹
武内鶴之助[1881-1948]	若葉の頃(琵琶湖畔近江八幡)		パステル、紙
岸田劉生[1891-1929]	路傍初夏	1920	油彩、カンヴァス
奥瀬英三[1891-1975]	新緑高麗川	1974	油彩、カンヴァス
渡邊武夫[1916-2003]	「田植え」「戦時生活絵暦」より	1937-41頃	水彩、紙
渡邊武夫[1916-2003]	「端午の節句」「戦時生活絵暦」より	1937-41頃	水彩、紙
渡邊武夫[1916-2003]	街道初夏(草加の松並木)	1974	油彩、カンヴァス
木村直道[1923-1972]	薫風	1965-67	鉄
橋本隆・橋本勝	鯉のぼり	1985	和紙に手描き

5. 埼玉の景色、東京の景色

作家名	作品名	制作年	技法・素材	備考
倉田弟次郎[1871-1894]	久伊豆神社	1891	コンテ、紙	埼玉県越谷市
倉田弟次郎[1871-1894]	三河島	1892	鉛筆、紙	東京都荒川区
倉田弟次郎[1871-1894]	根岸田圃	1892	油彩、紙	東京都台東区
倉田弟次郎[1871-1894]	前野村	1892	鉛筆、紙	東京都板橋区
倉田弟次郎[1871-1894]	粕壁から望む古利根川	1892	水彩、紙	埼玉県春日部市
倉田弟次郎[1871-1894]	南埼玉出羽村神明下	1893	油彩、紙	埼玉県越谷市
倉田弟次郎[1871-1894]	蒲生立場		鉛筆、紙	埼玉県越谷市
澁澤篤二[1872-1942]	『瞬間の蓄積』、「銀座風景」	1910	書籍	東京都中央区
倉田白羊[1881-1938]	渋谷道玄坂下	1896	鉛筆、紙	東京都渋谷区
倉田白羊[1881-1938]	日暮里田甫景		水彩、紙	東京都荒川区
森田恒友[1881-1933]	秩父風景	1904	油彩、カンヴァス	埼玉県秩父市
倉田白羊[1881-1938]	小笠原島	1914	油彩、カンヴァス	東京都小笠原村
石井柏亭[1882-1958]	松伏風景		鉛筆、紙	埼玉県松伏町
石井柏亭[1882-1958]	飯能天覧山		コンテ、紙	埼玉県飯能市
跡見泰[1884-1953]	石川島	1930	油彩、カンヴァス	東京都中央区
大久保喜一[1885-1948]	熊中正門風景	1935	油彩、カンヴァス	埼玉県熊谷市
岡本一平[1886-1948]	『一平漫画』、「花やしき」	1924	書籍	東京都台東区
小村雪岱[1887-1940]	『銀座』挿画	1921	書籍	東京都中央区
小村雪岱[1887-1940]	湯島夜景	1941頃	木版、紙	東京都文京区[没後の刷り]
寺内萬治郎[1890-1964]	尾間木風景	1947頃	油彩、カンヴァス	埼玉県さいたま市
林俊衛[1895-1945]	別所沼風景		油彩、カンヴァス	埼玉県さいたま市
岩崎勝平[1905-1964]	坂下御門	1949	鉛筆、紙	東京都千代田区
岩井弥一郎[1905-1968]	水戸橋	1951	油彩、カンヴァス	東京都足立区
高田誠[1913-1992]	浦和風景	1929	油彩、カンヴァス	埼玉県さいたま市
斎藤三郎[1917-1996]	たそがれる都会	1947	油彩、カンヴァス	埼玉県さいたま市
西野嘉斎[1919-2008]	1974年の川越	1974	油彩、カンヴァス	埼玉県川越市
駒井哲郎[1920-1976]	丸の内風景	1938	エッチング、紙	東京都千代田区
日野耕之祐[1925-2013]	『東京百景』、「帝国ホテル」	1967	書籍	東京都千代田区
川村親光[1928-]	入間川風景	1969	油彩、カンヴァス	埼玉県川越市
川村親光[1928-]	岩殿山付近	1974	油彩、カンヴァス	埼玉県東松山市
塗師祥一郎[1932-]	雪の大宮公園	1974	油彩、カンヴァス	埼玉県さいたま市

6. 豊作と守一

作家名	作品名	制作年	技法・素材
熊谷守一[1880-1977]	大島	1935	油彩、板
熊谷守一[1880-1977]	高原	1939頃	油彩、板
熊谷守一[1880-1977]	裸	1943	油彩、カンヴァス
熊谷守一[1880-1977]	ケン	1956	油彩、カンヴァス
熊谷守一[1880-1977]	柴たく男	1960	油彩、板
熊谷守一[1880-1977]	夏の月	1961	油彩、板
斎藤豊作[1880-1951]	フランス風景Ⅱ	1910頃	油彩、カンヴァス
斎藤豊作[1880-1951]	フランス風景Ⅲ	1910頃	油彩、カンヴァス
斎藤豊作[1880-1951]	雪後の夕	1919	油彩、カンヴァス
斎藤豊作[1880-1951]	にわか雨	1930	油彩、カンヴァス
斎藤豊作[1880-1951]	ヴェネヴェルの松Ⅲ	1930頃	バステル、紙
斎藤豊作[1880-1951]	春の山	1939-40	バステル、紙

7. 瑛九と山田光春—葛藤の果てに

作家名	作品名	制作年	技法・素材
瑛九[1911-1960]	女 B	1935	水彩、紙
瑛九[1911-1960]	街	1935	水彩、紙
瑛九[1911-1960]	ペン・デッサン	1935頃	インク、紙
瑛九[1911-1960]	作品 I	1936頃	インク、紙
瑛九[1911-1960]	十三子姉像	1939	油彩、カンヴァス
瑛九[1911-1960]	オペラ・グラス	1953	エッチング、紙
瑛九[1911-1960]	花	1956	油彩、板
瑛九[1911-1960]	かぎ	1956	ドライポイント、紙
瑛九[1911-1960]	春のワルツ	1957	リトグラフ、紙
瑛九[1911-1960]	宇宙	1959	油彩、カンヴァス
瑛九[1911-1960]	作品 (21)		ゼラチン・シルバー・プリント
瑛九[1911-1960]	タバコ		ゼラチン・シルバー・プリント
瑛九[1911-1960]	フォト・デッサン型紙・原型等		
山田光春[1912-1981]	『瑛九[杉田秀夫] 住所・居所・旅行表』	1963	印刷物 (私家版)
山田光春[1912-1981]	『瑛九・関係論文・その他』	1964	印刷物 (私家版)
山田光春[1912-1981]	『瑛九関係展覧会』	1964	印刷物 (私家版)
山田光春[1912-1981]	『瑛九・年譜』	1966	印刷物 (私家版)
山田光春[1912-1981]	『瑛九伝—誕生・幼少期・混乱期—』	1968	印刷物 (私家版)
山田光春[1912-1981]	『瑛九伝—解放期・充実期・開花期・終焉—』	1969	印刷物 (私家版)
山田光春[1912-1981]	『瑛九 評伝と作品』	1976	書籍 (青龍洞)
山田光春[1912-1981]	『瑛九油絵作品写真集』	1977	写真アルバム (私家版)

8. 詩と版画

作家名	作品名	制作年	技法・素材	備考
ジョアン・ミロ [1893-1983]	詩画集『手づくり諺』より	1970	リトグラフ、紙	
	『手づくり諺—ジョアン・ミロに』	1970	展覧会リーフレット	南画廊
駒井哲郎 [1920-1976]	饅とマルドロオル	1951	アクアチント、エッチング、紙	
駒井哲郎 [1920-1976]	私は汚らしい	1951	エッチング、ソフトグラウンド・エッチング、紙ほか	
駒井哲郎 [1920-1976]	葉	1960	エッチング、リフトグラウンド・エッチング、紙	
駒井哲郎 [1920-1976]	黒い鼻	1960	アクアチント、エッチング、紙	
駒井哲郎 [1920-1976]	『人それと呼んで反歌という』表紙	1965	リフトグラウンド・エッチング (カラー)、紙	
駒井哲郎 [1920-1976]	『人それと呼んで反歌という』P.15 鎮魂歌	1965	エッチング、メゾチント (雁皮 番外刷)、紙	

駒井哲郎 [1920-1976]	『人それと呼んで反歌という』 Pl. 12 人それと呼んで反歌という	1965	アクアチント、紙	付属銅版画別刷り
駒井哲郎 [1920-1976]	『人それと呼んで反歌という』Pl. 1 詩人の肖像	1966	エッチング、メゾチント（雁皮刷）、紙	
駒井哲郎 [1920-1976]	樹	1966	エッチング、ソフトグランド・エッチング、紙	
中村稔[1927-]	『詩集 鶴原抄』	1966	書籍（思潮社）	

9. シュルレアリスムの行方

作家名	作品名	制作年	技法・素材
ジャン・アルブ[1886-1966]	バラを食べるもの	1963	ブロンズ
マン・レイ[1890-1976]	レイヨグラフ	1925(プリントは1963)	ゼラチン・シルバー・プリント
マン・レイ[1890-1976]	レイヨグラフ	1927(プリントは1963)	ゼラチン・シルバー・プリント
ジョアン・ミロ[1893-1983]	シュールレアリスト・コンポジション	1934頃（原画）	染織、タペストリー
アンドレ・ブルトン[1896-1966]	『イヴ・タンギー』	1946	書籍（出版：ピエール・マティス）
イヴ・タンギー[1900-1955]	無題	1947	エッチング、紙
島津純一[1907-1989]	作品6	1963-69	インク、紙
島津純一[1907-1989]	作品8	1963-69	インク、紙
島津純一[1907-1989]	作品17	1968	インク、紙
島津純一[1907-1989]	ナマハゲ	1968	油彩、カンヴァス
瑛九[1911-1960]	作品（13）		フォトデッサン
瑛九[1911-1960]	作品（55）		フォトデッサン
白木正一[1912-1995]	なめくじ	1954	油彩、カンヴァス
堀田操[1921-1999]	墓標	1954	油彩、カンヴァス
堀田操[1921-1999]	対話	1955	油彩、カンヴァス

10. 字の形・本のかたち

作家名	作品名	制作年	技法・素材	備考
斎藤豊作[1880-1951]	読書する人	1915頃	バステル、カンヴァス	
須田剋太[1906-1990]	作品 1967白 B	1967	油彩、コラージュ、カンヴァス	
駒井哲郎[1920-1976]	記号の静物	1951	エッチング、ソフトグランド・エッチング、ドライポイント、紙	
駒井哲郎[1920-1976]	13	1959	エッチング、アクアチント、エングレヴィング、紙	
駒井哲郎[1920-1976]	読書する人	1960頃	エングレヴィング、リフトグランド・エッチング（カラー）、紙	
村上善男[1933-2006]	鯨ヶ沢湾上独双六	1986	紙、布、アクリル、カンヴァス	
柏原えつとむ[1941-]	これは本である	1970	セリグラフ、紙	
柏原えつとむ[1941-]	これは本である	1973	オフセット印刷、紙	
高橋シュウ[1951-]	方丈記考 VI	1988	エッチング、アクアチント、紙	
湊見一秀[1952-]	TEXT No. 96	2005	銅線	
徐冰[1955-]	析余鑑	1986-87	木版（版本4巻）	4巻中2巻を展示

11. 百花繚乱

作家名	作品名	制作年	技法・素材	備考
小林真二[1890-1965]	花とローソク	1936頃	油彩、板	
跡見泰[1884-1953]	キンセンカ		油彩、カンヴァス	
熊谷守一[1880-1977]	百日草	1960	油彩、板	
倉田白羊[1881-1938]	菊一束	1937頃	油彩、カンヴァス	
高田誠[1913-1992]	春光（熊谷会館緞帳原画）	1971	油彩、カンヴァス	
田村一男[1904-1997]	水芭蕉	1965頃	リトグラフ、紙	
小村雪岱[1887-1940]	深見草	1942（没後に発行）	木版、紙	
斎藤豊作[1880-1951]	装飾画（蓮と鯉 I）		油彩、カンヴァス	
高田誠[1913-1992]	花	1970-89	油彩、カンヴァス	

関根将雄[1919-2013]	あじさい	1995	彩色、紙	
田中保[1886-1941]	猫と花	1920-40	パステル、紙	
武内鶴之助[1881-1948]	静物	1931	パステル、紙	
斎藤与里[1885-1959]	暁の金剛山	1938	油彩、カンヴァス	
斎藤豊作[1880-1951]	瓶花	1902-05頃	油彩、カンヴァス	
森田恒友[1881-1933]	花瓶	1930-31頃	油彩、カンヴァス	
マルク・シャガール [1887-1985]	二つの花束	1925	油彩、カンヴァス	
田中保[1886-1941]	花びんのある裸婦		油彩、カンヴァス	
田中保[1886-1941]	花		油彩、ボード	
倉田弟次郎[1871-1894]	牡丹	1892	水彩、紙	
斎藤与里[1885-1959]	椿	1916	油彩、カンヴァス	
郷倉和子[1914-]	明	1987	彩色、紙	
熊谷守一[1880-1977]	あじさい	1973-74	セリグラフ、紙	
寺内萬治郎[1890-1964]	梅咲く頃	1961	油彩、カンヴァス	
イヴァン・ラブジン [1921-2008]	緞帳「春の夕映え」原画	1982	油彩、カンヴァス	
小茂田青樹[1891-1933]	鳥心		彩色、絹	
小村雪岱[1887-1940]	蓮		墨、紙	
上原桃畝[1882-1947]	ダリヤ		彩色、絹	
細田竹[1920-1989]	あかり	1933	彩色、絹	
小村雪岱[1887-1940]	柳に梅花図帯	1935頃	彩色、絹	
須田剋太[1906-1990]	文楽お染	1987	グワッシュ、コラージュ、 紙	
小村雪岱[1887-1940]	「一本刀土俵入り」舞台装置原 画	1931	彩色、紙	
熊谷守一[1880-1977]	玫瑰（まいかい）の花	1940-49頃	墨、彩色、紙	
増田三男[1909-2009]	金彩コクリコ管	1995	銀、金のアマルガム、蹴彫、 魚々子、岩絵具	
増田三男[1909-2009]	金彩山草文小管	1994	銅、金のアマルガム、蹴彫、 金箔	
増田三男[1909-2009]	植物のスケッチ		水彩、紙	
増田三男[1909-2009]	スケッチブック		水彩、鉛筆、紙、他	
田口善国[1923-1998]	蒔絵切貝棗「三色すみれ」	1998	木、漆、貝	寄託作品
田口善国[1923-1998]	椿図	1945頃	彩色、紙	寄託作品
小村雪岱[1887-1940]	落葉	1941頃（没後に発行）	木版、紙	
富張広司[1936-]	桜花譜	1980	木版、紙	
林静一[1945-]	花の表現	1988	ポスター	
江森天寿[1887-1925]	花の想い	1906	彩色、紙	
吉川霊華[1875-1929]	羅浮僊女	1928	彩色、紙	
小茂田青樹[1891-1933]	秋叢	1925-26頃	彩色、絹	
松林桂月[1876-1963]	春宵花影	1955	彩色、絹	
須田剋太[1906-1990]	二月堂お水取椿絵馬		セリグラフ、木	
増田三男[1909-2009]	金彩壺 賑	1998	銅、金のアマルガム、蹴彫	
藤原吉志子[1942-2006]	棘のある家	1991	ブロンズ	
山本容子[1952-]	The Poor Little Lizard, Bill (不思議の国のアリス)	2008	ソフトグラウンド・エッチン グ、グワッシュ、紙	
山本容子[1952-]	Tea Party Song (不思議の国の アリス)	2008	ソフトグラウンド・エッチン グ、グワッシュ、紙	
堀田操[1921-1999]	花言葉	1958	油彩、カンヴァス	
上村次敏[1934-1998]	無題	1957	水彩、色鉛筆、鉛筆、紙	
長谷川潔[1891-1980]	二つのアネモネ	1934	アクアチント、紙	
斎藤与里[1885-1959]	花模様	1916	水彩、紙	
草間彌生[1929-]	Flower	1953	油彩、パステル、紙	
日和崎尊夫[1941-1992]	海花	1984	木版、紙	
細江英公[1933-]	おとこと女 作品#10	1960	ゼラチン・シルバー・プリ ント	
井上有一[1916-1985]	花	1967	ボンド、墨、紙	

斎藤豊作[1880-1951]	ヴェネヴェルの桃	1930頃	パステル、紙
渡邊武夫[1916-2003]	「花見」「戦時生活絵巻」より	1937-41頃	水彩、紙
古川弘[1907-1977]	はるじをん咲く利根河原	1974	水彩、紙
互井開一[1904-1967]	枯草	1963	水彩、カンヴァス
笹島喜平[1906-1993]	秋の山路	1946	木版、紙
山本容子[1952-]	コバンソウ(静物画)他3点	2002-2004	ソフトグラウンド・エッチング、紙
中林忠良[1937-]	Position '80・腐食 I	1980	エッチング、アクアチント、紙
駒井哲郎[1920-1976]	花々	1968	エッチング、紙
アンドレ・ジル [1840-1885]	「本日の花々」『レクリプス』	1868	新聞(金属凸版、手彩色)
梅田正徳[1941-]	蘭[試作品]	1991	布、スチール、木、他

12. 大熊家コレクションの精華

作家名	作品名	制作年	技法・素材
渡辺省亭[1851-1918]	水中遊鯉之図		彩色、絹
横山大観[1868-1958]	春雨 秋雨	1923頃	彩色、絹
横山大観[1868-1958]	朧夜	1924頃	彩色、絹
横山大観[1868-1958]	神洲第一峰	1924頃	墨、金泥、絹
横山大観[1868-1958]	萬歳松碧	1925頃	彩色、絹
横山大観[1868-1958]	武蔵野の秋	1926頃	彩色、絹
横山大観[1868-1958]	白梅	1927頃	彩色、絹
横山大観[1868-1958]	海辺巖	1930	彩色、絹
横山大観[1868-1958]	仙果	1934頃	彩色、絹
横山大観[1868-1958]	漁村曙	1940	彩色、絹
横山大観[1868-1958]	日本心神	1944頃	墨、金泥、絹
川合玉堂[1873-1957]	晴江釣舟		彩色、紙
下村観山[1873-1930]	牧童	1911頃	彩色、絹
結城素明[1875-1957]	春景山水	1921-26	彩色、絹
猪飼嘯谷[1881-1939]	養老の滝		彩色、絹
橋本閑雪[1883-1945]	峡雲夜雨		彩色、絹
大林千萬樹[1887-1959]	編笠茶屋		彩色、絹
奥村土牛[1888-1990]	鴛鴦	1935	彩色、絹
平井樸仙[1889-1969]	雲間の富士		彩色、絹
堂本印象[1891-1975]	鳥言長者草	1922	彩色、絹

13. ファントムー現の闇

作家名	作品名	制作年	技法・素材
マン・レイ[1890-1976]	レイヨグラフ	1922(プリントは1963)	ゼラチン・シルバー・プリント
マン・レイ[1890-1976]	レイヨグラフ	1923頃(プリントは1963)	ゼラチン・シルバー・プリント
マン・レイ[1890-1976]	レイヨグラフ	1926(プリントは1963)	ゼラチン・シルバー・プリント
マン・レイ[1890-1976]	レイヨグラフ	1927(プリントは1963)	ゼラチン・シルバー・プリント
クリスティアン・シャート[1894-1982]	シャードグラフィアー “モマのなかのモマ”	1918(プリントは1976)	ゼラチン・シルバー・プリント
クリスティアン・シャート[1894-1982]	シャードグラフィアー “強欲”	1962(プリントは1976)	ゼラチン・シルバー・プリント
クリスティアン・シャート[1894-1982]	シャードグラフィアー “ネガボス”	1962(プリントは1976)	ゼラチン・シルバー・プリント
クリスティアン・シャート[1894-1982]	シャードグラフィアー “瞬間”	1963(プリントは1976)	ゼラチン・シルバー・プリント
ラスロ・モホリ=ナジ [1895-1946]	フォトグラム	1922(プリントは1929)	ゼラチン・シルバー・プリント
ラスロ・モホリ=ナジ [1895-1946]	フォトグラム、セルフポートレート	1922-1926(プリントは1973)	ゼラチン・シルバー・プリント

ラスロ・モホリ=ナジ [1895-1946]	フォトグラム、ラスロとルチア	1922-1926(プリントは1973)	ゼラチン・シルバー・プリント
ラスロ・モホリ=ナジ [1895-1946]	フォトグラムとコラージュ、セルフポートレート	1926(プリントは1973)	ゼラチン・シルバー・プリント
瑛九[1911-1960]	希望	1951	ゼラチン・シルバー・プリント
瑛九[1911-1960]	リズム	1951	ゼラチン・シルバー・プリント
瑛九[1911-1960]	作品 (45)		ゼラチン・シルバー・プリント
瑛九[1911-1960]	作品 (46)		ゼラチン・シルバー・プリント
鬘嘸[1931-]	フォトグラム	1953頃	ゼラチン・シルバー・プリント
杉浦邦恵[1942-]	Eel (posi)	1996	ゼラチン・シルバー・プリントに調色
杉浦邦恵[1942-]	Hoppings '96 F (posi3)	1996	ゼラチン・シルバー・プリントに調色
ユルゲン・クラウケ [1943-]	ビッグ・スリープ III	1990-91	写真 (3点組)
ブルース・チェチェフ スキー[1957-]	無題1 (「ファミリー・シリーズ」より)	1988	ゼラチン・シルバー・プリント
ブルース・チェチェフ スキー[1957-]	無題2 (「ファミリー・シリーズ」より)	1988	ゼラチン・シルバー・プリント
ブルース・チェチェフ スキー[1957-]	無題4 (「ファミリー・シリーズ」より)	1989	ゼラチン・シルバー・プリント
佐藤時啓[1957-]	Breath-graph I	1990	ゼラチン・シルバー・プリント、 アクリル・メディウムほか

14. プライマル・エレメンツ―コレクション観想

作家名	作品名	制作年	技法・素材
元永定正[1922-2011]	聖火	1964	油性合成樹脂塗料、カンヴァス
小島喜八郎[1935-2008]	9月の庭にて	2005	油彩、カンヴァス
福岡道雄[1936-]	飛び石	1994	強化プラスチック、木、合板
奥山民枝[1946-]	岬	1991	油彩、カンヴァス
遠藤利克[1950-]	泉-9個からなる 写真I	1989(プリントは1993)	写真
遠藤利克[1950-]	泉-9個からなる 写真II	1989(プリントは1993)	写真

15. 〈コマ〉と〈フレーム〉

作家名	作品名	制作年	技法・素材
吉田穂高[1926-1995]	水辺の神話	1971	木版、亜鉛凸版、紙
吉田穂高[1926-1995]	三幕の神話 (タスマニア物語)	1974	木版、亜鉛凸版、紙
ジム・ダイン[1935-]	植物、扇風機になる I~V	1974	リトグラフ、紙 (5点組)
立石大河亞 (タイガー立石) [1941-1998]	Planets blossom	1973	セリグラフ、紙
立石大河亞 (タイガー立石) [1941-1998]	Beautiful moon	1979	セリグラフ、紙
立石大河亞 (タイガー立石) [1941-1998]	Cabbage moon	1979	セリグラフ、紙
立石大河亞 (タイガー立石) [1941-1998]	Moon grows to the moon	1981	セリグラフ、紙
立石大河亞 (タイガー立石) [1941-1998]	Last dance	1986	セリグラフ、紙
タイガー立石	『虎の巻』	1983	書籍 (思索社)
文：谷川俊太郎・絵：タイガー立石	『ままです すきです すてきです』	1986	書籍 (福音館書店)
文：瀬山士郎・絵：タイガー立石	『ぐにゃぐにゃ世界の冒険』	1987	書籍 (福音館書店)
文：野崎昭弘・絵：タイガー立石	『アナログ？ デジタル？ ビンポーン！』	1990	書籍 (福音館書店)
文と絵：タイガー立石	『顔の美術館』	1994	書籍 (福音館書店)
タイガー立石	『TRA』	2010	書籍 (工作舎)
野村仁[1945-]	Dec. 1973-Oct. 1974 又は 視覚のブラウン運動	1973-74	16mmフィルム (DVDで上映) : 37分/1秒24コマ, 111分/1秒 8コマ
野村仁[1945-]	太陽 7月	1985-92	タイプCプリント (2点組)
山崎博[1946-]	海をまねる太陽 1, 2, 3, 4, 5	1978	ゼラチン・シルバー・プリント

16. 挿絵とか、装幀とか

作家名	作品名	制作年	技法・素材	備考
中村不折[1866-1943]	帰省画報	1911	新聞切抜	『大阪朝日新聞』連載
倉田白羊[1881-1938]	『方寸』表紙図案原画	1909	インク、紙	
倉田白羊[1881-1938]	『方寸』第4巻1号《新年》原画	1909	インク、紙	
	『方寸』第4巻1号	1909	雑誌	
山本鼎[1882-1946]	『方寸』第4巻2号《春駒》原画	1909	鉛筆、水彩、紙	
山本鼎[1882-1946]	『方寸』第4巻3号《雪の日》原画	1909	インク、紙	
	『方寸』第4巻3号	1909	雑誌（復刻版）	
倉田白羊[1881-1938]	『明治43年方寸画曆』4月原画	1910	インク、水彩、紙	
坂本繁二郎[1882-1969]	『明治43年方寸画曆』10月原画	1910	墨、水彩、紙	
	『明治43年方寸画曆』	1910	雑誌（復刻版）	
小村雪岱[1887-1940]	邦枝完二「お傳地獄」挿絵原画	1935	墨、紙	
	『名作挿画全集』I	1935	書籍	
小村雪岱[1887-1940]	里見弴「闇に開く窓」挿絵草稿	1929	墨、鉛筆、紙	『大阪朝日新聞』連載
小村雪岱[1887-1940]	土師清二「旗本伝法」挿絵草稿	1937	墨、鉛筆、紙	『東京日日新聞』連載
小村雪岱[1887-1940]	宮川曼魚「月夜の三馬」挿絵原画	1940	墨、紙	
小村雪岱[1887-1940]	林房雄「西郷隆盛」挿絵原画	1940	墨、紙	『都新聞』連載
装幀：小村雪岱[1887-1940]	眞山青果『盲魚』	1928	書籍	
装幀：小村雪岱[1887-1940]	水上瀧太郎『月光集』	1929	書籍	
装幀：小村雪岱[1887-1940]	三田村篤魚『大衆文藝評判記』	1933	書籍	
装幀：小村雪岱[1887-1940]	箇木清方『銀砂子』	1934	書籍	
装幀：小村雪岱[1887-1940]	邦枝完二『繪入草紙おせん』	1934	書籍	
装幀：竹久夢二[1884-1934]	『若草』第5巻7号	1929	雑誌	
装幀：竹久夢二[1884-1934]	『若草』第5巻8号	1929	雑誌	

17. 食べるもの

作家名	作品名	制作年	技法・素材	
倉田第次郎[1871-1894]	土鍋	1892頃	水彩、紙	
倉田白羊[1881-1938]	ねぎ畑	1936	油彩、カンヴァス	
キスリング[1891-1953]	赤いテーブルの上の果実	1944	油彩、カンヴァス	
瑛九[1911-1960]	ともだち	1944	油彩、板に糊付した紙	
高田誠[1913-1992]	秋の静物	1940	油彩、カンヴァス	
斎藤三郎[1917-1996]	露店街	1947	油彩、カンヴァス	
駒井哲郎[1920-1976]	食卓 I	1959	アクアチント、紙	
泉茂[1922-1995]	リンゴ物語	1954	エッチング、紙	
木村直道[1923-1972]	えび	1971-72	金属（廃物のアッサンブラージュ）、木	
上田薫[1928-]	ジェリーにスプーン C	1990	油彩、カンヴァス	
重村三雄[1929-2012]	永遠の御歳暮	1983	F. R. P.	
野田哲也[1940-]	日記：1989年8月5日	1989	木版、セリグラフ、紙	
立石大河亞(タイガー立石) [1941-1998]	Time elevator	1979	セリグラフ、紙	
森村泰昌	だぶらかし (ポートレートD)	1988	タイプCプリント	
山本容子[1952-]	「After Eyes」のシリーズ：Tokyo Restaurant	1983	ソフトグランド・エッチング、紙	

18. 世界は丸い

作家名	作品名	制作年	技法・素材	備考
マルセル・デュシャン [1887-1968]	ロト・レリーフ	1935 (1965年のエディション)	紙製ディスク	6枚中3枚を展示
ヘルベルト・バイヤー [1900-1985]	色層の円盤	1970	セリグラフ、紙	
須田剋太[1906-1990]	私の曼陀羅 a	1964	油彩、カンヴァス	
瑛九[1911-1960]	作品II	1939	フォトコラージュ、紙	
瑛九[1911-1960]	青の中の黄色い丸	1957-58	油彩、カンヴァス	

オノサト・トシノブ [1912-1986]	同心円ー赤	1969	油彩、カンヴァス	
池田喜重[1919-]	円 I	1970	油彩、アクリル、インク、 カンヴァス	
駒井哲郎[1920-1976]	二つの球	1961	メゾチント、紙	
堂本尚郎[1928-2013]	月蝕	1978	アクリル、カンヴァス	
草間彌生[1929-]	T 2	1953	油彩、水彩、パステル、紙	
草間彌生[1929-]	生きものの巢	1975	コラージュ、パステル、 インク、紙	
草間彌生[1929-]	魂たちが安息する穴	1975	コラージュ、パステル、 インク、紙	
堀越陽子[1931-2006]	硯	1985	ステンレス、鏡	
日和崎尊夫[1941-1992]	海球	1980	木版、紙	
日和崎尊夫[1941-1992]	異星	1983	木版、紙	
安達武生[1945-2009]	光、石、円	1985	鉛筆、紙	
志水児王[1966-]	緯度35度48分14.648秒 / 経度139度29分32.32秒	2007	ラムダプリント	TYPE-HC5T 02:34-02:40
志水児王[1966-]	緯度35度48分14.648秒 / 経度139度29分32.32秒	2007	ラムダプリント	TYPE-I 23:34-23:38

19. 飛翔ー憧憬

作家名	作品名	制作年	技法・素材	備考
エティエンヌ=ジュール・マ レ[1830-1904]	鴨、1秒に10イメージ	1885頃 (プリントは1988)	ゼラチン・シルバー・プリント	
エティエンヌ=ジュール・マ レ[1830-1904]	飛ぶ鳥	1885頃 (プリントは1988)	ゼラチン・シルバー・プリント	
エルミーヌ・ダヴィッド [1886-1970]	空中ブランコ	1926	ビュラン、紙	
ジャック=アンリ・ラルテ ィーグ[1894-1986]	1912年4月12日、ルイ、 モンテカルロに到着	1912頃 (プリントは1988)	ステレオ写真(『第三の眼』より)	ステレオスコープ付 (1988)
瑛丸[1911-1960]	雲	1959	油彩、カンヴァス	
駒井哲郎[1920-1976]	月のたまもの	1952	アクアチント、紙	
駒井哲郎[1920-1976]	飛んでいる鳥と木の 葉	1961	エッチング、アクアチント、紙	
駒井哲郎[1920-1976]	小鳥たち	1967	エッチング、アクアチント、紙	
木村直道[1923-1972]	魔女	1965-68	油さし、金具、金属	
草間彌生[1929-]	脚立	1966	木製脚立にアクリル絵具	
吉原英雄[1931-2007]	鳥人	1956	リトグラフ、紙	
池田満寿夫[1934-1997]	赤の中の鳥	1957	エッチング、アクアチント、紙	
小作青史[1936-]	飛んで遙か	1984頃	リトグラフ、紙	
藤原吉志子[1942-2006]	はらかな青い空	1987	ブロンズ	
河内成幸[1948-]	翔べ (I)	1991	木版、紙	
山本容子[1952-]	Seaside Story (After Eyes)	1983	ソフトグラウンド・エッチング、紙	
丸山直文[1964-]	garden 3	2003	アクリル、綿布	寄託作品 (牧野光氏蔵)
正木隆[1971-2004]	造形 01-13	2001	油彩、綿布	

20. 「鑿の会」の作家たち

作家名	作品名	制作年	技法・素材
城所祥[1934-1988]	HEART-MOBILE		木版、紙
日和崎尊夫[1941-1992]	原子花	1976	木版、紙
日和崎尊夫[1941-1992]	旅	1978	木版、紙
日和崎尊夫[1941-1992]	KALPA-生命	1987	木版、紙
小林敬生[1944-]	蘇生の刻 S62-9	1987	木版、紙
柄澤齊[1950-]	肖像IV アルチュール・ランボー	1982	木版、紙

柄澤齊[1950-]	肖像XIV ヨハン・セバスチャン・バッハ	1983	木版、紙
柄澤齊[1950-]	肖像XVII 天正少年使節	1983	木版、紙
	鑿 II	1980	書籍
	鑿 III	1981	書籍
	鑿 IV	1982	書籍
	「鑿の会」木口木版画展-追悼 城所祥-案内状	1991	葉書

21. 甦る。春陽会の日々

作家名	作品名	制作年	技法・素材	備考
小穴隆一[1894-1966]	第14回春陽会展覧会ポスター	1936	印刷物	
	当番表	1936	墨、紙	
小穴隆一[1894-1966]	会友諸氏へ	1936	墨、紙	
水谷清[1902-1977]、 栗田雄[1895-1961]	牛久沼清遊会	1936	墨、紙	
	栗田氏投網を打ちしが…	1936	墨、紙	
	春陽会事務賞	1936	墨、紙	
	小穴隆一宅で『春陽会雑報』を徹夜で刷る	1936	墨、紙	
	批評会要項	1936	墨、紙	
水谷清[1902-1977]、 木村荘八[1893-1958]	大阪行き作品	1936	墨、紙	
木村荘八[1893-1958]	閉会日ニュース	1936	墨、紙	
木村荘八[1893-1958]	木村荘八・石井鶴三	1936	墨、紙	
木村荘八[1893-1958]	準会報	1936	墨、紙	
裏表紙：小穴隆一 [1894-1966]	春陽会雑報 第拾参回展覧会号	1935	雑誌	
表紙：小穴隆一 [1894-1966]	春陽会雑報 第拾四回展覧会号	1936	雑誌	
裏表紙：木村荘八 [1893-1958]	春陽会雑報 第拾五回展覧会号	1937	雑誌	
裏表紙：木村荘八 [1893-1958]	春陽会雑報 第拾六回展覧会号	1938	雑誌	
倉田白羊、石井鶴三 [1887-1973]、 木村荘八、中川一政 [1893-1991]	相撲寄せ書き		墨、紙	
森田恒友[1881-1933]	尾瀬沼風景	1932	油彩、カンヴァス	第11回展出品
倉田白羊[1881-1938]	柳の若芽	1933	油彩、カンヴァス	第11回展出品
倉田白羊[1881-1938]	磯の午前	1935	油彩、カンヴァス	第14回展出品
山本鼎[1882-1946]	多治見の街	1929頃	油彩、ボード	
斎藤与里[1885-1959]	雪の日の天王寺公園	1925	油彩、カンヴァス	第3回展出品
林倭衛[1895-1945]	画家K氏の肖像	1922	油彩、カンヴァス	第5回展出品
岡本一平[1886-1948]	「倉田白羊に潜水を教わる」『一平傑作集』	1926	書籍	

22. 印象派研究の部屋

作家名	作品名	制作年	技法・素材	備考
ウジェーヌ・ブーダン [1824-1898]	ノルマンディーの風景	1854-57	油彩、板	寄託作品（丸沼芸術の森蔵）
クロード・モネ[1840-1926]	ルエルの眺め	1858	油彩、カンヴァス	登録美術品（丸沼芸術の森蔵）
クロード・モネ[1840-1926]	ジヴェルニーの積みわら、夕日	1888-89	油彩、カンヴァス	
ダニエル・ウィルデンスタイン [1917-2001]編	『クロード・モネ 総作品目録』	1974-91	書籍	5冊組

23. ナンセンスのセンス

作家名	作品名	制作年	技法・素材	備考
編集：宮武外骨 [1867-1955]	小動物の目に映じたる男女 / 『滑稽新聞 101号』より	1905	雑誌	1994年の復刻版
編集：宮武外骨 [1867-1955]	當今流舶來LOVE時計、美婦の / 『滑稽新聞 118号』より	1906	雑誌	1994年の復刻版
編集：宮武外骨 [1867-1955]	MW / 『滑稽新聞 142号』より	1907	雑誌	1994年の復刻版
編集：宮武外骨 [1867-1955]	諸科學原則 / 『滑稽新聞 156号』より	1908	雑誌	1994年の復刻版
木村直道[1923-1972]	シンバルを叩く男 (バックミラー楽団)	1965-68	ミラー、鉄	
木村直道[1923-1972]	ムチ打ち症のサーカス熊	1965-68	ミシン、車輪、金属	
木村直道[1923-1972]	ニルヴァーナ (仏像)	1967-71	木、スプーン、フォーク、 シャベル、鉄	
木村直道[1923-1972]	チューリッヒの変異	1970	油彩、カンヴァス	
木村直道[1923-1972]	こわれたダダ	1971	ミシン、自転車のサドル、 鉄、金属	
岡本信治郎[1933-]	ベティ・ブープの国	1974	セリグラフ、紙	
岡本信治郎[1933-]	鉄棒のポパイ	1974	セリグラフ、紙	
岡本信治郎[1933-]	宵の明星	1974	セリグラフ、紙	
岡本信治郎[1933-]	ブラック・ポパイ	1974	セリグラフ、紙	
岡本信治郎[1933-]	真夜中のポパイ	1974	リトグラフ、紙	
岡本信治郎[1933-]	消えたマリリン	1974	リトグラフ、手彩色、紙	
画：郭徳俊[1937-] / 文：建島哲[1947-]	絵本『MUIMI, MUIMI (無意味・ 無意味)』より	1994	書籍	
立石大河亞(タイガー 立石)[1941-1998]	Cubic Worlds	1973	セリグラフ、紙	
立石大河亞(タイガー 立石)[1941-1998]	A Point	1973	セリグラフ、紙	
立石大河亞(タイガー 立石)[1941-1998]	The Organic Whole	1974	セリグラフ、紙	
立石大河亞(タイガー 立石)[1941-1998]	Milano - Torino Superway	1974	セリグラフ、紙	
立石大河亞(タイガー 立石)[1941-1998]	The Machine	1978	リトグラフ、紙	
立石大河亞(タイガー 立石)[1941-1998]	Spider's Myth	1978	リトグラフ、紙	
立石大河亞(タイガー 立石)[1941-1998]	The First Suggestion	1979	セリグラフ、紙	
立石大河亞(タイガー 立石)[1941-1998]	Pisa	1979	セリグラフ、紙	
立石大河亞(タイガー 立石)[1941-1998]	Moon's Satisfaction	1979	セリグラフ、紙	
立石大河亞(タイガー 立石)[1941-1998]	Peacock Moon	1979	セリグラフ、紙	
立石大河亞(タイガー 立石)[1941-1998]	Coral Moon	1979	セリグラフ、紙	

* 「たまもの」のテーマ25～28は、「MOMASコレクション I」の4つのテーマに該当する。出品リストはp.29-30に掲載。

29. 椅子の美術館 (1階ギャラリー)

作家名	作品名	制作年	技法・素材
チャールズ・レニー・マッキントッシュ [1868-1928]	アーガイル	デザイン：1897	
チャールズ・レニー・マッキントッシュ [1868-1928]	ヒルハウス1	デザイン：1903	

チャールズ・レニー・マッキントッシュ [1868-1928]	D. S. 2 テーブル	デザイン：1918	
チャールズ・レニー・マッキントッシュ [1868-1928]	D. S. 3 サイドチェア	デザイン：1918	
	(映像資料) チャールズ・レニー・マッキントッシュ ヒルハウスとベッドルームの椅子	2008	
ル・コルビュジェ [1887-1965]、 ピエール・ジャヌレ [1896-1967]、 シャルロット・ペリアン [1903-1999]	バスキュラン・チェア	デザイン：1928	
ヘリット・トーマス・リートフェルト [1888-1964]	レッド・アンド・ブルー	デザイン：1918	
アルヴァ・アールト [1898-1976]	バイミオ	デザイン：1930-31	
アッキレ・カスティリオーニ&ピエール・ ジャコモ・カスティリオーニ [1918-2002, 1913-1968]	セツラ (鞍)	デザイン：1957	
ピエール・ポーラン [1927-2009]	タン	デザイン：1966	
ペーター・オプスヴィック [1939-]	ガーデン：リトル・ツリー	デザイン：1985	
テルイエ・エクストレム [1944-]	エクストレム	デザイン：1972-77	
田中敏博 [1944-]	Bin. Chair/ベニヤ型抜きキットチェア	制作：1988-91	
graf	XL (ブランクトン1.8)	2004	
	ヒラヒラチェアー	2005 (デザイン ：大熊菜美子)	
アントニ・タピエス [1923-2012]	椅子と脚	1984	リトグラフ、紙
アントニ・タピエス [1923-2012]	腰かける人	1984	リトグラフ、紙
アントニ・タピエス [1923-2012]	大きな椅子	1984	リトグラフ、紙
アントニ・タピエス [1923-2012]	右に靴	1984	リトグラフ、紙
松原龍夫 [1941-]	STILL LIFE 812	1984	水彩、紙
松原龍夫 [1941-]	STILL LIFE 814	1984	水彩、紙
スティフォン・キリック [1947-]	スラウチング・チェア (キング・アンド・ク イーン)	1986	木
河内成幸 [1948-]	単なる右と左	1975	木版、紙
河内成幸 [1948-]	調和の不公平	1975	木版、紙
中川久嗣 [1948-]	のっぽ椅子	1979	木
ヴィリー・ヴァイナー [1954-]	知られざる玉座	1995	コールテン鋼

30. 漫画家・麻生豊の買い物 (3階図書室。13時から開室。)

作家名	作品名	制作年	技法・素材
麻生豊 [1898-1961]	『嫁を探しに』	現代ユウモア全集17	1929 書籍 (現代ユウモア全集刊行委員会)

●麻生豊 旧蔵書

Georg Hermann, *Die Deutsche Karikatur im 19. Hundert*, Verlag von Velhagen & Klasing, Bielefeld und Leipzig, 1901.

Georg Biernann, *Ludwig Meidner Junge Kunst 4*, Verlag von Klinkhardt & Biermann, Leipzig, 1923.

Ernest Cohn-Wiener, *Willy Jaeckel Junge Kunst 9*, Verlag von Klinkhardt & Biermann, Leipzig, 1920.

Oskar Maria Graf, *Maria Uhden Junge Kunst 20*, Verlag von Klinkhardt & Biermann, Leipzig, 1921.

Willi Wolfradt, *George Grosz Junge Kunst 21*, Verlag von Klinkhardt & Biermann, Leipzig, 1921.

Wihelm Hausenstein, *Max Unold Junge Kunst 23*, Verlag von Klinkhardt & Biermann, Leipzig, 1921.

Paul Ferdinand, *Schmidt Alfred Kubin Junge Kunst 44*, Verlag von Klinkhardt & Biermann, Leipzig, 1924.

Paul Klee, *Pädagogisches Skizzenbuch Bauhausbücher 2*, Albert Langen Verlag, München, 1925.

Adolf Meyer, *Ein Versuchshaus des Bauhaus in Weimar Bauhausbücher 3*, Albert Langen Verlag, München, 1925.

Die Bühne im Bauhaus Bauhausbücher 4, Albert Langen Verlag, München, 1925.

Theo van Doesburg, *Grundbegriffe der Neuen Gestaltenden Kunst Bauhausbücher 6*, Albert Langen Verlag, München, 1925.

Neue Arbeiten der Bauhauswerkstätten Bauhausbücher 7, Albert Langen Verlag, München, 1925.

László Moholy-Nagy, *Malerei, Photographie, Film Bauhausbücher 8*, Albert Langen Verlag, München, 1925.

Wassily Kandinsky, *Punkt und Linie zu Fläche Bauhausbücher 9*, Albert Langen Verlag, München, 1926.

J.J.P.Out, *Holländische Architektur Bauhausbücher 10*, Albert Langen Verlag, München, 1926.

Oskar Fischel, *Das Moderne Bühnenbild*, Verlag Ernest Wasmuth A.-G., Berlin, 1923.

Paul Simmel Album, Dr.Eysler & Co.A.-G., Berlin, 1923.

Émile-Joseph-Porphyre Pinchon, *Bécassine Voyage*, Gautier et Languereau, Paris, 1923.

Herwarth Walden, *Einblick in Kunst*, Verlag Der Sturm, Berlin, 1924.

Alexander Archipenko, *Sturm-Bilderbuch II*, Verlag Der Sturm, Berlin.

Otto Dix/George Grosz/Otto Nagel/Käthe Kollwitz/Willibald Krain/Rudolf Schlichter/Heinrich Zille, *Krieg. 7 Originallithographien*, Neuer Deutscher Verlag, Berlin, 1924.

Otto Dix/George Grosz/Eric Johansson/Käthe Kollwitz/Otto Nagel/Karl Völker/Heinrich Zille, *Hunger. 7 Originallithographien*, Neuer Deutscher Verlag, Berlin, 1924.

Heinrich Lautensack; Alfred Kubin, *Unpaar*, Verlag Fritz Gurlitt, Berlin, 1926.

Frans Masereel, *Die Sonne 63 Holzschnitte von Frans Masereel*, Kult Wolff Verlag, München, 1926.

Waclaw Husarski, *Karykatura w Polsce*, Nakład Gebethnera i Wolffa, Warszawa, 1926.

Andrés Martínez de León, *Historietas Sevillanas*, Biblioteca Giralda, Madrid, 1926.

Tom Webster, *Tom Webster's annual : cartoons from the Daily Mail, Evening News & Weekly Dispatch*, Associated Newspapers, London, 1927.

31. ハイド・アンド・シーク (美術館のかくれんぼ)

作家名	作品名	制作年	技法・素材	展示場所
柳原義達[1910-2004]	鳩・A	1977	エッチング、リトグラフ、紙	1階エントランス
中野四郎[1901-1968]	ひばり	1949	木、着色	1階受付裏
渡辺豊重[1931-]	音がする 声がある そこに愛がある (マケット作品)	1994	木、アクリル、ラッカー	1階受付
木村直道[1923-1972]	サカリのついた猫	1965-67	金属	1階コインロッカー
木村直道[1923-1972]	犀	1965-67	鉄、セメント	1階ミュージアムショップ
小倉右一郎[1881-1962]	風神	1930 (1980 casting)	ブロンズ	1階ミュージアムショップ
濱野年宏[1937-]	風神	1987	セリグラフ、紙	1階ミュージアムショップ
濱野年宏[1937-]	雷神	1987	セリグラフ、紙	1階ミュージアムショップ
内藤四郎[1907-1988]	波文銀四方盛器	1983	銀、蹴彫、岩絵具、金箔	1階レストラン
木村直道[1923-1972]	龍		金属	2階コインロッカー
木村直道[1923-1972]	カップヘッド (毒蛇)	1965-67	銅、鉄、木	3階コインロッカー
木村直道[1923-1972]	ズイズズッコロバシ	1965-67	鉄	3階コインロッカー
ナイジェル・ホール [1943-]	サイタマ・ミュージアム・プロジェクト (エスキース)	1985	アルミパイプに着色	3階廊下
	サイタマ・ミュージアム・プロジェクト資料	1985		3階廊下
堀口泰造[1916-1999]	トルソ	1980	ブロンズ	地階吹抜外側
ヨシヅ・ゲネラリッチ [1936-2004]	葡萄園	1970頃	タペストリー	地階吹抜外側
ジョナタン・デ・パス [1932-1991]ほか	ブロー	1967	高周波溶着したPVC	屋外《中銀カプセルタワービル住宅カプセル》

32. 「MOMASの扉」の仲間たち (3階廊下)

プログラム名	実施年
MOMASコレクション 親子クルーズ「おもしろ線を探集に行こう」	2012
洗濯バサミプログラム	2011-12
企画展物語 親子クルーズ「不思議探しに出かけよう」	2012
サマー・アドベンチャー「鉛筆の庭」	2012
工房「光で描こう」	2012
企画展物語 親子クルーズ「くりかえしを立体に」	2012
サマー・アドベンチャー「どろせん ドローイング1000枚プロジェクト」	2009-11

■浮遊するデザイン 倉俣史朗とともに Floating Design: Shiro Kuramata and His Contemporaries

- 会期：2013年7月6日(土)～9月1日(日)
- 主催：埼玉県立近代美術館
- 特別協力：クラマタデザイン事務所
- 企画協力：アートプランニング レイ
- 協力：JR東日本大宮支社、FM NACK 5
- 観覧料：一般1,100円(880円)、大高生880円(710円)
- 入場者数：11,818人
- 広報印刷物：ポスターB2、ちらしA4/デザイン：遠藤一成
- 担当学芸員：平野 到、大越久子、前山裕司



B2ポスター

■開催趣旨

柔らかにカーブを描く引き出しの家具。虚実のあわいに漂うような透明な硝子の椅子。倉俣史朗(1934-1991)の世界を前にすると、デザインに対する私たちの考え方は解放され、夢のような境地に誘われる。

倉俣史朗は、インテリア・デザイン、家具デザインにおいて傑出した仕事を残した。60年代半ばから、いち早く商業空間に斬新な発想でデザインを施し、美術家とも協働して店舗の内装を手掛けた。また、デザインを根本から問い、人間とものとの詩的な出会いをもたらすさまざまな家具を制作している。その活動は世界からも注目

され、81年にはミラノのデザイン集団「メンフィス」に参加する。この頃を境に倉俣の表現は変化し、70年代までのコンセプトを重視した手法を発展させながらも、創造の喜びに満ちた作風があらわれるようになる。こうして、赤い薔薇が浮かぶ透明なアクリルの椅子《ミス ブランチ》などの名作が生み出されていく。そこには、倉俣が追い求めた重力を打ち消す軽やかさ、すなわち自由を象徴する浮遊感覚が見事に結実している。

この展覧会では「浮遊するデザイン」をキーワードに、倉俣の代表的な作品を展示し、ブティックの内装の仕事なども紹介した。また、若き日の倉俣が影響を受けたもの、更には親交のあった美術家やデザイナーの作品もあわせて展示した。

■カタログ

規格：21.0×21.0cm、168頁

デザイン制作：遠藤一成

編集：埼玉県立近代美術館

発行：アートプランニング レイ

内容：出品図版 / 【テキスト】内田繁(インテリアデザイナー)「倉俣史朗の時代とデザイン」、橋本啓子(神戸学院大学専任講師)「倉俣史朗と美術」 / 【出品リストと作品解説】埼玉県立近代美術館(平野 到、大越久子、前山裕司)

価格：2,000円

■関連事業

- ・講演会 ①8月18日(日) 講師：沖 健次(東京造形大学教授)「倉俣史朗のデザインコンセプト/時代・素材・技術」 / ②8月25日(日) 講師：橋本啓子(神戸学院大学専任講師)「倉俣史朗のイメージの構造」 / ①②とも入場無料 / 定員100名(当日先着順) / 参加者：①92名、②76名
- ・ミュージアム・カレッジ「拡張するデザイン」 / 内容・埼玉大学教養学部と埼玉県立近代美術館が共催で実施する市民大学講座(全4回) / ①7月18日(木)「企画展〈浮遊するデザイナー-倉俣史朗とともに〉について」講師・平野 到(当館学芸員) / ②8月1日(木)「世界のデザイン・ミュージアム」講師・暮沢剛巳(デザイン評論家・東京工科大学准教授) / ③8月7日(水)「戦後日本のデザイン史：国際化と日本らしさを求めて」 / 講師・井口壽乃(埼玉大学教養学部教授) / ④8月21日(水)「オフ・ミュージアムなアートとデザインの交差する場」 / 講師・工藤安代(「特定非営利活動法人アート&ソサイエティ研究センター」代表理事) / 費用・無料 / 定員・100名(当日先着順) / 参加者：①39名、②40名、③43名、④21名

- ・担当学芸員によるギャラリー・トーク／7月13日(土)、8月3日(土) 平野 到／参加者：計62名。

■広報記録

<新聞>

- ・『The Japan Times』2013年7月4日
- ・『SANKEI EXPRESS』2013年7月22日
- ・『朝日新聞』2013年7月24日
- ・神谷実里「美博ピックアップ」『朝日新聞』2013年8月7日
- ・岸桂子「倉俣史朗の仕事紹介」『毎日新聞』2013年8月26日

<雑誌、ミニコミ誌等>

- ・「交流のあった人々の作品とともに倉俣史朗の仕事を多角的に探る」『オー・キューブ』2013年5月号
- ・平野到「デザインが夢見るもの 企画展「浮遊するデザイナー—倉俣史朗とともに」」『ソカロ』2013年6-7月号
- ・大越久子「埼玉県立近代美術館通信62 倉俣史朗《ミス ブランチ》」『サラダハウス』2013年7月号
- ・「世界が熱狂した倉俣の遺産、再び」『Pen』2013年8月15日号
- ・建島哲「松本での会話」『ソカロ』2013年8-9月号
- ・藤森泰司「「夢」の先への軌跡」『建築技術』2013年10月号
- ・「浮遊するデザイナー—倉俣史朗とともに 開催」『新建築 住宅特集』2013年10月号
- ・告知：『さいたま朝日』2013年7月28日／『新美術新聞』2013年8月1日・11日／『装苑』2013年8月号／『Hanako』2013年8月8日／『OZ magazine』2013年8月号／『Marisol』2013年8月号／『アコレ・おおみや』2012年7月18日号／『J.COMチャンネル』2013年7月号／『J.COMクーポン』2013年7月号／『彩の国だより』2013年7月号／『草月』2013年夏号／『たまログ』2013年7月号／『Viva! Amigo』2013年7月5日／『Axis』2013年8月号／『ショッパー』2013年7月25日／坂本哲男「芸術さんぽ」『さいたま朝日』2013年8月25日／『カーサ ブルータス』2013年9月号／『美術手帖』2013年9月号／『ホットペッパー』2013年7月号／『コンフォルト』2013年8月号

<テレビ、ラジオ>

- ・NHK FM「日刊!さいたまへず」2013年7月24日

<ウェブ>

- ・新川徳彦「レビュー」『アートスケープ』2013年9月1日号

■担当後記

◆倉俣史朗に関する展覧会は、これまでも原美術館や21_21 design sightなどで開催されており、主に家具デザインなどが展示されてきた。今回は、それらの展覧会とは異なるアプローチを考え、倉俣の家具デザインだけでなく、商業空間のインテリア・デザイン、倉俣が影響を受けたもの、親交のあった美術家やデザイナー、更にはクラマタデザイン事務所の出身者の仕事なども紹介した。倉俣の歩みをより広い視野から捉え、様々な作品や資料と関連付けながら、時代を越えて愛される倉俣のデザインが何を出自に生まれ、何処に向かっているのかを具体的に探ろうとした。

◆特に、倉俣の商業空間の仕事について、1960年代半ばから、写真資料を交えて振り返ったことは、展覧会において大きな意味を持った。今日でも多くのクリエイターから注目されている倉俣であるが、主に取り上げられるのは、『ミス ブランチ』や『ハウ・ハイ・ザ・ムーン』などの家具デザインであり、実際の空間が現存していないインテリア・デザインの仕事に関しては、若い世代にはあまり知られていない。倉俣のデザイナーとしての出発点は、日本では未開拓であった商業空間の内装にあり、その仕事の重要性を位置づけながら展覧会の中で紹介できたことは、ひとつの成果であった。

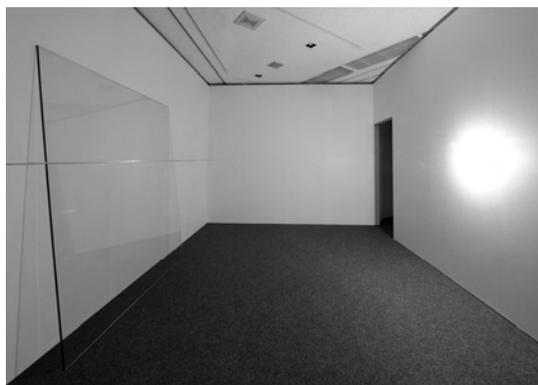
◆倉俣は、デュシャンなどの海外の前衛美術や、同時代の先鋭的な美術に強い関心を持っていた。この展覧会でも、倉俣と美術との関係が浮かび上がるように、関連のある美術作品や記録写真などを展示した。特に、同時代の日本の美術家である田中信太郎、高松次郎、三木富雄と倉俣との交流は、分野を超えた興味深い時代性を照らしだしている。今後、彼らの交流に関して更に調査を進め、倉俣が同時代の美術家と共有していた感受性や美意識を探っていくことは、当時の時代状況を読み解く上で新たな視点をもたらすに違いない。(平野 到)



II章・会場風景=左奥から《ピラミッドの家具》(1968年)、《プラスチックの家具 洋服ダンス》(1968年)、《光のテーブル》(1969年)、《光の椅子》(1969年)／撮影：松本和幸



Ⅲ章・会場風景＝左奥から《ランプ(オバQ)》(1972年)、《硝子の椅子》(1976年)、《光の棚》(1978年)／撮影：松本和幸



Topic B 分野の横断—交差するデザインと美術・会場風景＝田中信太郎《点・線・面》1968年(再制作展示)／撮影：松本和幸

■出品リスト

*展覧会は、倉俣史朗の作品を紹介するⅠ～Ⅸ章とA～Hのトピックスにより構成されている。

*寸法に関しては、Ⅰ～Ⅸ章の展示作品に限って記した。寸法の記号は、次の通り。W：幅、D：奥行、H：高さ、T：厚み

*写真資料展示、スライド展示の作品は、素材表記は省いた。

<Ⅰ>

◆Ⅰ-1 倉俣史朗 引出しの家具/Shiro Kuramata, Furniture with Drawers/1967年/W920×D760×H700mm/座：クッション、布、綿(ポリウレタンフォーム) | 本体：ナラ材合板およびフラッシュ構造併用、オイル塗装生地仕上 | ボールキャスター：スチールクロームメッキ/富山県立近代美術館蔵

◆Ⅰ-2 倉俣史朗 引出しの家具Vol. 2 #6/Shiro Kuramata, Furniture with Drawers Vol. 2 #6/1970年/W1148×D450×H1213mm/本体：合板にポリウレタン塗装 | 引出し前板：デコラ白半艶消し | ボールキャスター：スチールクロームメッキ/クラマタデザイン事務所蔵

◆Ⅰ-3 倉俣史朗 引出しの家具 Vol. 2 #5/Shiro Kuramata, Furniture with Drawers Vol. 2 #5/1970年/W420×D500×H1700mm/本体：合板にポリウレタン塗装 | 引出し前板：デコラ白半艶消し | ボールキャスター：スチールクロームメッキ/クラマタデザイン事務所蔵

◆Ⅰ-4 倉俣史朗 変型の家具 Side 1/Shiro Kuramata, Furniture in Irregular Forms Side 1/1970年/W450×D500×H1700mm/本体：単板積層成形合板、ポリウレタン塗装 | 引出し前板：デコラ白半艶消し | ボールキャスター：スチールクロームメッキ/青島商店エムプラス蔵

<Topic A 若き日の倉俣史朗>

◆A-1 ホンダ原動機付自転車A型/Motorized Bicycle : Honda A-Type/1947年/写真資料展示/資料提供：オー・デザインコレクション

◆A-2 柳 宗理 レコードプレーヤー：Columbia グラフオノラ RG-700/Sori Yanagi, Record Player : Columbia Grafonola RG-700/1952年/レコードプレーヤー、ラジオ/オー・デザインコレクション蔵

◆A-3 山口文象 成型合板の椅子/Bunzo Yamaguchi, Molded Plywood Chair/1954年/写真資料展示

◆A-4 丹頂型公衆電話ボックス/Telephone Booth : Tancho-zuru /導入年・1954年/写真資料展示/写真提供：NTT技術史料館

◆A-5 第1回具体美術展展示風景(小原会館、東京)/Views of the 1st Gutai Art Exhibition (Ohara Hall, Tokyo) /1955年/写真資料展示(7枚)/写真提供：芦屋市立美術館蔵

◆A-6 『具体』誌/Gutai/発行：具体美術協会/芦屋市立美術館蔵/創刊号：1955年1月1日/2号：1955年10月10日/3号：1955年10月20日/4号：1956年7月1日

◆A-7 『ドムス』誌/Domus. architettura arredamento arte/発行：ドムス(ミラノ)/個人蔵/1956年3月号(no. 316)/1956年5月号(no. 318) /1956年7月号(no. 320)/1956年8月号(no. 321)/1961年4月号(no. 377)/1961年5月号(no. 378)/1961年11月号(no. 384)/1962年5月号(no. 390) /1963年8月号(no. 405) /1963年10月号(no. 407) /1963年11月号(no. 408)

<Ⅱ>

◆Ⅱ-1 倉俣史朗 ピラミッドの家具/Shiro Kuramata, Pyramid Furniture/1968年/W700×D600×H1821mm/本体：透明アクリル T=12mm | 引出し：黒アクリル T=8mm | ボールキャスター：スチールクロームメッキ/株式会社イシマル蔵

◆Ⅱ-2 倉俣史朗 プラスチックの家具 洋服ダンス/Shiro Kuramata, Plastic Wardrobe/1968年/W950×D550 ×H1950mm/透明アクリル T=12mm/クリアギャラリー蔵

◆Ⅱ-3 倉俣史朗 光の椅子/Shiro Kuramata, Luminous Chair/1969年/直径1200×H600mm/乳白アクリル板 T=5mm、FRPスナッフ

成型 | 蛍光灯内蔵 / 富山県立近代美術館蔵

◆II-4 倉俣史朗 光のテーブル / Shiro Kuramata, Luminous Table / 1969年 / W1100×D600×H430mm / 乳白アクリル板 T=5mm, T=3mm | 蛍光灯内蔵 / クリアギャラリー蔵

〈Topic B 分野の横断—交差するデザインと美術〉

◆B-1 「空間から環境へ」会場風景(松屋銀座) / View of "From Space to Environment" (Matsuya Ginza) / 1966年 / 写真資料展示 / 撮影: 村井 修

◆参考出品 「空間から環境へ」の展示図面: 『美術手帖・特集=空間から環境へ』1966年11月号増刊より / 発行: 美術出版社 / 個人蔵

◆B-2 「西武ニューフォーム・インテリア・ショップ ie. —11人のヤング・デザイナーによる提案」関連記事(『JAPAN INTERIOR DESIGN』1969年12月号より) / Article of Seibu New Form Interior Shop ie. —Original Furniture Designs by 11 Young Designers: reported in JAPAN INTERIOR DESIGN (Dec. 1969) / クラマタデザイン事務所蔵

◆B-3 『サンドイッチサイレンサー』 / Sandwich Silencer / 1974年 / 発行: 王立出版社 / クラマタデザイン事務所蔵

◆B-4 倉俣史朗 トンボ屋(婦人服、静岡) / 天井のイラストレーション: 宇野亜喜良 / Shiro Kuramata, Tombo-ya / Illustration on the ceiling: Akira Uno / 1966年 / 写真資料展示 / 撮影: 藤塚光政

◆B-5 倉俣史朗 エドワーズの家具とディスプレイ(展示会、千代田区・東京) / 天井・壁面・床のイラストレーション: 伊坂芳太良 / Shiro Kuramata, Edward's Exhibition (Exhibition title: Romanticism Revisited 1818 Edward's) / Illustration on the ceiling, floor and wall: Yoshitaro Isaka / 1967年 / 写真資料展示 / 撮影: 藤塚光政

◆B-6 倉俣史朗 スナック田園(レストラン、静岡) / 天井イラストレーション: 山崎英介 / Shiro Kuramata, Snack Den-en / Illustration on the ceiling: Eisuke Yamazaki / 1967年 / 写真資料展示 / 撮影: 藤塚光政

◆B-7 倉俣史朗 宝くじPRコーナー(宝くじコーナー、銀座・東京) / イラストレーション: 横尾忠則 / Shiro Kuramata, Public Relations Office for The Japan National Lottery / Illustration on the wall: Tadanori Yokoo / 1967年 / 写真資料展示

◆B-8-a 倉俣史朗 クラブ カッサドル(バー、新宿・東京) / 壁画: 高松次郎 / Shiro Kuramata, Supper Club Cazador / Wall painting: Jiro Takamatsu / 1967年 / 写真資料展示 / 撮影: 藤塚光政

◆(スライド展示・制作ドキュメント) 倉俣史朗 クラブ カッサドル 東京・新宿 / 1967年 / Shiro Kuramata, Supper Club Cazador / 壁画制作: 高松次郎 / Wall Painting: Jiro Takamatsu / 撮影: 藤塚光政 / ©The Estate of Jiro Takamatsu, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

◆B-8-b 倉俣史朗 クラブ カッサドルの椅子 / Shiro Kuramata, Chair for Supper Club Cazador / 1967年 / 本体: 合板(ブナ材) ラッカー塗装仕上げ | 背: 藤かご編み | 座: ルーズクッション(ビニールレザー) / クラマタデザイン事務所蔵

◆B-9-a 倉俣史朗 カリオカ ビルディング 工事中の囲い(銀座・東京) / 壁画: 高松次郎 / Shiro Kuramata, Temporary Enclosure of Carioca Building Construction Site / Wall painting: Jiro Takamatsu / 1971年 / 写真資料展示 / カラー写真・撮影: 小川隆之 / モノクロ写真: ©The Estate of Jiro Takamatsu, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

◆B-9-b 高松次郎 壁画図面: カリオカ ビルディング 工事中の囲い / Jiro Takamatsu, Plan for the Wall Painting of Temporary Enclosure of Carioca Building Construction Site / 1970年 / 鉛筆、方眼紙 / ©The Estate of Jiro Takamatsu, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

◆B-10 倉俣史朗 パブリックバー ビストロ(都ホテルのバー、博多・福岡) / 壁画: 高松次郎 / Shiro Kuramata, Pub-bar BISTRO / Wall painting: Jiro Takamatsu / 1972年 / 写真資料展示 / ボトルの影の写真: ©The Estate of Jiro Takamatsu, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

◆B-11 高松次郎 影(鍵)No.176 / Jiro Takamatsu, Shadow (Key) No.176 / 1967年 / ラッカー、フック、木 / 新潟市美術館蔵

◆B-12 高松次郎 パイプをくわえた男 / Jiro Takamatsu, Man Smoking a Pipe / 1970年 / 油彩、カンヴァス / ふくやま美術館蔵

◆B-13 マルセル・デュシャン トランクの箱(ヴァリーズ) / Marcel Duchamp, From or by Marcel Duchamp or Rose Sélavy (The Box in a Valise) / シリーズD, 1961年 / 複製図版、レプリカ、布 / うらわ美術館蔵

◆B-14 『アートフォーラム』1966年12月号 / 表紙: ダン・フレイヴィン 《プエルトリコの光》 / Artforum, Dec. 1966 / Cover: Dan Flavin, Puerto Rican Light, 1965 / 個人蔵

◆B-15 『アートフォーラム』1967年夏季特別号 / 表紙: ラリー・ベル 《マイクの思い出》 / Artforum, Special Issue Summer 1967 / Cover: Larry Bell, Memories of Mike, 1966-67 / 個人蔵

◆B-16 『アートフォーラム』1968年5月号 / ドナルド・ジャッドの回顧展のレビュー / Artforum, May. 1968 / Exhibition Review about Donald Judd Retrospective in the Whitney Museum of American Art / 埼玉県立近代美術館蔵

◆B-17 『アートフォーラム』1969年12月号 / ダン・フレイヴィンの回顧展のレビュー / Artforum, Dec. 1969 / Exhibition Review about Dan Flavin Retrospective in Ottawa / 埼玉県立近代美術館蔵

◆B-18 田中幸太郎 点・線・面 / Shintaro Tanaka, Point・Line・Plane / 1968年(再制作展示) / 硝子、ピアノ線、ハロゲンランプ

◆B-19 三木富雄 EAR NO A0011 / Tomio Miki, EAR NO A0011 / 1970年 / アルミニウム / クラマタデザイン事務所蔵

〈III〉

◆III-1 倉俣史朗 ランプ(オバQ) / Shiro Kuramata, Lamps (Oba-Q) / 1972年 / (小)W450×D450×H370mm、(大)W850×D850×H820mm / 本体: 乳白色プラスチック板 T=2mm、成型加工 | 照明内蔵(60W) / 個人蔵、新潟市新津美術館蔵

◆III-2 倉俣史朗 照明入廻転キャビネット / Shiro Kuramata, Illuminated Revolving Cabinet / 1973年 / 直径500×H1700mm / ケース: 透明アクリル T=5mm | 支柱: ミルキーホワイトプラスチックパイプ 直径60mm | スリムラインライト 47W | ベース: スチール T=2mm、へらしぼり、クロームメッキ / クリアギャラリー蔵

- ◆III-3 倉俣史朗 硝子の椅子/Shiro Kuramata, Glass Chair/1976年/W900×D600×H880mm/透明ガラスT=12mm | 接着剤: フォトボンド100/三保谷硝子店蔵
- ◆III-4 倉俣史朗 光の棚/Shiro Kuramata, Lighting Shelves/1978年/W1700×D1700×H2000mm/棚: 乳白アクリル板、光源拡散フィルム/原美術館蔵
- ◆III-5 倉俣史朗 ソラリスの器/Shiro Kuramata, Glass Box of Solaris/1978年/W200×D200×H164mm(3段)/透明ガラス T=8mm | 接着剤: フォトボンド100/個人蔵

<Topic C 商業空間が実験場になるとき>

- ◆C-1 倉俣史朗 アバンギャルドショップ <カプセル>/Shiro Kuramata, Avant-garde Shop “Capsule”/1968年/スライド展示/撮影: 藤塚光政、小川隆之
- ◆C-2 倉俣史朗 レストラン サーカス/Shiro Kuramata, Restaurant Circus/1968年/スライド展示/撮影: 藤塚光政
- ◆C-3 倉俣史朗 エドワーズ 本社ビルディング/Shiro Kuramata, Shop Edward’s Head Office/1969年/スライド展示/撮影: 藤塚光政
- ◆C-4 倉俣史朗 クラブ ジャッド/Shiro Kuramata, Club Judd/1969年/スライド展示/撮影: 藤塚光政
- ◆C-5 倉俣史朗 メンズショップ マーケット ワン/Shiro Kuramata, Men’s Shop Market One/1970年/スライド展示/撮影: 小川隆之
- ◆C-6 倉俣史朗 カリオカ ビルディング/Shiro Kuramata, Carioca Building/1971年/スライド展示/撮影: 藤塚光政、小川隆之
- ◆C-7 倉俣史朗 プロジェクト ルミ・サーフェス No. 1(模型)/Shiro Kuramata, Luminous Surface Project No. 1 (plan)/1972年/スライド展示/撮影: 藤塚光政
- ◆C-8 倉俣史朗 プロジェクト マグネット(模型)/Shiro Kuramata, Magnet Project (plan)/1973年/スライド展示/撮影: 藤塚光政
- ◆C-9 倉俣史朗 テキスタイル ショールーム 四季ファブリック/Shiro Kuramata, Textile Showroom Shiki Fabric/1974年/スライド展示/撮影: 藤塚光政
- ◆C-10 倉俣史朗 ショーケース 洋菓子店 粉と卵/Shiro Kuramata, Cake Shop Kona to Tamago/1974年/スライド展示/撮影: 藤塚光政
- ◆C-11 内田 繁 フリーフォームチェア/Shigeru Uchida, Free Form Chair/1969年/本体: 布縫製仕上 | 内部: 丸型発泡スチロール/テキスタイルデザイン: 栗辻博(1969年仕様)/内田デザイン研究所蔵
- ◆C-12 内田 繁 セプテンバー/Shigeru Uchida, September/1977年/フレーム: スチールメラミン焼付塗装(黒) | 座: スチールワイヤ張り/内田デザイン研究所蔵
- ◆C-13 内田 繁 Horizontal A-line by PASTOE/Shigeru Uchida, Horizontal A-line by PASTOE/2001年/5点/内田デザイン研究所蔵
- ◆C-14 内田 繁 Horizontal A-train by PASTOE/Shigeru Uchida, Horizontal A-train by PASTOE/2001年/内田デザイン研究所蔵

<Topic D ブティック空間の創造>

- ◆D-1 倉俣史朗 ISSEY MIYAKE、東京、青山、フロムファースト/Shiro Kuramata, ISSEY MIYAKE (From 1st, Aoyama, Tokyo)/1976年/スライド展示/撮影: 藤塚光政
- ◆D-2 倉俣史朗 ISSEY MIYAKE、東京、銀座松屋/Shiro Kuramata, ISSEY MIYAKE (Ginza Matsuya, Tokyo)/1983年/スライド展示/撮影: 白鳥美雄
- ◆D-3 倉俣史朗 ISSEY MIYAKE、パリ、サンジェルマン/Shiro Kuramata, ISSEY MIYAKE (Saint-Germain, Paris)/1983年/スライド展示/撮影: 田原桂一
- ◆D-4 倉俣史朗 ISSEY MIYAKE MEN、京都タイムス/Shiro Kuramata, ISSEY MIYAKE MEN (Kyoto Times)/1984年/スライド展示/撮影: 平井広行
- ◆D-5 倉俣史朗 ISSEY MIYAKE、東京、青山、フロムファースト/Shiro Kuramata, ISSEY MIYAKE (From 1st, Aoyama, Tokyo)/1984年/スライド展示/撮影: 藤塚光政
- ◆D-6 倉俣史朗 ISSEY MIYAKE、ニューヨーク、バーグドルフグッドマン/Shiro Kuramata, ISSEY MIYAKE (Bergdorf Goodman, New York)/1984年/スライド展示/撮影: Oberto Gili、関田幹雄
- ◆D-7 倉俣史朗 ISSEY MIYAKE、福岡、小倉、プロジェクトビル/Shiro Kuramata, ISSEY MIYAKE (Project Building, Kokura, Fukuoka)/1985年/スライド展示/撮影: 平井広行
- ◆D-8 倉俣史朗 ISSEY MIYAKE MEN、兵庫、尼崎、西武百貨店つかしん店/Shiro Kuramata, ISSEY MIYAKE MEN (Seibu Tsukashin, Amagasaki, Hyogo)/1985年/スライド展示/撮影: 平井広行
- ◆D-9 倉俣史朗 ISSEY MIYAKE、兵庫、神戸、リランズゲート/Shiro Kuramata, ISSEY MIYAKE (RIRAN’S GATE, Kobe, Hyogo)/1986年/スライド展示/撮影: 平井広行
- ◆D-10 倉俣史朗 ISSEY MIYAKE MEN、東京、新宿丸井/Shiro Kuramata, ISSEY MIYAKE MEN (Shinjuku Marui, Tokyo)/1986年/スライド展示/撮影: 平井広行
- ◆D-11 倉俣史朗 ISSEY MIYAKE MEN、東京、渋谷パルコ/Shiro Kuramata, ISSEY MIYAKE MEN (Shibuya Parco, Tokyo)/1986年/スライド展示/撮影: 平井広行
- ◆D-12 倉俣史朗 ISSEY MIYAKE MEN、東京、西武渋谷/Shiro Kuramata, ISSEY MIYAKE MEN (Seibu Shibuya, Tokyo)/1987年/スライド展示/撮影: 平井広行、田原桂一

- ◆D-13 倉俣史朗 ISSEY MIYAKE MEN、東京、青山/Shiro Kuramata, ISSEY MIYAKE MEN (Aoyama, Tokyo)/1987年/スライド展示/撮影: 田原桂一
- ◆D-14 三宅一生 ウォーターフォール・ボディ/Issey Miyake, Waterfall Body/1984年/ビュスティエ: アクリル100%、樹脂加工/公益財団法人 三宅一生デザイン文化財団蔵

<Topic E インテリアとしての建築>

- ◆E-1 倉俣史朗 K氏邸/Shiro Kuramata, K Residence/1972年/写真資料展示/撮影: 藤塚光政
- ◆E-2 倉俣史朗 都死住宅 No.2(模型)/Shiro Kuramata, House to Be Built in a Defunct Urban Environment (plan)/1974年/写真資料展示/撮影: 藤塚光政
- ◆E-3 倉俣史朗 山荘 T/Shiro Kuramata, T Villa/1975年/写真資料展示/撮影: 小川隆之
- ◆E-4 倉俣史朗 階段のための住宅(模型)/Shiro Kuramata, The House for Staircase (plan)/1976年/模型と写真資料展示/撮影: 平井広行、藤塚光政/模型: クラマタデザイン事務所蔵
- ◆E-5 倉俣史朗 Gスタジオ/Shiro Kuramata, Studio G/1980年代後半/インク、色鉛筆、紙/クラマタデザイン事務所蔵

<IV>

- ◆IV-1 倉俣史朗 インペリアル/Shiro Kuramata, Imperial/1981年/W350×D400×H1500mm/本体: ベニヤ合板フラッシュ、ナラ材突板、アニリン塗装(黒)|脚: ナラ無垢材、アニリン塗装(黒)|蛇腹: アニリン塗装(黒)/原美術館蔵
- ◆IV-2 倉俣史朗 KYOTO/Shiro Kuramata, KYOTO/1983年/直径600×H700mm/テラゾータイル、色ガラス|支柱: スチールパイプ 直径60mm、クロームメッキ仕上/個人蔵
- ◆IV-3 倉俣史朗 椅子に座る椅子/Shiro Kuramata, Sedia Seduta/1984年/W770×D820×H1100mm/本体: ABS樹脂板下地、ボンスエード塗料|座・背: アルミ板 T=1.5mm、メラミン焼付塗装|脚: ステンレスパイプ 直径30mm、鏡面加工/富山県立近代美術館蔵
- ◆IV-4 倉俣史朗 トワイライトタイム/Shiro Kuramata, Twilight Time/1985年/W1120×D595×H700mm/天板: 透明ガラスT=5mm、3層接着|脚: スチールエキスパンドメタル、曲げ加工、クロームメッキ仕上/クラマタデザイン事務所蔵
- ◆IV-5 倉俣史朗 シング シング シング/Shiro Kuramata, Sing Sing Sing/1985年/W525×D607×H858mm/フレーム: スチールパイプ 直径25mm、クロームメッキ|座・背: スチールエキスパンドメタル曲げ加工、クロームメッキ仕上/富山県立近代美術館蔵
- ◆IV-6 倉俣史朗 ハウ・ハイ・ザ・ムーン(シングル)/Shiro Kuramata, How High the Moon (single)/1986年/W955×D825×H695mm/本体: スチールエキスパンドメタル、ニッケルクロームメッキ又は銅メッキ/個人蔵
- ◆IV-7 倉俣史朗 ハウ・ハイ・ザ・ムーン(ダブル)/Shiro Kuramata, How High the Moon (double)/1986年/W1500×D825×H695mm/本体: スチールエキスパンドメタル、ニッケルクロームメッキ又は銅メッキ/SOMEWHERE蔵

<Topic F ソットサスとの交流—メンフィスへの参加>

- ◆F-1 エットレ・ソットサス ヴァレンタイン・ポータブル・タイプライター/Ettore Sottsass, Valentine Portable Typewriter/1969年/ペリー・キングとの共作/ABS樹脂(プラスチック)、金属ほか/個人蔵
- ◆F-2 エットレ・ソットサス 祝祭としての惑星: 室内楽を聴くための筏(構想図)/Ettore Sottsass, The Planet as Festival: Study for Rafts for Listening to Chamber Music/1972-73年/原画: 立石大河亞(タイガー立石)/リトグラフ、紙/個人蔵
- ◆F-3 エットレ・ソットサス 祝祭としての惑星: ワルツ、タンゴ、ロック、チャチャの音楽を提供する施設(構想図)/Ettore Sottsass, The Planet as Festival: Study for a Large Dispenser of Waltzes, Tangos, Rock, and Cha-Cha/1972-73年/原画: 立石大河亞(タイガー立石)/リトグラフ、紙/個人蔵
- ◆F-4 エットレ・ソットサス 祝祭としての惑星: 星をみるためのスタジアム(構想図)/Ettore Sottsass, The Planet as Festival: Study for Design of a Stadium for Star-gazing/1972-73年/原画: 立石大河亞(タイガー立石)/リトグラフ、紙/個人蔵
- ◆F-5 エットレ・ソットサス 森にあるティーポット(構想図)/Ettore Sottsass, Study for Tea Pot (in Forest Setting) /1973年/原画: 立石大河亞(タイガー立石)/リトグラフ、紙/個人蔵
- ◆F-6 エットレ・ソットサス ティーポット(構想図)/Ettore Sottsass, Study for Tea Pot/1973年/原画: 立石大河亞(タイガー立石)/リトグラフ、紙/個人蔵
- ◆F-7 エットレ・ソットサス ぶどうの入ったフルーツボール(構想図)/Ettore Sottsass, Study for Fruit Bowl (with Grapes) /1973年/原画: 立石大河亞(タイガー立石)/リトグラフ、紙/個人蔵
- ◆F-8-a 第1回メンフィス展の招待状(1981年9月)/Invitation for the first Show of Memphis (September, 1981)/印刷物/クラマタデザイン事務所蔵
- ◆F-8-b 『カフェテリア・メンフィス』(記録冊子)/Cafeteria Memphis (Documentary Book) /1981年/フォルダー、印刷物/クラマタデザイン事務所蔵
- ◆F-8-c 『メンフィス: ニュー・インターナショナル・スタイル』(アーティストブック、記録集) /Memphis: The New International Style (Artist Book, Documentary Book) /1981年/書籍/クラマタデザイン事務所蔵、SOMEWHERE蔵
- ◆F-8-d 『メンフィス』(記録とテキスト)/Memphis (Documentary and Textual Work) /1982年/冊子/クラマタデザイン事務所蔵
- ◆F-8-e 『メンフィス ミラノ 1985』(記録集)/Memphis Milano 1985 (Documentary Book) /1985年/書籍/クラマタデザイン事務所蔵
- ◆F-8-f 『メンフィスの家具 ミラノ 1982』(記録カタログ)/Memphis Furniture Milano 1982 (Documentary Catalogue) /1982年/折りたたみ式印刷物/クラマタデザイン事務所蔵

- ◆F-8-g 『メンフィスの家具 ミラノ 1983』(記録カタログ)/Memphis Furniture Milano 1983 (Documentary Catalogue)/1983年/折りたたみ式印刷物/クラマタデザイン事務所蔵
- ◆F-8-h 『メンフィス ミラノ』(アーティストブック、記録集)/Memphis Milano (Artist Book, Documentary Book)/1984年/書籍/クラマタデザイン事務所蔵
- ◆F-8-i 『メンフィス スタイルへの問い』展覧会図録/Memphis, una questione di stile (Exhibition Catalogue)/1984年/書籍/クラマタデザイン事務所蔵
- ◆F-8-j メンフィスの葉書/Postcard of Memphis/1983年/葉書/クラマタデザイン事務所蔵
- ◆F-9 エットレ・ソットサス タヒチ/Ettore Sottsass, Tahiti/1981年/照明器具: 金属、プリント・ラミネート/個人蔵
- ◆F-10 エットレ・ソットサス 硝子作品のドローイング/Ettore Sottsass, Drawing for Glass Works/1986年/水彩、鉛筆、紙/個人蔵
- ◆F-11 倉俣史朗インタビュー『ドムス』誌(1984年4月号)/Shiro Kuramata Interview on Domus (April, 1984) /発行: ドムス(ミラノ)/クラマタデザイン事務所蔵/翻訳資料提供: クラマタデザイン事務所

<V>

- ◆V-1 倉俣史朗 ルネディ A(アクリル フロア スタンド A)/Shiro Kuramata, Lunedì A(Acrylic Floor Stand A)/1985年/直径400×H1710mm/支柱: アクリル 50mm角、電線 直径0.26mm | シェード: スチールにボンスエード塗装焼付仕上、トップ: 乳白アクリル T=5mm | ベース: スチール、ボンスエード塗装焼付仕上/個人蔵
- ◆V-2 倉俣史朗 ルネディ B(アクリル フロア スタンド B)/Shiro Kuramata, Lunedì B(Acrylic Floor Stand B)/1985年/直径400×H1710mm/支柱: アクリル 50mm角、電線 直径0.26mm | シェード: スチールにボンスエード塗装焼付仕上 | ベース: スチール、ボンスエード塗装焼付仕上/個人蔵
- ◆V-3 倉俣史朗 「バー ルッキーノ」のカウンター天板/Shiro Kuramata, Tabletop of Lucchino Bar/1987年/W2700×D725×H35 mm/3枚合わせガラス(透明+ひび割れ+腐食)/新潟市新津美術館蔵
- ◆V-4 倉俣史朗 ヨセフ・ホフマンへのオマージュ Vol. 2/Shiro Kuramata, Homage to Josef Hoffman Vol. 2/1986年/W900×D750×H920mm/ヨセフ・ホフマンの椅子、木、布、豆電球、コントローラー/Lighting Art Gallery蔵
- ◆V-5 倉俣史朗 傘立て(F. I. -86)/Shiro Kuramata, Umbrella Stand(F. I. -86)/1986年/直径370×H875mm/本体: スチールパイプ 直径17.3mm、粉体塗装 | リング: ステンレスパイプ 直径21.7mm、鏡面仕上 | ベース: ステンレススチール T=1.6mm、粉体塗装/クラマタデザイン事務所蔵

<VI>

- ◆VI-1 倉俣史朗 ミス ブランチ/Shiro Kuramata, Miss Blanche/1988年/W620×D600×H920mm/本体: アクリル、造花(バラ) | 脚: アルミパイプ 直径35mm、アルマイト染色仕上/埼玉県立近代美術館蔵
- ◆VI-2 倉俣史朗 五本針の時計/Shiro Kuramata, Clock with Five Hands/1986年/W330×H330×D18mm/本体: メラミンボード | 針: 煮干、蝶、てんとう虫 | 時計/クラマタデザイン事務所蔵
- ◆VI-3 倉俣史朗 ジャスト イン タイム/Shiro Kuramata, Just in Time/1986年/W370×H520×D18mm/本体: メラミンボード | 針: 小枝 | 秒針: ステンレス線 | 時計/クラマタデザイン事務所蔵
- ◆VI-4 倉俣史朗 100%メイクアップ花瓶/Shiro Kuramata, "100% Make-Up" Vase/1990年/直径125×H385mm/磁器(1400℃焼付け後、850℃焼付け)/クラマタデザイン事務所蔵

<VII>

- ◆VII-1 倉俣史朗 曲げガラスのテーブル/Shiro Kuramata, Bent Glass Table/1988年/W2250×D1210×H700mm/天板: 透明曲げガラスT=12mm | 脚: アルミパイプ 直径32mm、ショットブラスト、アルマイト/コクヨ株式会社蔵
- ◆VII-2 倉俣史朗 ひとめぼれ/Shiro Kuramata, Coup de Foudre/1988年/W1040×D510×H1700mm/天板・側板: 透明ガラス T=10mm | ボール: 透明ガラス、フォトボンド接着 | 鏡: T=8mm、スチール下地 | 脚: スチールパイプ、メラミン焼付塗装/新潟市新津美術館蔵

<Topic G 夢の空間—オブローモフ>

- ◆G-1 倉俣史朗 バー オブローモフ/Shiro Kuramata, Bar OBLOMOV/1989年/写真資料展示/撮影: 藤塚光政
- ◆G-2 倉俣史朗 バー オブローモフの模型/Shiro Kuramata, Model of Bar OBLOMOV/1990年/透明アクリル、カラーアクリル、アルミパーツ、アルマイト染色/クラマタデザイン事務所蔵

<Topic H クラマタデザイン事務所の出身者たち>

- ◆H-1 沖 健次 Gキューブ/Kenji Oki, G-Cube Lamp/2000年/板ガラス/個人蔵
- ◆H-2 沖 健次 ゲートウェイ/Kenji Oki, Gateway/2005年/アルミ、トップトーン樹脂仕上/個人蔵
- ◆H-3 沖 健次 アンモナイト/Kenji Oki, Ammonite/2005年/アルミ、トップトーン樹脂仕上/個人蔵
- ◆H-4 桑山秀康 椅子-A/Hideyasu Kuwayama, Chair-A/1991年/本体: 合板ウレタン塗装 | 脚: スチールパイプ焼付塗装/個人蔵
- ◆H-5 桑山秀康 椅子-B/Hideyasu Kuwayama, Chair-B/2001年/ホワイトアッシュ/個人蔵
- ◆H-6 近藤康夫 Homage to Blues in the night/Yasuo Kondo, Homage to Blues in the night/2013年/スチール、ガラス、LED/作家蔵

- ◆H-7 榎本文夫 SDB001/Fumio Enomoto, SDB001/2008年/孟宗竹の集成材/榎本文夫アトリエ蔵
- ◆H-8 榎本文夫 KURIKOMA(アーム付き)/Fumio Enomoto, Arm Chair “KURIKOMA”/2012年/杉間伐材の無垢材(宮城県産)、蜜蝋ワックス仕上/株式会社ワイス・ワイス蔵
- ◆H-9 榎本文夫 KURIKOMA(アーム無し)/Fumio Enomoto, Chair “KURIKOMA”/2012年/杉間伐材の無垢材(宮城県産)、蜜蝋ワックス仕上/株式会社ワイス・ワイス蔵
- ◆H-10 榎本文夫 WEAVE/Fumio Enomoto, WEAVE/2011年/孟宗竹集成材/旭川家具工業協同組合蔵
- ◆H-11 五十嵐久枝 transparent stool/Hisae Igarashi, transparent stool/2002年/ガラス/イガラシデザインスタジオ蔵
- ◆H-12 五十嵐久枝 light side chair/Hisae Igarashi, light side chair/2010年/ナラムク材、LEDライト/イガラシデザインスタジオ蔵
- ◆H-13 韓 亜由美 トンネル シークエンス デザイン/Ayumi Han+ Studio Han Design S.R.L., Tunnel Sequence-design/2006, 2012年/記録映像(編集: Studio Han Design)/Studio Han Design蔵
- ◆H-14 韓 亜由美 Sensorial Dynamics/Ayumi Han, Sensorial Dynamics/1995年/記録映像(編集: 韓 亜由美)/韓 亜由美蔵

<VIII>

- ◆VIII-1 倉俣史朗 イメージスケッチ/Shiro Kuramata, Sketch of Image/クラマタデザイン事務所蔵/24点
- 1 美術館の前のパフォーマンス/Performance in front of art museum/1980年代後半/285×374mm/インク、紙
- 2 無題/Untitled/1980年代後半/285×375mm/インク、紙
- 3 無題/Untitled/1980年代後半/285×373mm/インク、パステル、紙
- 4 無題/Untitled/1980年代後半/284×375mm/インク、紙
- 5 無題/Untitled/1980年代後半/228×305mm/インク、紙
- 6 無題/Untitled/1980年代後半/281×375mm/インク、紙
- 7 無題/Untitled/1980年代後半/220×305mm/インク、紙
- 8 無題/Untitled/1980年代後半/275×375mm/インク、紙
- 9 Spiral/1980年代後半/283×381mm/インク、色鉛筆、紙
- 10 椅子の休息or椅子の椅子/Sedia Seduta/1983年/421×291mm/インク、トレーシングペーパー
- 11 Ritz/1980年代後半/275×375mm/インク、紙
- 12 Ritz/1981年/210×290mm/印刷、鉛筆、紙
- 13 スターピースのテーブル/Star piece table/1980年代後半/228×304mm/インク、紙
- 14 Miss Blanche/1980年代後半/284×381mm/インク、色鉛筆、紙
- 15 How High the Moon/1980年代後半/280×380mm/インク、紙
- 16 無題/Untitled/1980年代後半/223×305mm/インク、紙
- 17 Imperial/1980年代後半/275×376mm/インク、紙
- 18 Imperial/1980年代後半/275×375mm/インク、紙
- 19 蛇腹のキャビネット #2/Bellow's Cabinet #2/1980年代後半/275×375/インク、紙
- 20 ランプ/Lamp/1980年代後半/297×211mm/青焼、インク、紙
- 21 フロア照明スタンド/Floor Lamp/1980年代後半/298×211mm/青焼、インク、紙
- 22 Laputa/1980年代後半/285×373mm/インク、紙
- 23 葉付き花瓶/Flower Vase with Design of Leaves/1990年/228×304mm/インク、色鉛筆、紙
- 24 Just in Time/1986年/219×305mm/インク、色鉛筆、紙
- ◆VIII-2 倉俣史朗 水素の夢/Shiro Kuramata, Hydrogen Dream/1988年/W190×台座直径90×H240mm/台座: スチール下地、ボンスエード塗装 | スプーン: 既製品 | 支柱: 角パイプ、真鍮、ブラスト・クロームメッキ仕上 | 電球: 6v・5w/クラマタデザイン事務所蔵
- ◆VIII-3 倉俣史朗 アモリーノ/Shiro Kuramata, Amorino/1990年/H290mm/キュービー人形、モーター内蔵/クラマタデザイン事務所蔵

<IX>

- ◆IX-1 倉俣史朗 カビネ・ド・キュリオジテ/Shiro Kuramata, Cabinet de Curiosité/1989年/W460×D460×H1900mm/フレーム本体: カラーアクリル40mm角 | 飾り棚: 透明アクリル T=8mm/株式会社イシマル蔵
- ◆IX-2 倉俣史朗 花瓶“エフェメーラ”/Shiro Kuramata, Flower Vase “Ephemeria”/1989年/各ベースW180×D180×H1400mm/本体: アルミパイプ 直径18mm、アルマイト染色 | ベース: 透明アクリル、カラーアクリル/クラマタデザイン事務所
- ◆IX-3 倉俣史朗 ラピュタ/Shiro Kuramata, Laputa/1991年/W4200×D650×H1440mm/フレーム: アルミ、アルマイト染色 | マットレス: シルク/クラマタデザイン事務所蔵

■MOMASコレクション

MOMASコレクション(埼玉県立近代美術館常設展)では、当館のコレクションの中核をなす埼玉ゆかりの美術家と彼らに影響を与えた国内外の優れた作品を、さまざまな角度から紹介している。

年間を4つの会期に分け、各回さらにいくつかのコーナーを設けて、ジャンルやテーマ、作家の小特集、名品選など、さまざまな切り口で多様な作品を紹介できるように構成している。さらに所蔵作品に加えてテーマに相応しい寄託・借用作品も随時展示して企画性を高めている。

また新たな特集展示枠として、「アーティスト・プロジェクト」(平成15年度～)、「キュレーターの視点」、「ミュージーズ・フォーラム」、「リサーチ・プログラム」(以上3本は平成16年度～)、「美術館物語」(平成17年度～)をスタートさせ、従来の常設展の枠にとらわれない斬新で企画性に富んだ展示を心がけている。

このような姿勢を明確に提示するため、平成19年度よりこれまでの「常設展」に替わり「MOMASコレクション」という名称を用いることとした(ただし展示室の名称は従来通り「常設展示室」としている)。

平成25年度は、工事による休館期間があり、9月1日までの5か月間のみ開館となった。また第1期は企画展示室を含め全館で展開した「たまもの」展と同一の会期としたため、やや変則的な会期設定となった。新たに県指定有形文化財となった小茂田青樹《鳴鶏》を軸にした「動物のすがた・かたち」や「グリーン・レボリューション」などのテーマ展示から、高田誠の生誕100年を記念した「点描の詩情—高田誠の世界」、学芸員の研究成果を踏まえた「ドラクロワをめぐる」まで、今年もヴァラエティに富んだ展示をお楽しみいただいた。

なお7月19日には、ベビー・カーを引いて来館するお父さんお母さんを応援しようと、常設展示室でガイド付きの「ファミリー鑑賞会」を開催した。

■MOMASコレクション[I]

■会期：2013年4月4日(木)～5月19日(日)

■主催：埼玉県立近代美術館

■協力：JR東日本大宮支社

■入場者数：5,978人

■広報印刷物：ポスター B1・B2/デザイン：マキコージ

■担当学芸員：渋谷 拓、中村 誠、吉岡知子



B1・B2ポスター

■常設展示室

《25. フレンチ・コネクション—日本とフランス》

エコール・ド・パリの画家やフランスに渡った日本人画家の滞欧期の作品に、フランス近代を代表する彫刻家の作品を交えて構成した。各コーナーの番号は、企画展「たまもの」のテーマ番号。

作者名	作品名	制作年
オーギュスト・ロダ	ウスタッシュ・ド・サン＝	1884-86
ン	ピエールの頭像	頃
エミール＝アント	チリーの女	1921
ワヌ＝プールデル		
アンリ・ド・トゥー	『ラ・ルビュ・ブランシュ』	1895
ルーズ＝ロートレ	誌 ポスター	
ック		
シャルル・デスピオ	ピアンキーニ嬢	1929
アンドレ・ドラ	浴女	1925
斎藤豊作	フランス風景 I	1910頃
森田恒友	ヴェトイユの春Ⅲ	1915
モーリス・ユトリロ	旗で飾られたモンマルトルのサクレ＝クール寺院	1919
レオナルド・フジタ	横たわる裸婦と猫	1931
田中保	海の中の裸婦	1915-20
佐伯祐三	門と広告	1925
野口弥太郎	カーニュの古城	1962
山路真護	パリの環状高架線	1933
渡邊武夫	レ・ザンドリィのながめ	1989

《26. グリーン・レボリューション》

日本画、油彩画からドローイングまで、ジャンルを問わずグリーンの表現が印象的な作品をコレクションから選び紹介した。

作者名	作品名	制作年
カミーユ・ピサロ	エラニーの牛を追う娘	1884
モーリス・ドニ	トレストリニエルの岩場	1920
川合玉堂	山村春色	1913頃
パブロ・ピカソ	静物	1944
森田恒友	湖畔	1907
森田恒友	山野万緑	1926-27頃
斎藤与里	朝	1915
小村雪岱	青柳	1924頃
小茂田青樹	麦踏	1919
速水御舟	夏の丹波路	1915
古賀春江	コンポジション	1930頃
佐藤太清	竹窗細雨	1951
木村忠太	ル・クロ＝サン＝ピエールの庭	1984
野見山暁治	冷たい夏	1991
田淵安一	連れ添う樹（未完の季節 no. 37）	1981
小島喜八郎	草〈昼・晴〉同一の草の一日	1987
小島喜八郎	草〈昼・曇〉同一の草の一日	1988

《27. 動物のすがた・かたち》

新たに埼玉県指定有形文化財となった小茂田青樹「鳴鶏」のほか、猫、狼、龍など、動物を描いた作品を紹介した。

作者名	作品名	制作年
橋本雅邦	乳狼吼月	1899頃
奥原晴湖	仙境群鶴	1905
小林清親	猫と提灯	1876
今村紫紅	龍虎	1913
倉田白羊	六月	1919
倉田白羊	羊（「たき火」習作）	1935
倉田白羊	「冬野」の下図IV	1937頃
小茂田青樹	樹上猿	1929
小茂田青樹	春の夜	1930
小茂田青樹	鳴鶏	1930
ジャン・リュルサ	勇める野牛	1934-44頃
大島駒藏	牡牛	1949
木村直道	コアラ	制作年不詳
木村直道	ライオン	1965-67
木村直道	サーカスの力持ち	1965-68
木村直道	シャベルの象	1965-68
鈴木治	二頭立	1978
林秀行	夢見る野鼠	1989

《28. 夢のメキシコ》

メキシコを代表するタマヨやトレドラの版画に、日本とメキシコの架け橋となった北川民次らの作品を加えて構成した。

作者名	作品名	制作年
北川民次	タスコの裸婦	1941
北川民次	メキシコの浴み	1941頃
ダビド・アルファ	横たわる裸婦	1930
ロ・シケイロス		
ルフィーノ・タマヨ	鳥と子供	1976
ルフィーノ・タマヨ	ブルーの女	1976
ルフィーノ・タマヨ	黒い背景の人物	1976
ルフィーノ・タマヨ	ニーナ	1981
高橋力雄	メキシコの思い出	1997
利根山光人	VIVA MEXICO	制作年不詳
吉田穂高	古代人	1956
フランシスコ・トレド	馬の主人	1974
フランシスコ・トレド	コヨーテとこおろぎのたわむれ	1985

■広報記録

<雑誌、ミニコミ誌等>

・渋谷拓「埼玉県立近代美術館通信60 渡邊武夫《レ・ザンドリィのながめ》」『サラダハウス』2013年5月号



「グリーン・レボリューション」の展示風景



「動物のすがた・かたち」の展示風景

■MOMASコレクション[II]

- 会期：2013年5月25日(土)～9月1日(日)
- 主催：埼玉県立近代美術館
- 協力：JR東日本大宮支社
- 入場者数：15,204人
- 広報印刷物：ポスター B1・B2/デザイン：マキコージ
- 担当学芸員：大浦周、中村 誠、梅津 元、渋谷拓



B1・B2ポスター

■常設展示室

《まち・ひと・ひかり》

印象派からエコール・ド・パリの西洋絵画に、日本近代の代表的な作品をまじえて、コレクションのエッセンスを紹介した。

作者名	作品名	制作年
カミーユ・ピサロ	エラニーの牛を追う娘	1884
クロード・モネ	ジヴェルニーの積みわら、夕日	1888-89
モーリス・ドニ	シャグマユリの聖母子	1925
斎藤豊作	フランス風景Ⅱ	1910頃
森田恒友	少女(2)	1914
森田恒友	城址	1916
モーリス・ユトリロ	旗で飾られたモンマルトルのサクレ=クール寺院	1919
跡見泰	ベトイユの寺	1923
田中保	毛皮のコートを着て腰かけている女	1925-30
マルク・シャガール	二つの花束	1925
キスリング	リタ・ヴァン・リアの肖像	1927
岸田劉生	路傍初夏	1920
林倭衛	積藁	1935
佐伯祐三	門と広告	1925

《生誕100年記念 点描の詩情—高田誠の世界》

芸術院会員であった画家・高田誠(1913-1992)の生誕100年を記念して、詩情あふれる点描表現で独自の世界を展開した画業を、当館所蔵の代表作で回顧した。

作者名	作品名	制作年
高田誠	浦和風景	1929
高田誠	海に見える風景	1931
高田誠	松原湖辺	1935
高田誠	静物	1936
高田誠	野尻湖と妙高	1940
高田誠	秋の静物	1940
高田誠	村の入り口	1955
高田誠	雪の武甲山	1959
高田誠	妙高山麓の町	1962
高田誠	山湖	1966
高田誠	花咲く海辺	1967
高田誠	花	1970-89
高田誠	春光	1971
高田誠	武甲山(秩父巴川)	1974
高田誠	残雪の武甲山	1975-80
高田誠	つゆの晴れ間	1980頃
高田誠	両神山のみえる部落	制作年不詳
細野稔人	高田誠先生像	2006
	※特別出品 (高田きよ子氏蔵)	

■担当後記

◆ 高田誠(1913-1992)の生誕100年を記念し当館の所蔵の代表作を一堂に展示した。デビュー作《浦和風景》、《海に見える風景》から、点描初期の代表作《野尻湖と妙高》、《秋の静物》、さらに円熟期の《妙高山麓の町》、《花咲く海辺》まで、詩情あふれる点描で一世を風靡した画業の展開を示す代表作が並んだ。あわせてご遺族から借用したブロンズ像、細野稔人《高田誠先生像》や肖像写真パネルを展示した。また、各作品について画家自身のことばを付し、画家の人となりや制作の様子がうかがえるエピソードを記したキャプションを配置した。

生誕100年にあわせて高田きよ子『あなたに会えて本当によかった 夫・高田誠の思い出』(求龍堂)が刊行された。記念展示ともちょうど同じ時期となり、ご寄贈いただいた本を会場に置いたところ椅子に掛けて懐かしそうにお読みになる方々の姿をしばしばお見受けした。うらわ美術館でも春、秋の2期に分けて記念の特集展示が開催された。

ご遺族のお手元にある大量のスケッチ類について、ご寄贈のたいへんありがたいお話があり、うらわ美術館とも協議の上、モチーフや制作地別に分類して、両館で分けてお受けすることとなった。当館には、信州や房総に取材したものを中心に106点が収蔵された。制作旅行の軌跡を示すとともに、画家の作画法や造形思考を知る貴重な手がかりである。今後の展示でも活用していきたい。

スケッチ裏面の制作地や年月日の記述から、制作年不詳とされてきた油彩画《両神山のみえる部落》が昭和39年頃と推定された。(中村 誠)

《ユーモアとリアリズム》

そこはかたないユーモアを漂わせる作品からどつきりするようなスーパーリアリズムの作品まで、コレクションから再発見した現代美術の魅力を紹介した。

作者名	作品名	制作年
木村直道	ハイド氏の帰宅	1965-68
木村直道	ズイズズッコロパン	1965-67
木村直道	ひげの男	1965-68
因藤壽	こんばんは	1951
金昌烈	水滴 J. T. 83002	1983
上田薫	ジェリーにスプーン C	1990
重村三雄	立ち話	1993
小島喜八郎	風景741	1974
野田哲也	日記；1980年7月11日、成田へ	1980
野田哲也	日記；1982年1月3日、出水へ	1982
秋岡美帆	ゆるるかげ	1991
岡田武	CHATTER BOX SCENE- I	1993
岡田武	CHATTER BOX SCENE- II	1992-93
古川勝紀	微風の中へ—国道254— II	1998

《リサーチ・プログラム—ドラクロワをめぐる》

作者名	作品名	制作年
ウジェーヌ・ドラクロワ	聖ステパノの遺骸を抱え起こす弟子たち	1860 ※登録美術品(丸沼芸術の森蔵)

関連資料

『ユニヴェール・イリュ ストレ』1864年9月10日 号	1864
アメデ・カンタル 『ウジェーヌ・ドラクロ ワ 人間と芸術家』(回 顧展作品リスト付属)	1864
アンリ・ドゥ・ラ・ マドレーヌ 『ウジェーヌ・ドラクロ ワ—イタリア大通りの 展覧会にて』	1864
シャン 『シャンのコミック・ア ルバム サロンのレビ ュー』	1853

■担当後記

◆本コーナーでは、『埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要』第7号(2013年)で発表した研究論文の成果にもとづき、登録美術品として寄託されているドラクロワの作品について、同主題の作品と比較しながら主に構図・様式の変化について紹介した。「聖ステパノ」という宗教主題をあつかったアンニバレ・カラッチやルーベンスの作品図版、ドラクロワ自身による同主題の作品図版、そして19世紀

当時のカリカチュア(戯画)などを展示し、ドラクロワの仕事を改めて具体的に歴史の中に位置づけることにより、埼玉作品の制作経緯や画家の意図について理解を深める機会とすることができた。

寄託作品を含む当館の19世紀フランス絵画のコレクションは印象主義以降の作品がほとんどである。「色彩派」の画家として印象主義の画家たちの尊敬を集めた存在でありながら、当館寄託の作品は宗教主題を扱っていることもあり、他の作品との関係におけるドラクロワの位置づけが難しいところがあり、展示を構成する学芸員の側としても、またこれを解説するサポーターの側でも、この点がこれまであいまいになりがちであったと思う。展示は論文に盛り込んだ内容を大幅に刈り込んだものとなったが、美術館サポーターにより詳しい作品解説のための材料を提供することができたのではないかと思う。

研究を進めるにつれ、ドラクロワという画家は一筋縄では理解できない、複雑な芸術家である、という以前からの印象を再確認している。同時に常に関心をそそる魅力的な画家でもあり、国内では限られた数しかない油彩作品に、小品ながら実際に接しつつ研究できることに大きな喜びを感じる。ドラクロワの作品を展示できることは、その美術館の威信を高める大変名誉なことであると思う。貴重な作品をご寄託いただいている丸沼芸術の森に、この場を借りて改めて深く感謝申し上げます。

(渋谷 拓)

■1階ギャラリー

作者名	作品名	制作年
元永定正	いつついろ	1973
元永定正	ふゆうするふたつ	1981
元永定正	さんくるりさんかくすい	1983
元永定正	みつつのいろはしろいせん	1984
ジョージ・シーガル	赤いシャツを着た三つの人体	1975
鬘嘸	Mr. & Mrs. Rainbow noppo V-R	1973
鬘嘸	Mr. & Mrs. Rainbow debu V-R	1973
鬘嘸	透明な波—スリランカー—	1981
鬘嘸	角力	1984
篠原有司男	Motor Cycle Mama	1976
篠原有司男	Black is Beautiful	1976
篠原有司男	Coffee Break	1976
篠原有司男	Lipstick	1977
篠原有司男	Mirror	1977
篠原有司男	Strawberry Soft Cream	1977
篠原有司男	Spider Woman	1977
篠原有司男	Gemini	1977
篠原有司男	Summer Breeze	1978

■広報記録

<新聞>

- ・立山優二「高田誠やモネ展示 県展期間は観覧半額」『埼玉新聞』2013年6月9日
- ・石井玲子「さいたまの高田誠さん 妻きよ子さんが回想録」『埼玉新聞』2013年8月22日

<雑誌、ミニコミ誌等>

- ・中村誠「埼玉県立近代美術館通信61 高田誠《妙高山麓の町》」『サラダハウス』2013年6月号
- ・中村誠「サクラソウの壁画、覚えてますか？ 生誕100年記念 点描の詩情—高田誠の世界」『ソカロ』2013年6-7月号
- ・渋谷拓「毀誉褒貶の画家ドラクロワとカリカチュア—リサーチ・プログラム「ドラクロワをめぐる」」『ソカロ』2013年8-9月号
- ・告知：『ぼど』2013年5月17日／『彩の国だより』2013年6月号／『新美術新聞』2013年8月21日号



「点描の詩情—高田誠の世界」の展示風景



「ドラクロワをめぐる」の展示風景

■サンデー・トーク

毎月1回、日曜日の15時から常設展示室で開催しているプログラム。学芸員が開催中の「MOMASコレクション」から1点を選び、作者と作品についてのエピソードを交えながら30分程度のトークを行うもの。平成25年度は、以下のように計6回実施した。参加者：計133名。

- 4月14日 速水御舟《夏の丹波路》
担当学芸員：中村誠／参加者：26名
- 5月19日 リュルサ《勇める野牛》
担当学芸員：吉岡知子／参加者：19名
- 6月9日 ドラクロワ《聖ステパノの遺骸を抱え起こす弟子たち》担当学芸員：渋谷拓／参加者：23名
- 7月21日 高田誠《野尻湖と妙高》
担当学芸員：中村誠／参加者：17名
- 8月18日 秋岡美帆《ゆるるかげ》
担当学芸員：梅津元／参加者：21名
- 9月1日 ドニ《シャグマユリの聖母子》
担当学芸員：大浦周／参加者：27名

休館中の展示活動

■移動展「美の万華鏡—埼玉県立近代美術館のコレクションから」

- 会期：2013年10月8日(火)～10月28日(月)
- 主催：埼玉県立近代美術館、公益財団法人和光市文化振興公社
- 後援：和光市、和光市教育委員会
- 会場：和光市民文化センター サンアゼリア 企画展示室・展示ホール
- 観覧料：無料
- 入場者数：5,555人
- 広報印刷物：ポスター B2、チラシA4
- 担当学芸員：渋谷 拓、中村 誠



B2ポスター

■企画展示室

《ピサロ、ロダンと西洋近代美術の巨匠たち》

作者名	作品名	制作年
カミーユ・ピサロ	エラニーの牛を追う娘	1884年
オーギュスト・ルノワール	三人の浴女	1917～1919年
モーリス・ドニ	シャグマユリの聖母子	1925年
モーリス・ユトリロ	旗で飾られたモンマルトルのサクレ=クール寺院	1919年
アンドレ・ドラク	浴女	1925年
キスリング	静物	1944年
オーギュスト・ロダン	ウスタッシュ・ド・サン=ピエールの頭像	
アリストイド・マイヨール	イル・ド・フランス	1925年
シャルル・デスピオ	ピアンキーニ嬢	1929年

《日本と埼玉の美術家たち》

高田誠	秋の静物	1940年
渡辺武夫	堀割のある風景	1972年
寺井力三郎	寝る子	1967年
奥瀬英三	母と子	1922年
斎藤豊作	フランス風景Ⅱ	1910年頃
倉田白羊	山ふところ	1933年
森田恒友	会津風景	1916年
岸田劉生	路傍初夏	1925年
熊谷守一	裸	1943年
古賀春江	コンポジション	1930年頃
田中保	海の中の裸婦	制作年不詳
斎藤与里	朝	1915年
立石大河亞	Cubic World	1973年
立石大河亞	I feel, therefore I exist	1973～74年
立石大河亞	Time Elevator	1979年
立石大河亞	Last Dance	1986年
山本容子	The Poor Little Lizard, Bill	2008年
山本容子	Tea Party Song	2008年
木村直道	シンバルを叩く男 バックミラー楽団	1965～68年
木村直道	アコーディオンを弾く男	制作年不詳
小島喜八郎	風景741	1974年
小島喜八郎	草〈朝〉 同一の草の一日	1988年
小島喜八郎	草〈夕〉 同一の草の一日	1988年
上田薫	ジェリーにスプーンC	1990年
ジャン・アルプ	バラを食べるもの	1963年
堀越陽子	鈿	1985年
渡辺豊重	音がする 声がある そこに愛がある	1994年
重村三雄	1975年の私	1975年
重村三雄	永遠のお歳暮	1983年
重村三雄	立ち話	1993年

■展示ホール

《デザイン・チェア》

ヘリット・トーマ	レッド&ブルー	1918年
ス・リートフェルト		
ヴェルナー・パント	パントン・チェア	1959-60年
エーロ・サーリネン	チューリップ・チェア、サイド・チェア、スツール、テーブル	1956年
ワーレン・プラット	アームチェア1725	1966年
ワーレン・プラット	スツール1719	1966年
graf	Plankton Chair XL	2004年

■担当後記

◆本移動展は、開館20周年を迎える和光市民文化センター サンアゼリアの記念事業「サンアゼリア国際芸術祭」の一環を担うイベントとして、また当館側にとっては大規模改修工事による休館中のコレクション公開の機会と

して、和光市、財団法人和光市文化振興公社と協力して開催された。記念事業としてできるだけよい作品を見せたい、という和光市側の熱意を受け、展示環境や会期などさまざまな条件を勘案して油彩・彫刻を中心とする展示案を協議を重ねて作成、公開にこぎつけることができた。オープン初日には、和光市長によるあいさつ、テープカットなども行われた。入場無料という好条件もあったが、当初予想の2倍以上の入場者数を数え、和光市および近隣自治体の多くの方々に、近代美術館が誇る質の高い美術作品のコレクションを見てもらうことができた。

◆展示の構成は、印象派の巨匠カミーユ・ピサロの作品を筆頭に、近代洋画を代表する画家である岸田劉生、熊谷守一などの作品、斎藤豊作から渡邊武夫、寺井力三郎らに至る県ゆかりの画家の作品、ユーモラスな木村直道の彫刻作品、キャッチーで人気の高い山本容子の版画や上田薫のスーパーリアリズムの絵画などを加えたものとし、バラエティ豊かなコレクションをわかりやすくアピールする内容とした。また当館は、「いすの美術館」として知られているので、ホールには座ることができるデザイン・チェアを展示してすわり心地を体験できるようにした。週末に開催した学芸員によるギャラリー・トークや子供向けのワークショップも、それぞれ大変好評だった。

◆かつて移動展は、開催を希望する県内自治体と費用分担のうえ定期的に行っていたが、近年は美術作品の保護や費用などの問題から開催しておらず、近代美術館にとっては、久方ぶりの移動展となった。県西部では所沢市などでの開催実績があるものの、和光市での開催は今回がはじめてであり、和光市側にとっても、また当館にとっても大変意義深い事業になったと思う。

◆開催準備にあたっては、重要な美術作品を展示するにふさわしい24時間の警備・危機管理体制や温湿度の管理などを求めたが、和光市側には最大限の努力で応えていただき、無事業を終了することができた。事業にご協力いただいた関係各位に、この場を借りて深く御礼を申し上げます。

(渋谷 拓)



会場風景

■広報記録

<新聞>

・加藤真太郎「巨匠の名画ずらり」『朝日新聞』2013年10月10日

<雑誌、ミニコミ誌等>

・告知：『彩の国だより』2013年10月号

■移動展「風光彩美—埼玉・四季の輝き／ 埼玉県立近代美術館のコレクションから」

- 会期：2013年11月30日(土)～2014年3月16日(日)
- 主催：埼玉県立近代美術館、埼玉県立歴史と民俗の博物館
- 会場：埼玉県立歴史と民俗の博物館 季節展示室
- 観覧料：無料
- 入場者数：7,229人
- 広報印刷物：ポスター B2、チラシA4
- 担当学芸員：大浦 周、中村 誠



ポスター B2

■季節展示室

《絵画》

作者名	作品名	制作年
加藤秋荘	越生梅林	1974
太田正弘	月出る頃(狭山湖)	1974
松永敏太郎	権現堂の桜	1974
塗師祥一郎	雪の大宮公園	1974
高田誠	雪の武甲山	1959
渡邊武夫	むさしの冬	1962
大野百樹	武蔵嵐山	1974
斎藤三郎	夏の通船堀	1974
奥瀬英三	新緑高麗川	1974
池田憲二	鎌北湖	1974
関根将雄	宵待草(岩槻城址遠望)	1974
川村親光	岩殿山付近	1974
森田恒友	秩父風景	1905
寺内萬治郎	尾間木風景	1947
寺井力三郎	月と古墳	1974
斎藤政一	霧の原生林(奥秩父連峰)	1974

《工芸》

増田三男	金彩壺販	1998
原清	鉄釉青実文大壺	1992
内藤四郎	波文銀四方盛器	1983

■担当後記

- ◆本移動展は、改修工事による休館期間中のコレクシ

ン公開のため、埼玉県立歴史と民俗の博物館との共催事業として実施された。ミュージアム施設にとっては冬の閑散期にあたる時期の事業となったが、通常は絵画作品を展示する機会の少ない季節展示室での開催は来館者に新鮮な印象を与えたようで、多くの方に近代美術館のコレクションをアピールすることができた。

◆絵画作品の展示を想定していない空間だけに、展示の環境面では様々な困難が生じた。美しい竹林に面して大きな開口部のある季節展示室は、館全体のなかでも最も気持ちの良いスペースだが、時間帯によって自然光がふんだんに差しこむ環境は、絵画鑑賞に際しては妨げとなった。来場者からは、展示ケースのガラスが反射して作品が見にくいなどのご意見も寄せられた。作品保護や展示の安全性を優先的に考慮しなければならないため、抜本的な対応策を講じることはできず、美術館外での展示の難しさを改めて感じさせられた。

◆展示は、埼玉ゆかりの画家による県内の景勝地を主題とした風景画16点と、重要無形文化財保持者(人間国宝)による工芸作品3点で構成した。県民になじみのある風景をテーマにした作品は親しみやすく好評で、美術館への来館者とは異なる関心領域をもつ方々にも、当館収蔵品の中核をなしている郷土作家の作品に関心をもっていただくことができた。

◆出品作の主題となっている埼玉古墳群や岩槻城址、見沼通船堀などの史跡や武蔵嵐山をはじめとする景勝地については、歴史と民俗の博物館の常設展示でその歴史や特色が詳細に解説されている。常設展と移動展の双方の展示を見ることで多角的な理解が促されるという点で、県立博物館施設間の相互連携の可能性が感じられ、大変意義深い事業だった。(大浦 周)

■広報記録

<雑誌、ミニコミ誌等>

・告知：『アコレおおみや』2013年10-11月号／『彩の国だより』2013年11月号／『J:COMクーポン』2013年12月号／『J:COMチャンネル 番組ガイド』2013年12月号／『彩の国だより』2014年1月号／『アコレおおみや』2014年1-2月号／『彩の国だより』2014年2月号／『彩の国だより』2014年3月号



会場風景

■移動展「埼玉県立近代美術館のポスター・デザイン」

■会期：2013年9月25日(水)～10月20日(日)

■主催：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団、埼玉県立近代美術館

■会場：彩の国さいたま芸術劇場 1階ガレリア

■観覧料：無料

■担当学芸員：吉岡知子

■出品リスト

《ポスター》

デザイン	展覧会名	制作年	サイズ
田中一光	開館予告	1982	B1
福田繁雄	木のかたちとエスプリ	1983	B2
亀倉雄策	現代のリアリズム	1983	B1
永井一正	埼玉の現代美術 版画の今日	1984	B2
宇野泰行	近代日本画の青春譜 小茂田青樹とその周辺	1984	B2
葛西薫	現代のセルフ・ポートレート	1985	B2 (2種類)
葛西薫	現代の「白と黒」	1986	B1
原画：林静一／レイアウト：	花の表現	1988	B2
辻修平	動きの表現	1988	B1
葛西薫	地・間・余白 今日の表現から	1989	B2
遠藤享	日本画・雨と余情	1990	B2
井上嗣也	大きな井上有一展	1991	B2 (2種類)
矢萩喜徳郎	風刺の毒	1992	B1
サイトウ マコト	宇宙樹を探せ アジア現代美術への旅	1992	B2
水谷孝次	開館10周年記念展 アダムとイヴ	1992年	B1
水谷孝次	1970年・南仏ーパリ シュポール／シュルファス展	1993	B2
芦澤泰偉	ニッポンの風刺	1993	B2
葛西薫	視線はいつも暮らしの角度で 現代陶芸うつわ考	1993	B2
勝井三雄・掛井浩三	矩形の森 思考するグリッド	1994	B2
水谷孝次	やわらかく 重く 現代日本美術の場と空間	1995	B2
秋山伸	1970年ー物質と知覚の派と根源を問う作家たち	1995	B2 (2種類)
渡邊良重	夏休みの美術館 コレクション料理の13コース	1996	B2
水谷孝次	ユルゲン・クラウケ展 幻影の戯れ	1997	B2 (2種類)
矢萩喜徳郎	ジェームズ・タレル展 夢のなかの光はどこからくるのか？	1997	B1

デザイン	展覧会名	制作年	サイズ
秋山伸	プラスチックの時代 美術とデザイン	2000	B2
水谷孝次	美術館物語	2002	B2
森大志郎	45歳以下の建築家45人展	2004	B1
大溝裕	柳宗悦の民藝と巨匠たち展	2005	B2
大溝裕	青春のロシア・アヴァンギャルド	2009	B2
山下雅士	丸沼芸術の森所蔵 アン・ドリュエー・ワイエス展	2010	B2
佐村憲一	植田正治写真展 写真とボク	2010	B2
松尾由佳	アール・ブリュット・ジャポネ展	2011	B2
遠藤一成	浮遊するデザイン 史朗とともに	倉俣 2013	B2

《デザイン椅子》

デザイン	作品名	制作年
アルネ・ヤコブセン	アント(蟻) / モデル 3101	デザイン / 製品化：1952(2脚)
ロン・アラッド	トム・ヴァック	デザイン：1997 / 製品化：1998(2脚)

■担当後記

◆当館は1982年の開館以来、企画展のポスター・デザインにこだわり、優れたデザイナーと共同でポスターを制作してきた。開館予告ポスターを依頼した田中一光氏をはじめ、80年代には亀倉雄策氏、福田繁雄氏など戦後の日本を代表するデザイナーがポスターを手がけている。本展覧会は改修工事による休館中の活動として、公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団と共催で開催され、過去30年間の企画展ポスターの中から代表作37点を展示した。彩の国さいたま芸術劇場では、2000年と01年にも当館のポスターをまとめて展示しているが、今回はその後制作された近年のポスターも出品作に加えた。また、あわせて当館のデザイン椅子も出品したところ、大変好評であった。

◆芸術劇場1階のガレリアでは、公演に関連する写真やポスターを頻繁に展示しているため、今回は展示方法について芸術劇場の担当の方からアドバイスをいただきながらプランを作成した。ポスター展示用のきれいなアクリル板をお借りできたのは有難かつたし、キャプションはアクリル板に合うように透明なシートで制作した。「ガレリア」はやわらかな自然光が天井から注ぐ回廊のような場所で、とても展示映えする空間であった。

◆会場では、各ポスターの図版と解説を載せたA4のリーフレットを配布した。小規模な展覧会であったが、1980年代以降のグラフィック・デザインの一端を当館の歴史とともに紹介することができ、会期中に複数のメディア

に取り上げていただいた。なお、展示したポスターの中には、デザイン史上貴重な資料となっているものもあり、今後当館でポスターをどのように保存するべきかを検討する機会ともなった。（吉岡知子）

■ 広報記録

<新聞>

- ・『埼玉新聞』2013年10月2日
- ・『朝日新聞』2013年10月9日

<雑誌、ミニコミ誌等>

- ・告知：『彩の国だより』2013年9月号／『ホットペッパー』2013年10月号



会場風景

■収集事業

平成13年度以降、厳しい財政状況により年次の作品購入ができない状況が続いているが、平成25年度も下表のように13件225点の寄贈と1件2点の保管転換により、収蔵作品のいっそうの充実を図ることができた。また2件5点の作品をご寄託いただいた。寄贈者および関係者のみなさまに、心から感謝申し上げます。

油彩画等では、小島喜八郎の代表作となる超大作や名画の空間を独特の機知で換骨奪胎した福田美蘭の大作、ドローイングでは、高田誠の106点にも及ぶ貴重なスケッチ類、版画では、タイガー立石とエットレ・ソットサスの作品群に辰野登恵子や堂本尚郎の大作、さらに菅木志雄の彫刻やドローイング、小村雪岱の作品・資料類など、今期は大変多くの収穫があった。新寄託された荒川修作の作品群も粒ぞろいの代表作である。平成26年度以降、MOMASコレクション等で順次ご紹介し活用していきたい。

平成25年夏に所蔵作品の全品点検作業を行い、所在不明となっていた平塚運一の2点の版画作品の紛失を確認し、ご遺族に報告・謝罪した後、12月26日に記者発表を行った。これを踏まえて、職員研修を行い、作品の保存管理要領を見直し全品所在確認を毎年実施するなど、管理の徹底を図ることとなった。記してお詫び申し上げます。なお下表の所蔵作品総数では、紛失した版画2点を除いて総数をカウントしている。(敬称略)

■平成25年度収集作品数と収蔵作品総数

平成26年3月31日現在

区分	平成25年度収集点数			収蔵作品 総数
	購入	寄贈	保管転換	
日本画	0	8	0	441
油彩画ほか	0	4	0	597
ドローイング	0	117	2	596
版画	0	30	0	1,038
写真	0	29	0	202
平面その他	0	0	0	13
彫刻	0	2	0	186
立体その他	0	0	0	10
工芸	0	0	0	49
書	0	0	0	31
資料Ⅰ	0	22	0	130
資料Ⅱ	0	13	0	31
合計	0	225	2	3,324

■広報記録

- ・「県立近代美術館で所蔵品紛失」『NHKニュース』2013年12月26日
- ・「県立近代美術館 版画2作品紛失を27年間隠す」『テレビ玉ニュース』2013年12月26日
- ・池田拓哉「県立近代美術館 版画2作品を紛失 職員ら26年間放置」『朝日新聞』2013年12月27日
- ・竹内章「県立近代美術館 版画2点を紛失 誤って廃棄か」『東京新聞』2013年12月27日
- ・狩野智彦「近代美術館 紛失を26年間放置 木版画2点誤って廃棄の可能性」『毎日新聞』2013年12月27日
- ・砂生敏一「木版画2点どこへ? 県立近代美術館「再発防止を徹底」」『埼玉新聞』2013年12月27日
- ・「県立近代美術館 木版作品2点紛失 25年以上前誤廃棄か」『読売新聞』2013年12月27日
- ・「県立近代美術館 木版画2点紛失 廃棄か」『産経新聞』2013年12月27日
- ・「月刊美術史 2013.12.26 埼玉県立近代美術館が収蔵品の紛失を発表。」『美術手帖』2014年3月号

■新収蔵作品一覧

1

尾竹竹坡 1878(明治11)－1936(昭和11)

Chikuha OTAKE

蓬莱山之図

Mt. Penglai

制作年不詳(大正後期以降) 彩色、絹、軸

Date unknown Color on silk, hanging scroll

121.7×42.0 cm

右下に署名「竹坡」、朱文方印「竹坡」

平成25年度大熊隆一郎氏、田中準子氏、村田聡子氏、大熊隆史氏寄贈

J-434



2

小村雪岱 1887(明治20)－1940(昭和15)

Settai KOMURA

舞台装置原画「江戸から東京へ」

Plan of Stage Setting for "From Edo to Tokyo"

昭和6年 彩色、紙

1931 Color on paper

7.7×34.1 cm

平成25年度小村欣也氏寄贈

J-435



3

小村雪岱 1887(明治20)－1940(昭和15)

Settai KOMURA

舞台装置原画

Plan of Stage Setting

制作年不詳 彩色、紙

Date unknown Color on paper

9.0×36.1 cm

平成25年度小村欣也氏寄贈

J-436



4

鈴木華邨 1860(安政7)－1919(大正8)

Kason SUZUKI

秋景山水

Autumn Landscape

制作年不詳 彩色、絹、軸

Date unknown Color on silk, hanging scroll

131.0×41.7 cm

左下に署名「華邨」、朱文方印「華邨」

平成25年度大熊隆一郎氏、田中準子氏、村田聡子氏、大熊隆史氏寄贈

J-437



5

田中頼璋 1866(慶応2)－1940(昭和15)

Raisho TANAKA

山水

Landscape

大正10年頃 彩色、絹、軸

c.1921 Color on silk, hanging scroll

126.1×42.5 cm

右下に署名「頼璋」、朱文方印「頼璋」

平成25年度大熊隆一郎氏、田中準子氏、村田聡子氏、大熊隆史氏寄贈

J-438



6

福井江亭 1865(慶応1)－1937(昭和12)

Kotei FUKUI

山水

Landscape

制作年不詳(大正6年以前) 墨、絹、軸

Date unknown (before 1917) Sumi on silk, hanging scroll

110.5×41.3 cm 軸長59.5 cm

右下に署名「江亭」、朱文方印「江亭」

平成25年度大熊隆一郎氏、田中準子氏、村田聡子氏、大熊隆史氏寄贈

J-439



7

三尾彰藍(雄治) 1922(大正11)－2011(平成23)

Shoran (Yuji) MIO

森

Forest

昭和29年 彩色、紙

1954 Color on paper

227.3×162.0 cm 左下に署名「雄治」、朱文方印「雄治」

平成25年度三尾満里子氏寄贈

J-440



8

横山大観 1868(明治1)－1958(昭和33)

Taikan YOKOYAMA

霊峰不二

Mt. Fuji

昭和22年頃 墨、金泥、絹、軸

c.1947 Sumi, gold paint on silk, hanging scroll

26.3×22.9 cm 軸長42.8 cm

右下に署名「大観」、白文円印「鉦鼓洞」

平成25年度大熊隆一郎氏、田中準子氏、村田聡子氏、大熊隆史氏寄贈

J-441



9

小島喜八郎 1935(昭和10)－2008(平成20)

Kihachiro KOJIMA

草 夏

Grasses; Summer

平成7年 油彩、カンヴァス

1995 Oil on canvas

181.8×454.6 cm 裏面に「小島喜八郎 草 夏」

平成25年度小島としゑ氏寄贈

O-594



10

小島喜八郎 1935(昭和10)－2008(平成20)

Kihachiro KOJIMA

草 冬

Grasses; Winter

平成9年 油彩、カンヴァス

1997 Oil on canvas

181.8×454.6 cm 裏面に「小島喜八郎 草 冬」

平成25年度小島としゑ氏寄贈

O-595



11

福田美蘭 1963(昭和38)ー

Miran FUKUDA

湖畔

Lakeside

平成5年 アクリル絵具、カラーコピー、パネル

1993 Acrylic, color copy on panel

130.3×162.0 cm パネル裏に題名入りのシール

平成25年度寄贈

0-596



12

福田美蘭 1963(昭和38)ー

Miran FUKUDA

黄金の雨に変身したジュピターを迎えるダナエ

Danae Receiving the Shower of Gold

平成6年 アクリル絵具、パネル、踏み台、ティーバッグ

1994 Acrylic on panel, step, tea bags

227.2×181.8 cm

平成25年度寄贈

0-597



13

小村雪岱 1887(明治20)ー1940(昭和15)

Settai KOMURA

稚児大師像

Chigodaishi

制作年不詳 墨、紙

Date unknown Sumi on paper

79.5×54.7 cm

平成25年度小村欣也氏寄贈

D-478



14

菅木志雄 1944(昭和19)ー

Kishio SUGA

依界

Ikai

昭和49ー51年 油性インク、紙

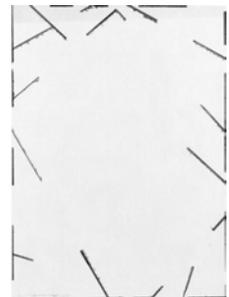
1974-1976 Solvent ink on paper

70.2×50.6 cm

左下に署名、年記、題名「Kishio Suga 1974 依界」、裏面右下に「Kishio Suga 1976」

平成25年度双ギャラリー寄贈

D-479



15

菅木志雄 1944(昭和19)ー

Kishio SUGA

依界面

Ikai-men

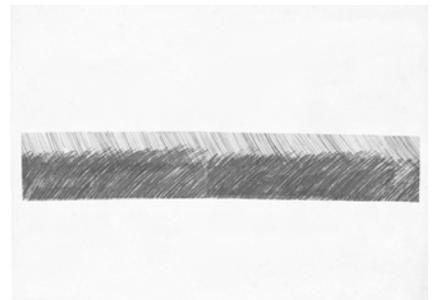
昭和51年 青カーボン、紙

1976 Drawing with carbon copy on paper

52.5×71.5 cm 左下に署名「Kishio Suga」、右下に年記、題名「依界面 1976」

平成25年度双ギャラリー寄贈

D-480



16

菅木志雄 1944(昭和19) -

Kishio SUGA

無題

Untitled

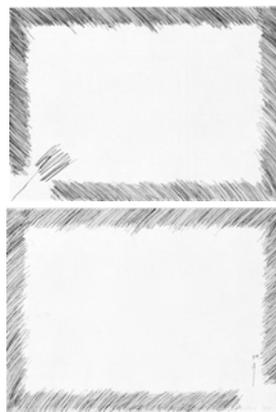
昭和51年 表：黒カーボン、紙／裏：インク、紙

1976 Drawing with carbon copy, ink on paper (recto-verso)

39.8×54.5 cm 裏面右下に署名、年記「Kishio Suga 1976」

平成25年度双ギャラリー寄贈

D-481



〔表〕

〔裏〕

17

高田誠 1913(大正2) - 1992(平成4)

Makoto TAKADA

静物

Still Life

昭和19年 コンテ、紙

1944 Conté on paper

26.6×35.8 cm 右下に年記「19.9.12」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-482



18

高田誠 1913(大正2) - 1992(平成4)

Makoto TAKADA

信濃町

Shinanomachi

昭和28年 コンテ、パステル、紙

1953 Conté, pastel on paper

25.0×35.8 cm 裏面に「於 信濃町 誠 昭和 28.3」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-483



19

高田誠 1913(大正2) - 1992(平成4)

Makoto TAKADA

信濃町

Shinanomachi

制作年不詳 コンテ、パステル、紙

Date unknown Conté, pastel on paper

30.4×37.3 cm

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-484



20

高田誠 1913(大正2) - 1992(平成4)

Makoto TAKADA

信濃町

Shinanomachi

制作年不詳 コンテ、水彩、紙

Date unknown Conté, watercolor on paper

25.0×35.8 cm

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-485



21

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

武蔵野

Musashino

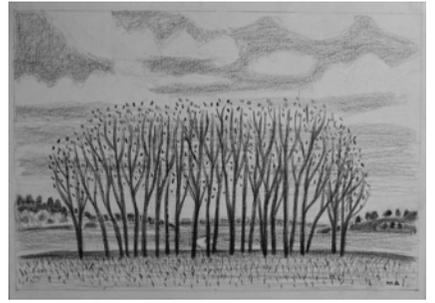
制作年不詳 コンテ、紙

Date unknown Conté on paper

24.3×33.2 cm 右下に署名「ma」、裏面に「武蔵野 高田誠」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-486



22

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

郊外曇日 信濃町

Cloudy Day at Shinanomachi

昭和28年 コンテ、水彩、紙

1953 Conté, watercolor on paper

30.3×37.2 cm

右下に署名「m. Takada」、裏面に「郊外曇日 於 信濃町 高田誠 昭和28.4.7」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-487



23

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

竹平町附近にて

Near Takehiramachi

昭和34年 コンテ、パステル、紙

1959 Conté, pastel on paper

29.7×37.6 cm 裏面に「竹平町附近にて 高田誠 34.3.27」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-488



24

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

野沢浅春 野沢温泉

Early Spring at the Nozawa Hot-Springs

昭和28年 コンテ、水彩、紙

1953 Conté, watercolor on paper

30.2×37.2 cm

右下に署名「m. Takada」、裏面に「野沢浅春 於 野沢温泉 誠 昭 28.4.14」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-489



25

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

野沢温泉ホテルより

View from the Nozawa Hot-Springs Hotel

昭和28年 コンテ、紙

1953 Conté on paper

30.5×37.5 cm 裏面に「於 野沢温泉 温泉ホテル窓より 誠 昭和 28.4.15」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-490



26

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

野沢温泉

The Nozawa Hot-Springs

昭和30年 コンテ、水彩、紙

1955 Conté, watercolor on paper

29.5×37.5 cm 裏面に「於 野沢温泉 誠 S30年4月」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-491



27

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

野沢温泉

The Nozawa Hot-Springs

昭和30年 コンテ、水彩、紙

1955 Conté, watercolor on paper

37.5×29.5 cm 裏面に「於 野沢温泉 誠 昭和 30年4月」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-492



28

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

野沢温泉

The Nozawa Hot-Springs

昭和30年 コンテ、水彩、紙

1955 Conté, watercolor on paper

37.3×30.2 cm

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-493



29

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

妙高山

Mt. Myoko

制作年不詳 コンテ、水彩、紙

Date unknown Conté, watercolor on paper

30.4×40.4 cm

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-494



30

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

妙高温泉 妙高山の麓

The Myoko Hot-Springs at the Foot of Mt. Myoko

昭和36年 コンテ、パステル、色鉛筆、紙

1961 Conté, pastel, colored pencil on paper

28.7×37.7 cm

右下に署名「m. Takada」、裏面に「妙高山の麓 於 妙高温泉 高田誠 36.4.19」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-495



31

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

妙高温泉

The Myoko Hot-Springs

昭和36年 コンテ、パステル、紙

1961 Conté, pastel on paper

28.7×37.6 cm 裏面に「於 妙高温泉 36.4.19」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-496



32

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

妙高温泉第一ホテル窓より

From the Window of the Myoko Hot-Springs Daiichi Hotel at Myoko

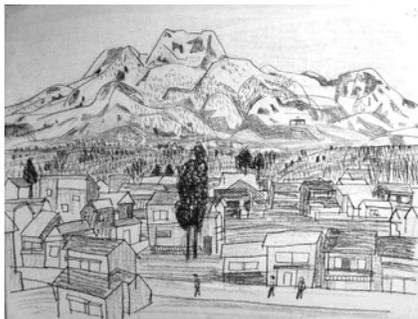
昭和42年 コンテ、パステル、紙

1967 Conté, pastel on paper

31.5×40.8 cm 裏面に「於 妙高温泉第一ホテル窓より 誠 42.4.25」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-497



33

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

妙高山

Mt. Myoko

昭和36年頃 コンテ、紙

c. 1961 Conté on paper

33.5×45.4 cm

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-498



34

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

野尻湖ホテルより

View from the Nojiriko Hotel

昭和49年 コンテ、パステル、紙

1974 Conté, pastel on paper

41.5×32.1 cm

右下に署名「m. Takada」、裏面に「於 野尻湖ホテル 誠 49.4.25」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-499



35

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

松原湖畔つたやの部屋より

View from Tsutaya Inn by Lake Matsubara

昭和41年 コンテ、パステル、紙

1966 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm

右下に署名「m. Takada」、裏面に「松原湖のほとり 松原湖畔つたやの部屋より 高田誠

39.4.16」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-500



36

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

松原湖(つたや旅館より)

Lake Matsubara (From Tsutaya Inn)

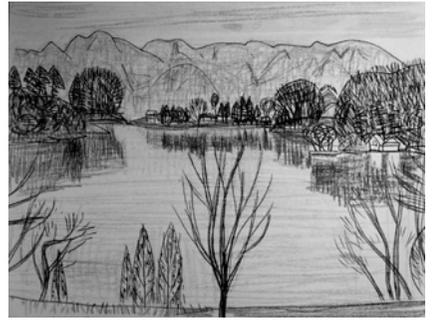
昭和39年 コンテ、パステル、紙

1964 Conté, pastel on paper

32.1×41.0 cm 裏面に「於 松原湖 (つたや旅館より) 39.4.19」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-501



37

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

中綱湖

Lake Nakatsuna

昭和32年 コンテ、パステル、紙

1957 Conté, pastel on paper

30.1×57.8 cm 裏面に「於 中綱湖 誠 昭和 32.11.22」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-502



38

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

山湖(中綱湖)

Mountain Lake; Lake Nakatsuna

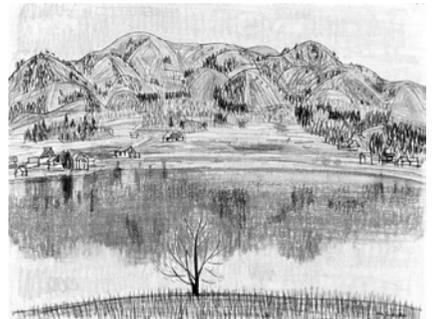
昭和39年 コンテ、パステル、紙

1964 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm 右下に署名「m. Takada」、裏面に「山湖 於 中綱湖 高田誠 39.4.21」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-503



39

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

中綱湖

Lake Nakatsuna

昭和35年 コンテ、パステル、紙

1960 Conté, pastel on paper

31.4×41.0 cm 裏面に「於 中綱湖 高田誠 35.11.10」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-504



40

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

中綱湖畔 築場スキー場

Yanaba Ski Slope by Lake Nakatsuna

昭和35年 コンテ、パステル、紙

1960 Conté, pastel on paper

28.8×37.7 cm 裏面に「於 中綱湖畔 築場スキー場 高田誠 35.11.11」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-505



41

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

中綱湖畔 築場スキー場

Yanaba Ski Slope by Lake Nakatsuna

昭和35年 コンテ、パステル、紙

1960 Conté, pastel on paper

28.8×37.7 cm 裏面に「於 中綱湖畔 築場スキー場 高田誠 35.11.11」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-506



42

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

中綱湖畔

The Shores of Lake Nakatsuna

昭和35年 コンテ、パステル、紙

1960 Conté, pastel on paper

28.8×37.7 cm 裏面に「於 中綱湖畔 高田誠 35.11.11夕」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-507



43

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

中綱湖畔

The Shores of Lake Nakatsuna

昭和35年 コンテ、パステル、紙

1960 Conté, pastel on paper

28.8×37.7 cm 裏面に「於 中綱湖畔 高田誠 昭和 35.11.12」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-508



44

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

中綱湖畔

The Shores of Lake Nakatsuna

昭和35年 コンテ、パステル、紙

1960 Conté, pastel on paper

32.0×40.9 cm

右下に署名「m. Takada」、裏面に「於 中綱湖畔 高田誠 35.11.13」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-509



45

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

中綱湖畔

The Shores of Lake Nakatsuna

昭和35年 コンテ、パステル、紙

1960 Conté, pastel on paper

28.8×37.7 cm 裏面に「於 中綱湖畔 高田誠 35.11.9」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-510



48

46

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

青木湖

Lake Aoki

昭和32年 コンテ、パステル、紙

1957 Conté, pastel on paper

37.7×30.0 cm 裏面に「於 青木湖 誠 32.11.24」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-511



47

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

青木湖

Lake Aoki

昭和32年 コンテ、パステル、紙

1957 Conté, pastel on paper

29.6×37.6 cm 裏面に「於 青木湖 青木湖畔 誠 昭和 32.11.26」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-512



48

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

青木湖畔

The Shore of Lake Aoki

昭和35年 コンテ、パステル、紙

1960 Conté, pastel on paper

28.8×37.7 cm 裏面に「於 青木湖畔 高田誠 35.11.10」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-513



49

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

山湖のほとり(青木湖)

By a Mountain Lake; Lake Aoki

昭和39年 コンテ、パステル、紙

1964 Conté, pastel on paper

31.5×40.8 cm

左下に署名「m. Takada」、裏面に「山湖のほとり(於 青木湖)高田誠 39.4.21」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-514



50

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

青木湖

Lake Aoki

昭和39年 コンテ、パステル、紙

1964 Conté, pastel on paper

32.1×40.9 cm 裏面に「於 青木湖 39.4.22」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-515



51

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

青木湖

Lake Aoki

昭和39年 コンテ、パステル、紙

1964 Conté, pastel on paper

32.1×40.8 cm 裏面に「於 青木湖 39.4.22」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-516



52

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

山湖のほとり(青木湖)

By a Mountain Lake; Lake Aoki

昭和39年 コンテ、パステル、紙

1964 Conté, pastel on paper

32.0×55.4 cm

左下に署名「m. Takada」、裏面に「山湖のほとり(青木湖) 於 青木湖 高田誠 39.4.22」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-517



53

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

青木湖

Lake Aoki

昭和41年 コンテ、パステル、紙

1966 Conté, pastel on paper

32.0×40.9 cm 裏面に「於 青木湖 41.5.17」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-518



54

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

山湖残雪 青木湖

Remaining Snow by a Mountain Lake; Lake Aoki

昭和45年 コンテ、パステル、紙

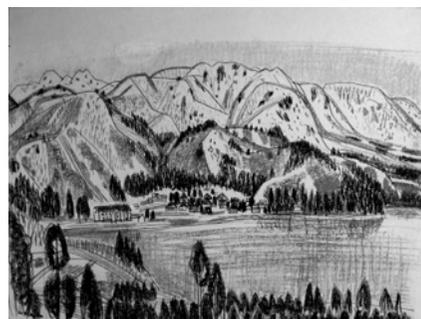
1970 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm

左下に署名「m. Takada」、裏面に「山湖残雪 於 青木湖 45.4.16」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-519



55

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

木崎湖

Lake Kizaki

昭和32年 コンテ、パステル、紙

1957 Conté, pastel on paper

30.1×37.8 cm 裏面に「於 木崎湖 誠 昭 32.11.26」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-520



56

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

湖畔のりんご 木崎湖畔

Apple Tree at the Lakeside of Kizaki

昭和41年 コンテ、パステル、紙

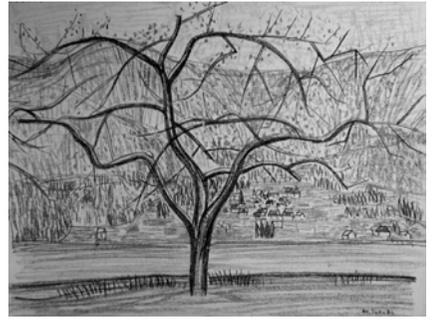
1966 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm

右下に署名「m. Takada」、裏面に「湖畔のりんご 於 木崎湖畔 誠 41. 5. 17」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-521



57

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

木崎湖畔

The Shore of Lake Kizaki

昭和41年 コンテ、パステル、紙

1966 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm 裏面に「於 木崎湖畔 昭和 41. 12. 5」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-522



58

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

山湖

Mountain Lake

制作年不詳 コンテ、パステル、紙

Date unknown Conté, pastel on paper

29.5×37.3 cm

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-523



59

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

信濃四谷 蕨平にて

At Warabidaira in Shinanoyotsuya

昭和41年 コンテ、パステル、紙

1966 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm 裏面に「於 信濃四谷 蕨平 昭 41. 5. 18」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-524



60

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

白馬・東急ホテル

At Hakuba-Tokyu Hotel

昭和45年 コンテ、パステル、紙

1970 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm 裏面に「於 白馬・東急ホテル 45. 4. 15」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-525



61

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

白馬 東急ホテルより

View from Hakuba-Tokyu Hotel

昭和45年 コンテ、パステル、紙

1970 Conté, pastel on paper

32.0×42.8 cm 裏面に「白馬 東急ホテルより 45.4.15」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-526



62

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

アルプス浅春 白馬東急ホテルより

Early Spring in the Japan Alps; View from Hakuba-Tokyu Hotel

昭和49年 コンテ、パステル、紙

1974 Conté, pastel on paper

32.0×41.5 cm 裏面に「アルプス浅春 於 白馬東急ホテル 誠 昭和 49.4.23」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-527



63

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

白馬・東急ホテルにて

At Hakuba-Tokyu Hotel

昭和49年 コンテ、パステル、紙

1974 Conté, pastel on paper

32.0×41.5 cm 裏面に「於 白馬・東急ホテル 誠 昭和49.4.24」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-528



64

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

白馬ハイランドホテルより

View from Hakuba Highland Hotel

昭和54年 コンテ、パステル、紙

1979 Conté, pastel on paper

32.0×42.0 cm 裏面に「白馬ハイランドホテルより 54.7.12」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-529



65

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

白馬ハイランドホテルより

View from Hakuba Highland Hotel

昭和55年 コンテ、紙

1980 Conté on paper

32.0×42.0 cm 裏面に「55.6.30」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-530



66

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

白馬ハイランドホテルより

View from Hakuba Highland Hotel

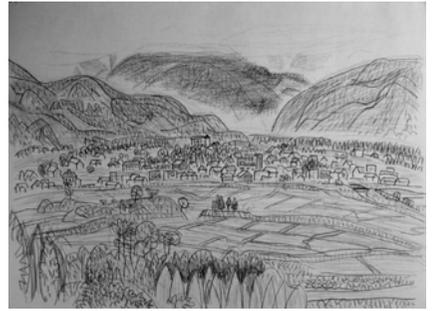
昭和55年 コンテ、パステル、紙

1980 Conté, pastel on paper

32.0×42.0cm 裏面に「55.7.1」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-531



67

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

白馬村 蔵平にて

At Warabidaira in Hakuba Village

昭和56年 コンテ、パステル、紙

1981 Conté, pastel on paper

32.0×42.0 cm 裏面に「於 白馬村 蔵平 昭 56.6.3」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-532



68

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

白馬村 蔵平にて

At Warabidaira in Hakuba Village

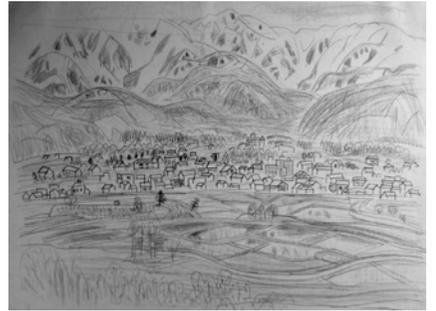
昭和56年 コンテ、パステル、紙

1981 Conté, pastel on paper

32.0×42.0 cm 裏面に「於 白馬村 蔵平 昭 56.6.3」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-533



69

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

武甲山雪景 秩父巴川

Snow Scene of Mt. Buko from Chichibu-Tomoegawa

昭和33年 コンテ、パステル、紙

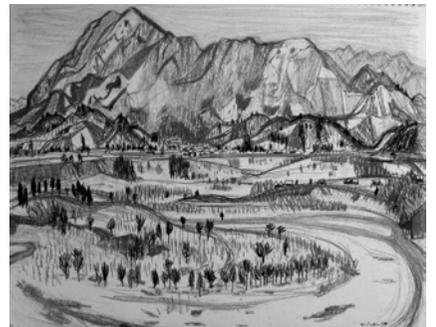
1958 Conté, pastel on paper

30.3×37.8 cm

右下に署名「m. Takada」、裏面に「武甲山雪景 於 秩父巴川 誠 昭和 33.2.10」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-534



70

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

武甲山 秩父巴川にて

Mt. Buko from Chichibu-Tomoegawa

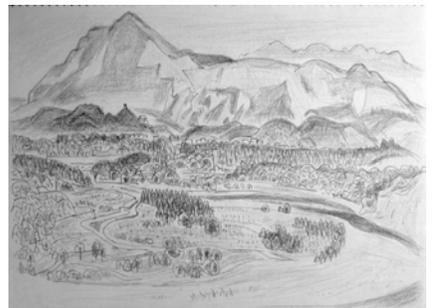
昭和59年 コンテ、パステル、紙

1984 Conté, pastel on paper

24.9×33.5 cm 裏面に「武甲山 秩父巴川にて 59.6.6」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-535



71

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

秩父巴川

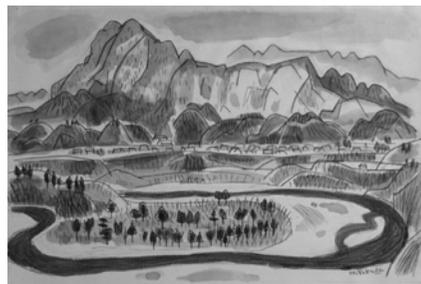
Chichibu-Tomoegawa

制作年不詳 コンテ、水彩、紙

Date unknown Conté, watercolor on paper

22.5×33.2 cm 右下に署名「m. Takada」、裏面に「秩父巴川 高田誠」
平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-536



72

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

両神山の見える集落 小鹿野

Ogano Village with a Distant View of Mt. Ryokami

昭和39年 コンテ、パステル、紙

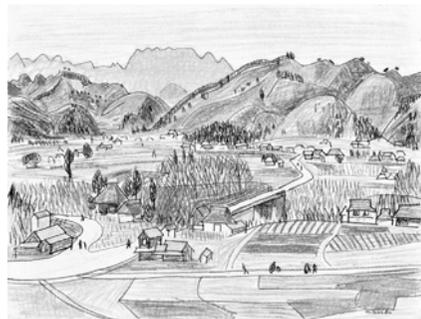
1964 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm

右下に署名「m. Takada」、裏面に「両神山の見える集落 於 小鹿野 高田誠 39.4.5」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-537



73

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

波久礼の吊橋

Suspension Bridge at Hagure

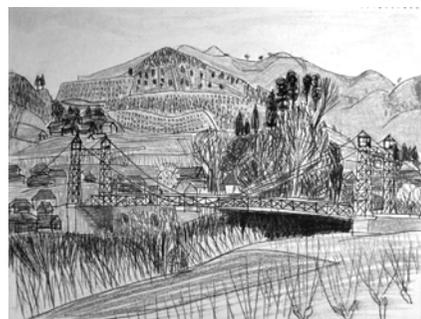
昭和39年 コンテ、パステル、紙

1964 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm 裏面に「波久礼の吊橋 於 波久礼 39.4.6」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-538



74

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

波久礼の吊橋

Suspension Bridge at Hagure

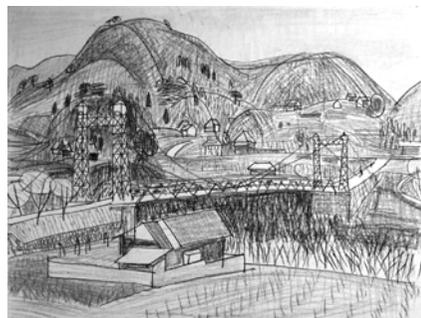
昭和39年 コンテ、パステル、紙

1964 Conté, pastel on paper

32.1×40.8 cm 裏面に「波久礼の吊橋 於 波久礼 39.4.6」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-539



75

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

小鹿野

Ogano

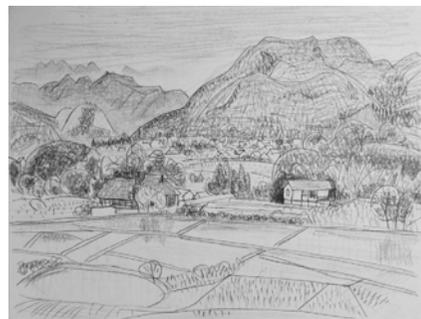
昭和51年 コンテ、パステル、紙

1976 Conté, pastel on paper

32.0×41.5 cm 裏面に「於 小鹿野 51.6.7」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-540



76

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

尾道・千光寺山荘の部屋より

From the Lodge of Senkoji Temple in Onomichi

昭和38年 コンテ、パステル、紙

1963 Conté, pastel on paper

29.5×37.3 cm 裏面に「於 尾道・千光寺山荘の部屋より 38.3.30」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-541



77

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

尾道・千光寺公園見晴台

Senkoji Temple Park in Onomichi

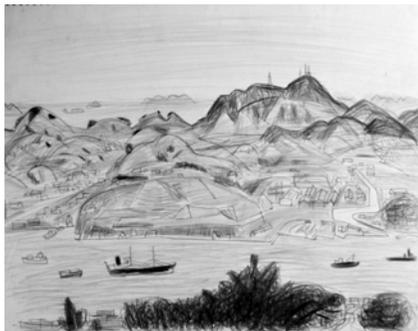
昭和38年 コンテ、パステル、紙

1963 Conté, pastel on paper

29.5×37.3 cm 裏面に「於 尾道・千光寺公園見晴台食堂 38.3.30」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-542



78

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

尾道風景 尾道向島より尾道市を望む

Landscape of Onomichi City from Onomichi-Mukojima Islet

昭和38年 コンテ、パステル、紙

1963 Conté, pastel on paper

29.5×37.3 cm 裏面に「尾道風景 尾道向島より尾道市を望む 38.3.31」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-543



79

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

尾道・千光寺山荘の部屋より

From the Lodge of Senkoji Temple, Onomichi

昭和38年 コンテ、パステル、紙

1963 Conté, pastel on paper

32.1×40.8 cm 裏面に「尾道 千光寺山荘の部屋より 38.3.31」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-544



80

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

尾道・千光寺公園展望台グリルにて

From the grillroom of Senkoji Temple Park in Onomichi

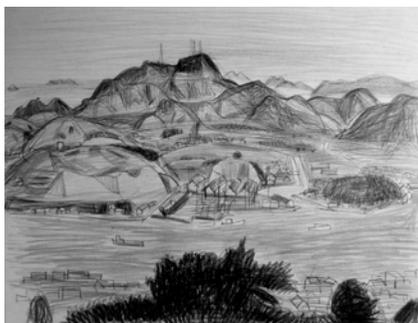
昭和38年 コンテ、パステル、紙

1963 Conté, pastel on paper

29.5×37.3 cm 裏面に「尾道・千光寺公園展望台グリルにて 38.4.1」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-545



81

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

尾道・浄土寺にて

At Jodoji Temple in Onomichi

昭和38年 コンテ、パステル、紙

1963 Conté, pastel on paper

32.0×40.9 cm 裏面に「尾道・浄土寺にて 38.4.1」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-546



82

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

尾道風景 浄土寺にて

Landscape of Onomichi from Jodoji Temple

昭和41年 コンテ、パステル、紙

1966 Conté, pastel on paper

29.5×37.3 cm

右下に署名「m. Takada」、裏面に「尾道風景 尾道 浄土寺にて 高田誠 38.4.1」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-547



83

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

因の島 公園展望台附近

Around Observation Platform of the Park, Innoshima Isl,

昭和38年 コンテ、パステル、紙

1963 Conté, pastel on paper

29.5×37.3 cm 裏面に「於 因の島 公園展望台附近 38.4.2」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-548



84

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

因の島にて

At Innoshima Island

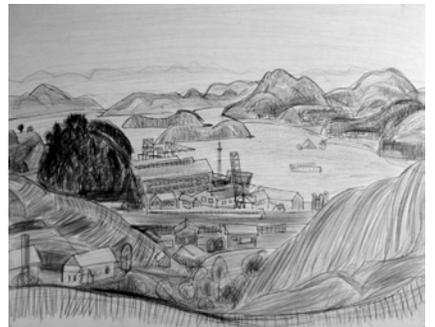
昭和38年 コンテ、パステル、紙

1963 Conté, pastel on paper

29.5×37.2 cm 裏面に「於 因の島にて 38.4.3」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-549



85

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

波切

Nakiri

昭和41年 コンテ、パステル、紙

1966 Conté, pastel on paper

32.0×40.9 cm 裏面に「於 波切 41.12.4」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-550



86

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

灯台のある漁村 波切

Fishing Village with a Lighthouse, Nakiri

昭和41年 コンテ、パステル、紙

1966 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm

左下に署名「m. Takada」、裏面に「灯台のある漁村 於 波切 高田誠 41.12.5」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-551



87

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

波切

Nakiri

昭和41年 コンテ、パステル、紙

1966 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm

左下に署名「m. Takada」、裏面に「於 波切 41.12.5」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-552



88

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

波切・大王崎灯台

Daiozaki Lighthouse at Nakiri

昭和41年 コンテ、パステル、紙

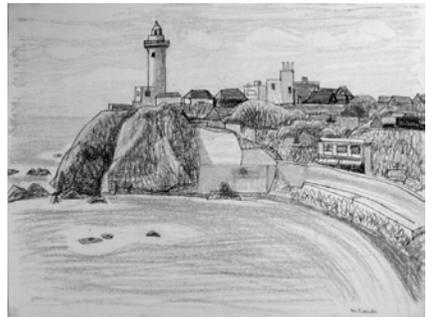
1966 Conté, pastel on paper

32.0×40.9 cm

右下に署名「m. Takada」、裏面に「於 波切・大王崎灯台 高田誠 41.12.6」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-553



89

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

大王崎の灯台 波切

Daiozaki Lighthouse at Nakiri

昭和41年 コンテ、パステル、紙

1966 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm

裏面に「大王崎の灯台 於 波切 高田誠 41.12.6」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-554



90

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

波切

At Nakiri

昭和41年 コンテ、パステル、紙

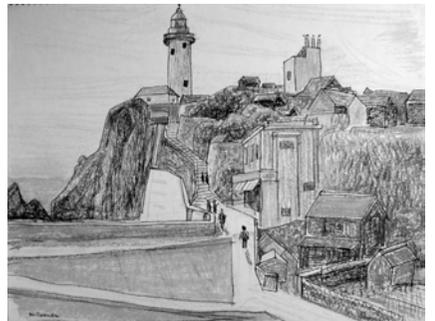
1966 Conté, pastel on paper

32.0×40.9 cm

左下に署名「m. Takada」、裏面に「於 波切 41.12.7」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-555



91

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

波切

Nakiri

昭和41年 コンテ、パステル、紙

1966 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm

左下に署名「m. Takada」、裏面に「於 波切 41.12.7」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-556



92

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

姫路

Himeji

昭和41年 コンテ、パステル、紙

1966 Conté, pastel on paper

32.0×40.9 cm 裏面に「於 姫路 高田誠 41.11.26」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-557



93

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

姫路城

Himeji Castle

昭和41年 コンテ、パステル、紙

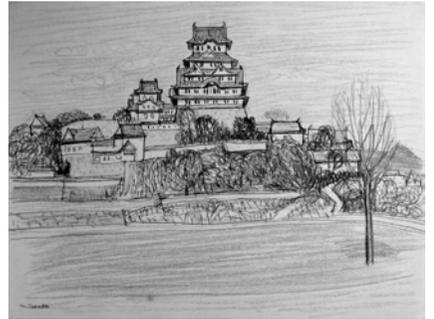
1966 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm

左下に署名「M Takada」、裏面に「姫路城 高田誠 41.11.27」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-558



94

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

姫路城

Himeji Castle

昭和41年 コンテ、パステル、紙

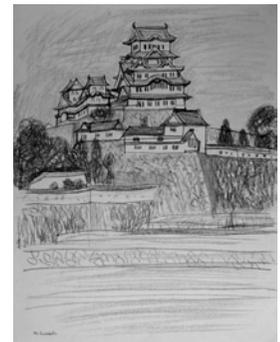
1966 Conté, pastel on paper

40.8×32.3 cm

左下に署名「m. Takada」、裏面に「姫路城 於 姫路 高田誠 41.11.27」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-559



95

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

姫路城

Himeji Castle

昭和41年 コンテ、パステル、紙

1966 Conté, pastel on paper

32.0×40.9 cm

左下に署名「m. Takada」、裏面に「姫路城 於 姫路 高田誠 41.11.27」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-560



96

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

房州 江見町

Emi Town in Boshu District

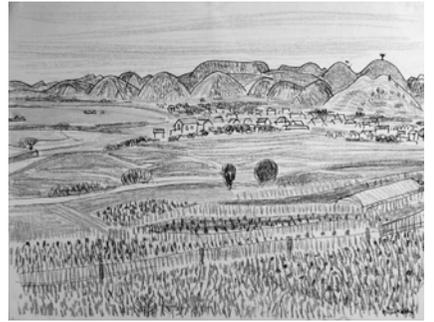
昭和39年 コンテ、パステル、紙

1964 Conté, pastel on paper

32.0×40.9 cm 右下に署名「m. Takada」、裏面に「於 房州 江見町 39.2.23」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-561



97

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

太海

Futomi

昭和39年 コンテ、パステル、紙

1964 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm 左下に署名「m. Takada」、裏面に「於 太海 昭和 39.2.23」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-562



98

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

太海 仁右衛門島

Niemon Islet at Futomi

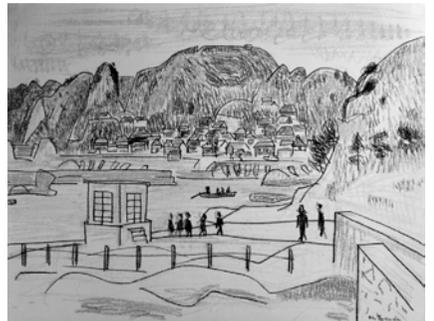
昭和39年 コンテ、パステル、紙

1964 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm 右下に署名「m. Takada」、裏面に「於 太海 仁右衛門島 39.2.24」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-563



99

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

太海

Futomi

昭和39年 コンテ、パステル、紙

1964 Conté, pastel on paper

32.0×40.9 cm 右下に白文方印「誠」、裏面に「於 太海 昭和 39.2.25」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-564



100

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

太海

Futomi

昭和39年 コンテ、パステル、紙

1964 Conté, pastel on paper

32.0×41.9 cm 右下に白文方印「誠」、裏面に「太海 39.2.25」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-565



101

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

太海

Futomi

昭和39年 コンテ、パステル、紙

1964 Conté, pastel on paper

32.0×40.9 cm 左下に署名「m. Takada」、裏面に「於 太海 昭和 39. 3. 22」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-566



102

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

外房・太海

Futomi in Sotobo District

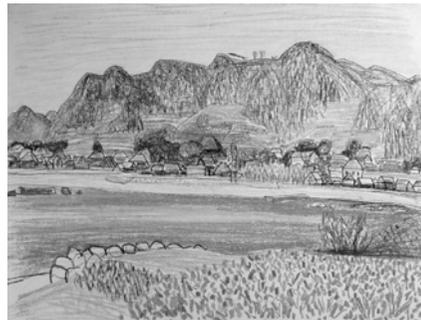
昭和42年 コンテ、パステル、紙

1967 Conté, pastel on paper

32.0×40.9 cm 裏面に「於 外房・太海 高田誠 42. 2. 6」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-567



103

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

外房・江見

Emi Town in Sotobo District

昭和42年 コンテ、パステル、紙

1967 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm 裏面に「於 外房・江見 高田誠 42. 2. 7」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-568



104

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

外房 江見

Emi Town in Sotobo District

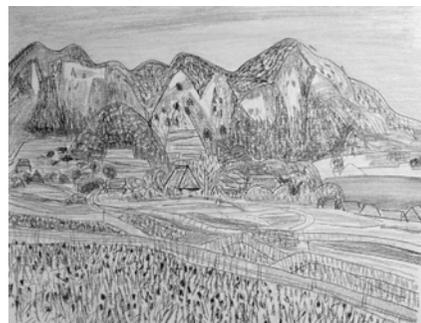
昭和42年 コンテ、パステル、紙

1967 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm 裏面に「於 外房 江見 高田誠 42. 2. 7」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-569



105

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

太海

Futomi

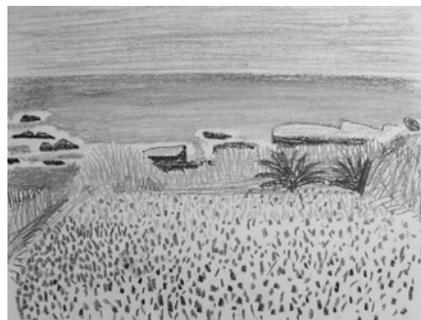
昭和42年 コンテ、パステル、紙

1967 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm 裏面に「於 太海 誠 昭 42. 3. 14」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-570



106

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

太海 天面部落

Amatura Village at Futomi

昭和42年 コンテ、パステル、紙

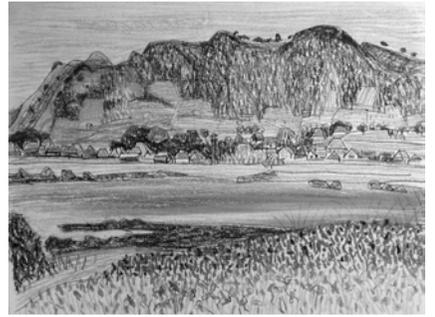
1967 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm

裏面に「於 太海 天面部落 高田誠 昭和42.3.14」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-571



107

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

太海

Futomi

昭和42年 コンテ、パステル、紙

1967 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm

裏面に「於 太海 高田誠 42.3.15」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-572



108

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

房州の花畑 太海

Flower Garden in Boshu; Futomi

昭和42年 コンテ、パステル、紙

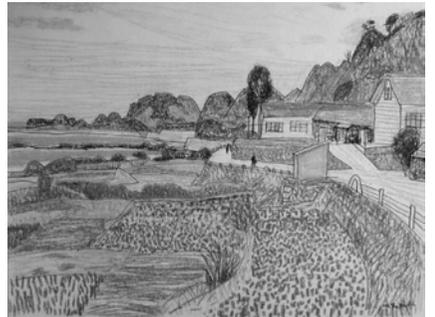
1967 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm

右下に署名「m. Takada」、裏面に「房州の花畑 於 太海 高田誠 昭和 42.3.17」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-573



109

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

房州・白浜

Shirahama in Boshu District

昭和43年 コンテ、パステル、紙

1968 Conté, pastel on paper

31.6×41.4 cm

裏面に「於 房州・白浜 高田誠 43.03.15」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-574



110

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

房州・白浜

Shirahama in Boshu District

昭和43年 コンテ、パステル、紙

1968 Conté, pastel on paper

31.5×41.5 cm

裏面に「於 房州・白浜 高田誠 43.3.15」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-575



111

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

太海

Futomi

昭和43年 コンテ、パステル、紙

1968 Conté, pastel on paper

41.5×31.7 cm 裏面に「於 太海 高田誠 43. 3. 16」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-576



112

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

太海

Futomi

昭和43年 コンテ、パステル、紙

1968 Conté, pastel on paper

31.6×41.5 cm 裏面に「於 太海 高田誠 43. 3. 17」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-577



113

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

太海

Futomi

昭和43年 コンテ、パステル、紙

1968 Conté, pastel on paper

31.6×41.5 cm 裏面に「於 太海 高田誠 43. 3. 18」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-578



114

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

太海

Futomi

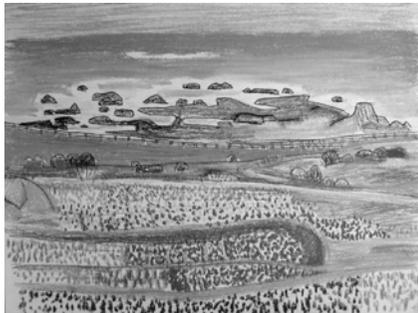
昭和43年 コンテ、パステル、紙

1968 Conté, pastel on paper

31.6×41.5 cm 裏面に「於 太海 高田誠 43. 3. 18」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-579



115

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

太海

Futomi

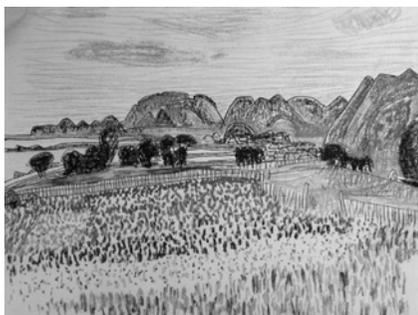
昭和43年 コンテ、パステル、紙

1968 Conté, pastel on paper

31.6×41.5 cm 裏面に「於 太海 高田誠 43. 3. 18」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-580



116

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

房州の春・江見付近

Spring in Boshu District; near Emi

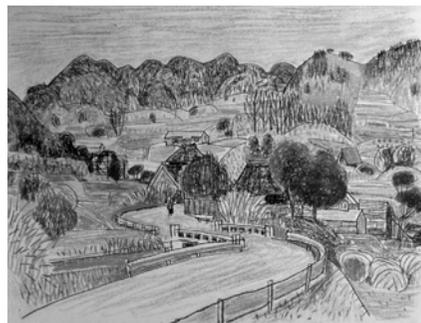
昭和43年 コンテ、パステル、紙

1968 Conté, pastel on paper

31.6×41.5 cm 裏面に「房州の春・江見付近 高田誠 43.3.19」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-581



117

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

房州・白浜

Shirahama in Boshu District

昭和49年 コンテ、パステル、紙

1974 Conté, pastel on paper

32.0×41.4 cm 裏面に「於 房州・白浜 49.3.11」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-582



118

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

海辺の学校 太海

School at the Seaside of Futomi

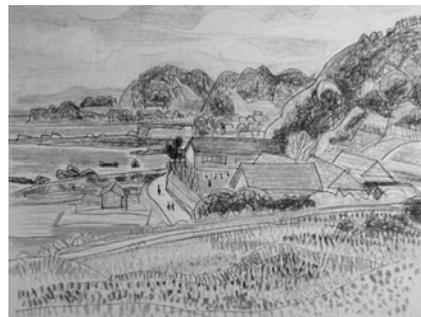
昭和49年 コンテ、パステル、紙

1974 Conté, pastel on paper

32.0×41.3 cm 裏面に「海辺の学校 於 太海 高田誠 49.3.12」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-583



119

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

房州・白浜

Shirahama in Boshu District

昭和49年 コンテ、パステル、紙

1974 Conté, pastel on paper

32.0×41.5 cm 裏面に「於 房州・白浜 49.03.13」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-584



120

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

房州・白浜

Shirahama in Boshu District

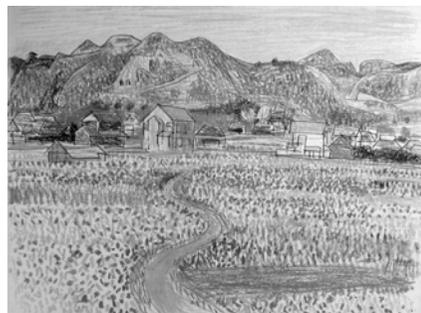
昭和49年 コンテ、パステル、紙

1974 Conté, pastel on paper

32.0×41.5 cm 裏面に「於 房州 白浜 49.3.13」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-585



121

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

太海

Futomi

昭和57年 コンテ、パステル、紙

1982 Conté, pastel on paper

32.3×42.0 cm

裏面に「於 太海 57.03.09」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-586



122

高田誠 1913(大正2)－1992(平成4)

Makoto TAKADA

大洗

Seashore of Oarai

昭和42年 コンテ、パステル、紙

1967 Conté, pastel on paper

32.0×40.8 cm 裏面に「於 大洗 誠 42.12.30」

平成25年度高田きよ子氏寄贈

D-587



123

立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16)－1998(平成10)

Tiger TATEISHI

ポスター『タイガー立石 アレクサンドル・イオラス画廊』の下絵
Study for the Poster "TIGER TATEISHI, GALERIE ALEXANDRE IOLAS"

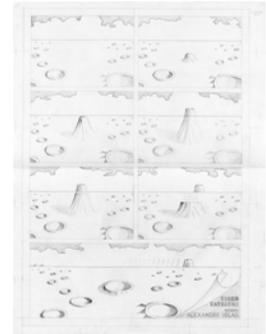
昭和47年 鉛筆、色鉛筆、紙

1972 Pencil, colored pencil on paper

87.5×66.5 cm 右上に年記「17 Settembre, 1972」

平成25年度寄贈

D-588



124

立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16)－1998(平成10)

Tiger TATEISHI

Moon's Satisfaction

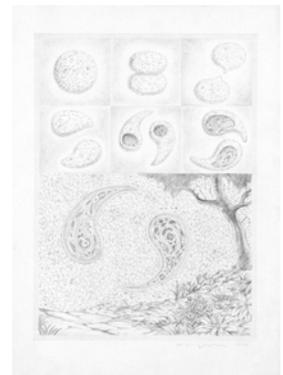
昭和49年 鉛筆、色鉛筆、紙

1974 Pencil, colored pencil on paper

69.5×50.0 cm 右下に署名、年記「Tiger 1974」

平成25年度寄贈

D-589



125

立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16)－1998(平成10)

Tiger TATEISHI

無題

Untitled

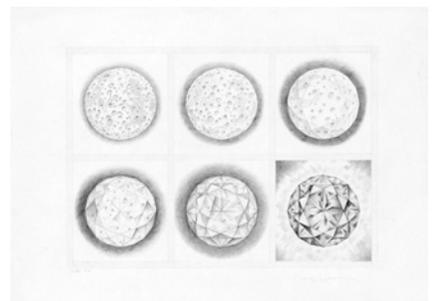
昭和49年 鉛筆、紙

1974 Pencil on paper

50.0×69.5 cm 右下に署名「Tiger」、左下に年記「20 DEC. 1974」

平成25年度寄贈

D-590



126

立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16) - 1998(平成10)

Tiger TATEISHI

ポスター『ラウル・バルビエリ&ジョルジオ・マリアネリ建築事務所』
の下絵

Study for the Poster "RAUL BARBIERI E GIORGIO MARIANELLI ARCHITETTI"

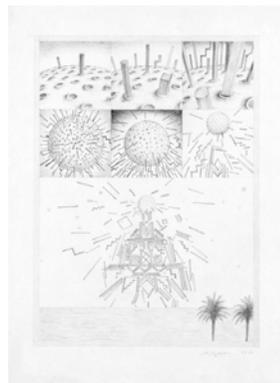
昭和50年 鉛筆、色鉛筆、紙

1975 Pencil, colored pencil on paper

69.5×50.0 cm 右下に署名、年記「Tiger 1975」

平成25年度寄贈

D-591



127

建畠覚造 1919(大正8) - 2006(平成18)

Kakuzo TATEHATA

Waving Figure-18 (1)

昭和60年頃 鉛筆、紙

c. 1985 Pencil on paper

25.6×36.4 cm 右下に署名「K」

平成25年度建畠嘉氏寄贈

D-592



128

建畠覚造 1919(大正8) - 2006(平成18)

Kakuzo TATEHATA

Waving Figure-18 (2)

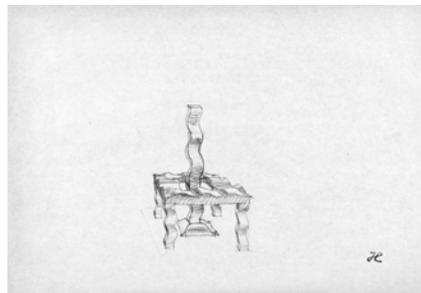
昭和60年頃 鉛筆、紙

c. 1985 Pencil on paper

25.6×36.4 cm 右下に署名「K」

平成25年度建畠嘉氏寄贈

D-593



129

建畠覚造 1919(大正8) - 2006(平成18)

Kakuzo TATEHATA

Waving Figure-18 (3)

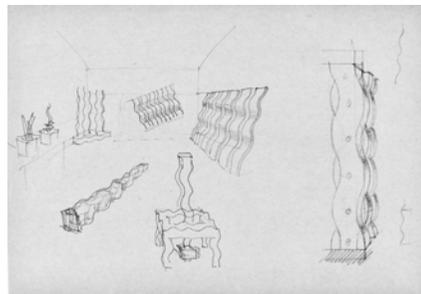
昭和60-61年 鉛筆、紙

1985-1986 Pencil on paper

25.6×36.4 cm

平成25年度建畠嘉氏寄贈

D-594



130

古川弘 1907(明治40) - 1977(昭和52)

Hiroshi FURUKAWA

雪後

After Snowing

昭和25-52年 水彩、紙

1950-1977 watercolor on paper

36.2×55.0 cm

左下に署名「弘 FURUKAWA」、裏面のラベルに「雪後」

平成25年度保管転換

D-595



131

古川弘 1907(明治40)－1977(昭和52)

Hiroshi FURUKAWA

ぼたん花

Peony Flower

制作年不詳 水彩、紙

Date unknown Watercolor on paper

54.0×73.0cm

左下に署名「弘 FURUKAWA」、裏面のラベルに「ぼたん花」

平成25年度保管転換

D-596



132

辰野登恵子 1950(昭和25)－

Toeko TATSUNO

MAY-7-91

平成3年 リトグラフ、紙

1991 Lithograph

191.5×130.0 cm 左下にエディション「20/30」、右下に署名、年記「Toeko Tatsuno 1991」

平成25年度シロタ画廊寄贈

P-1011



133

辰野登恵子 1950(昭和25)－

Toeko TATSUNO

MAY-21-91

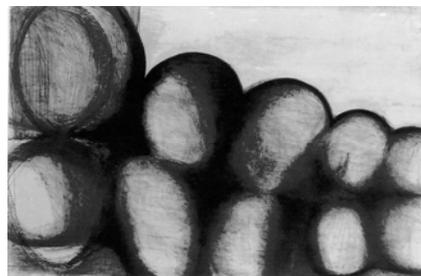
平成3年 リトグラフ、紙

1991 Lithograph

130.0×194.5 cm 左下にエディション「22/30」、右上に署名、年記「Toeko Tatsuno 1991」

平成25年度シロタ画廊寄贈

P-1012



134

辰野登恵子 1950(昭和25)－

Toeko TATSUNO

MAY-25-91

平成3年 リトグラフ、紙

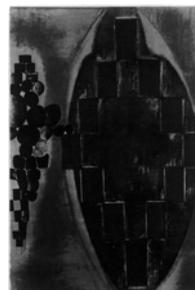
1991 Lithograph

196.0×130.0 cm 左下にエディション、署名、年記「22/30 Toeko Tatsuno 1991」、

右下にエンボシング「E」

平成25年度シロタ画廊寄贈

P-1013



135

立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16)－1998(平成10)

Tiger TATEISHI

企業広告のための版画

Print for a Corporate Advertising

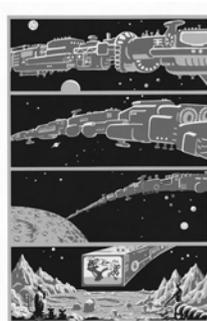
昭和52年 セリグラフ、紙

1977 Serigraph

70.0×50.0 cm 右下に署名「Tiger Tateishi」、左下にエディション「281/290」

平成25年度寄贈

P-1014



136

立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16)－1998(平成10)

Tiger TATEISHI

ヴァルタ社：ダイナミックに上昇するベクトル

VARTA : Vector in Ascending Dynamics

昭和53年 セリグラフ、紙

1978 Serigraph

45.8×35.4 cm 中央下に題名「Vettore in dinamica ascensionale」

平成25年度寄贈

P-1015



137

谷川晃一 1938(昭和13)－

Koichi TANIKAWA

版画集『JAZZ』より《Jazz in Paris》

Jazz in Paris from the Portfolio "Jazz"

平成20年 ステンシル、紙

2008 Stencil

26.5×19.2 cm 右下に署名「Coichi」、年記「2008」、左下にエディション「8/70」

平成25年度寄贈

P-1016



138

谷川晃一 1938(昭和13)－

Koichi TANIKAWA

版画集『JAZZ』より《スイランの夏》

Holoieion in Summer from the Portfolio "Jazz"

平成20年 ステンシル、紙

2008 Stencil

26.5×19.2 cm 右下に署名「Coichi」、年記「2008」、左下にエディション「8/70」

平成25年度寄贈

P-1017



139

谷川晃一 1938(昭和13)－

Koichi TANIKAWA

版画集『JAZZ』より《雨の日》

Rainy Day from the Portfolio "Jazz"

平成20年 ステンシル、紙

2008 Stencil

26.5×19.2 cm 右下に署名「Coichi」、年記「2008」、左下にエディション「8/70」

平成25年度寄贈

P-1018



140

谷川晃一 1938(昭和13)－

Koichi TANIKAWA

版画集『JAZZ』より《アリゾナのカフェ》

Café in Arizona from the Portfolio "Jazz"

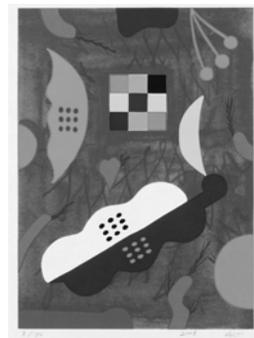
平成20年 ステンシル、紙

2008 Stencil

26.5×19.2 cm 右下に署名「Coichi」、年記「2008」、左下にエディション「8/70」

平成25年度寄贈

P-1019



141

谷川晃一 1938(昭和13)ー

Koichi TANIKAWA

版画集『JAZZ』より《ウォリスの海》

Wallis in the Sea from the Portfolio "Jazz"

平成20年 ステンシル、紙

2008 Stencil

19.2×26.5 cm 右下に署名「Coichi」、年記「2008」、左下にエディション「8/70」

平成25年度寄贈

P-1020



142

谷川晃一 1938(昭和13)ー

Koichi TANIKAWA

版画集『JAZZ』より《窓辺のペーパームーン》

Paper Moon by the Window from the Portfolio "Jazz"

平成20年 ステンシル、紙

2008 Stencil

26.5×19.2 cm 右下に署名「Coichi」、年記「2008」、左下にエディション「8/70」

平成25年度寄贈

P-1021



143

谷川晃一 1938(昭和13)ー

Koichi TANIKAWA

版画集『JAZZ』より《青い人》

Blue Man from the Portfolio "Jazz"

平成20年 ステンシル、紙

2008 Stencil

19.2×26.5 cm 右下に署名「Coichi」、年記「2008」、左下にエディション「8/70」

平成25年度寄贈

P-1022



144

谷川晃一 1938(昭和13)ー

Koichi TANIKAWA

版画集『JAZZ』より《タオスの馬》

Horse in Taos from the Portfolio "Jazz"

平成20年 ステンシル、紙

2008 Stencil

26.5×19.2 cm 右下に署名「Coichi」、年記「2008」、左下にエディション「8/70」

平成25年度寄贈

P-1023



145

谷川晃一 1938(昭和13)ー

Koichi TANIKAWA

版画集『JAZZ』より《絹の月》

Silky Moon from the Portfolio "Jazz"

平成20年 ステンシル、紙

2008 Stencil

26.5×19.2 cm 右下に署名「Coichi」、年記「2008」、左下にエディション「8/70」

平成25年度寄贈

P-1024



146

谷川晃一 1938(昭和13)ー

Koichi TANIKAWA

版画集『JAZZ』より《高原の夏》

Summer in the Highlands from the Portfolio "Jazz"

平成20年 ステンシル、紙

2008 Stencil

26.5×19.2 cm 右下に署名「Coichi」、年記「2008」、左下にエディション「8/70」

平成25年度寄贈

P-1025



147

谷川晃一 1938(昭和13)ー

Koichi TANIKAWA

版画集『JAZZ』より《秋の公園》

Autumn Park from the Portfolio "Jazz"

平成20年 ステンシル、紙

2008 Stencil

26.5×19.2 cm 右下に署名「Coichi」、年記「2008」、左下にエディション「8/70」

平成25年度寄贈

P-1026



148

谷川晃一 1938(昭和13)ー

Koichi TANIKAWA

版画集『JAZZ』より《白い海岸にて》

By the White Seaside from the Portfolio "Jazz"

平成20年 ステンシル、紙

2008 Stencil

26.5×19.2 cm 右下に署名「Coichi」、年記「2008」、左下にエディション「8/70」

平成25年度寄贈

P-1027



149

堂本尚郎 1928(昭和3)ー2013(平成25)

Hisao DOMOTO

臨界一水

CRITICAL-WATER

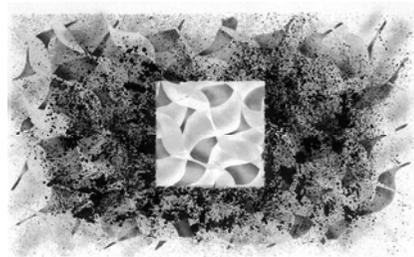
平成3年 リトグラフ、紙

1991 Lithograph

120.5×193.0 cm 左下にエディション「28/30」

平成25年度シロタ画廊寄贈

P-1028



150

堂本尚郎 1928(昭和3)ー2013(平成25)

Hisao DOMOTO

連鎖反応一水

CHAINREACTION-WATER

平成3年 リトグラフ、紙

1991 Lithograph

120.5×193.0 cm 右下に署名、年記「Domoto 91」、左下にエディション「26/30」

平成25年度シロタ画廊寄贈

P-1029



151

日と崎尊夫 1941(昭和16)－1992(平成4)

Takao HIWASAKI

KALPA-REQUIEM

昭和62年 木口木版、紙

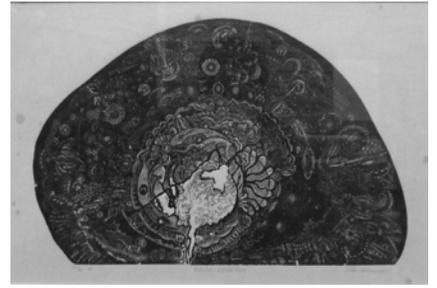
1987 Wood engraving

28.0×42.6 cm

右下に署名「Takao Hiwasaki」、中央下に題名「KALPA-REQUIEM」、左下にエディション、年記「20/50 '87」

平成25年度荒井勝明氏寄贈

P-1030



152

マン・レイ 1890－1976

Man Ray

アレクサンドル・イオラス画廊の図録

Catalogue Published by Alexandre Iolas

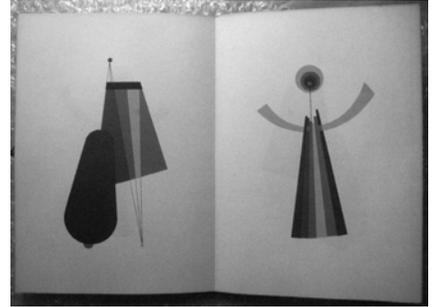
1973年 ステンシル、紙ほか

Stencil, other materials

24.0×17.0×3.0 cm

平成25年度寄贈

P-1031



153

エットレ・ソットサス 1917－2007/原画：立石大河亞(タイガー立石)

Ettore SOTTASS

祝祭としての惑星：室内楽を聴くための筏

The Planet as Festival: Rafts for Listening to Chamber Music

1972年 リトグラフ、紙

Lithograph

53.0×41.6 cm 右下に署名、年記「Ettore Sottsass 1972」、画面左下に印字「TIGER PINXIT」

平成25年度寄贈

P-1032



154

エットレ・ソットサス 1917－2007/原画：立石大河亞(タイガー立石)

Ettore SOTTASS

祝祭としての惑星：ワルツ、タンゴ、ロック、チャチャの音楽を提供する巨大な自動販売機

The Planet as Festival: A Large Dispenser of Waltzes, Tangos, Rock, and Cha-Cha

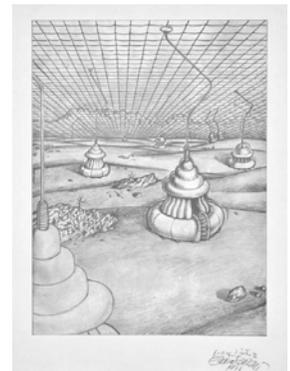
1972年 リトグラフ、紙

Lithograph

56.3×41.6 cm 右下に署名、年記「Ettore Sottsass 1972」、画面左縁に印字「TIGER PINXIT」

平成25年度寄贈

P-1033



155

エットレ・ソットサス 1917－2007/原画：立石大河亞(タイガー立石)

Ettore SOTTASS

祝祭としての惑星：星をみるためのスタジアム

The Planet as Festival: Stadium to Watch the Stars

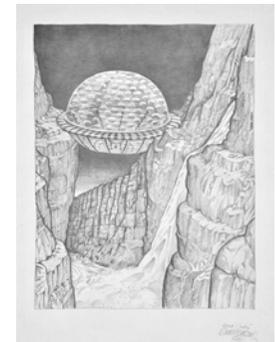
1972年 リトグラフ、紙

Lithograph

54.5×42.0 cm 右下に署名、年記「Ettore Sottsass 1972」、画面右縁に印字「TIGER PINXIT」

平成25年度寄贈

P-1034



156

エットレ・ソットサス 1917-2007/原画：立石大河亞(タイガー立石)

Ettore SOTTASS

祝祭としての惑星：香、LSD、マリファナ、阿片、笑気ガスの自動販売機

The Planet as Festival : A Dispenser of Incense, LSD, Marijuana, Opium and Laughing Gas

1972年 リトグラフ、紙

Lithograph

49.8×41.5 cm

右下に署名、年記「Ettore Sottsass 1972」、画面左縁に印字「TIGER PINXIT」

平成25年度寄贈

P-1035



157

エットレ・ソットサス 1917-2007/原画：立石大河亞(タイガー立石)

Ettore SOTTASS

祝祭としての惑星：巨大コンサートを開くためのスタジアム

The Planet as Festival : Stadium for Large Public Concerts

1972年 リトグラフ、紙

Lithograph

53.5×41.5 cm

右下に署名、年記「Ettore Sottsass 1972」、画面右縁に印字「TIGER PINXIT」

平成25年度寄贈

P-1036



158

エットレ・ソットサス 1917-2007/原画：立石大河亞(タイガー立石)

Ettore SOTTASS

祝祭としての惑星：瞑想にふけるための屋上

The Planet as Festival : Roofs under Which to Meditate

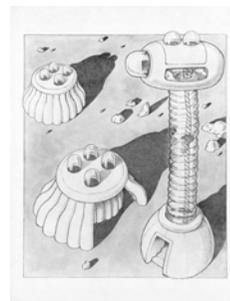
1972年 リトグラフ、紙

Lithograph

56.5×46.3 cm

平成25年度寄贈

P-1037



159

エットレ・ソットサス 1917-2007

Ettore SOTTASS

インドの思い出：ぶどうの入ったフルーツ・ボール

Indian Memory : Fruit Bowl with Grapes

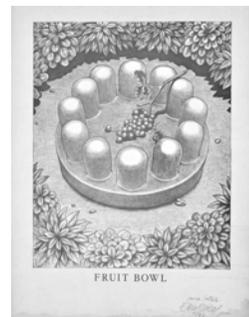
1972-73年 リトグラフ、紙

Lithograph

52.0×41.6 cm 右下に署名、年記「Ettore Sottsass 1972」、画面右縁に印字「TIGER PINXIT 1973」

平成25年度寄贈

P-1038



160

エットレ・ソットサス 1917-2007/立石大河亞(タイガー立石)

Ettore SOTTASS

インドの思い出：ティー・ポット

Indian Memory : Tea Pot

1972-73年 リトグラフ、紙

Lithograph

53.0×41.6 cm 右下に署名、年記「Ettore Sottsass 1972」、画面右縁に印字「TIGER PINXIT 1973」

平成25年度寄贈

P-1039



161

エットレ・ソットサス 1917-2007/立石大河亞(タイガー立石)

Ettore SOTTASS

インドの思い出：ティー・ポット

Indian Memory : Tea Pot

1972-73年 リトグラフ、紙

Lithograph

51.0×41.6 cm 右下に署名、年記「Ettore Sottsass 1972」、画面右縁に印字「TIGER PINXIT 1973」

平成25年度寄贈

P-1040



162

市川美幸 1963(昭和38)ー

Miyuki ICHIKAWA

「空のすみか／在る・あいだ」シリーズより

from the series of "Dwelling of void/existing/in between"

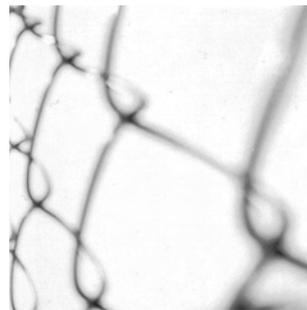
平成9年 タイプCプリント

1997 Type C print

36.0×36.0 cm 裏面右下に署名、年記、題名／エディション「1/12」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-174



163

市川美幸 1963(昭和38)ー

Miyuki ICHIKAWA

「空のすみか・在る・あいだ」シリーズより

from the series of "Dwelling of void/existing/in between"

平成9年 タイプCプリント

1997 Type C print

36.0×36.0 cm 裏面右下に署名、年記、題名／エディション「1/12」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-175



164

市川美幸 1963(昭和38)ー

Miyuki ICHIKAWA

「空のすみか・在る・あいだ」シリーズより

from the series of "Dwelling of void/existing/in between"

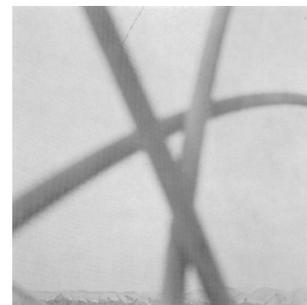
平成9年 タイプCプリント

1997 Type C print

36.0×36.0 cm 裏面右下に署名、年記、題名／エディション「1/12」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-176



165

市川美幸 1963(昭和38)ー

Miyuki ICHIKAWA

「空のすみか・在る・あいだ」シリーズより

from the series of "Dwelling of void/existing/in between"

平成9年 タイプCプリント

1997 Type C print

36.0×36.0 cm 裏面右下に署名、年記、題名／エディション「1/12」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-177



166

市川美幸 1963(昭和38)ー

Miyuki ICHIKAWA

「空のすみか・在る・あいだ」シリーズより

from the series of "Dwelling of void/existing/in between"

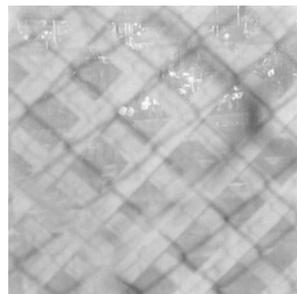
平成9年 タイプCプリント

1997 Type C print

36.0×36.0 cm 裏面右下に署名、年記、題名／エディション「1/12」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-178



167

市川美幸 1963(昭和38)ー

Miyuki ICHIKAWA

「空のすみか・在る・あいだ」シリーズより

from the series of "Dwelling of void/existing/in between"

平成9年 タイプCプリント

1997 Type C print

36.0×36.0 cm 裏面右下に署名、年記、題名／エディション「1/12」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-179



168

市川美幸 1963(昭和38)ー

Miyuki ICHIKAWA

「空のすみか・在る・あいだ」シリーズより

from the series of "Dwelling of void/existing/in between"

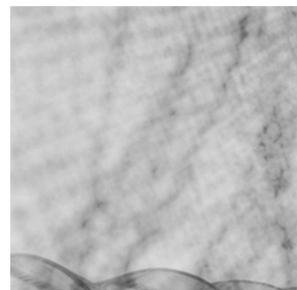
平成9年 タイプCプリント

1997 Type C print

36.0×36.0 cm 裏面右下に署名、年記、題名／エディション「1/12」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-180



169

市川美幸 1963(昭和38)ー

Miyuki ICHIKAWA

「テレ・シップ・スコープ」シリーズより

from the series of "tele-ship-scope"

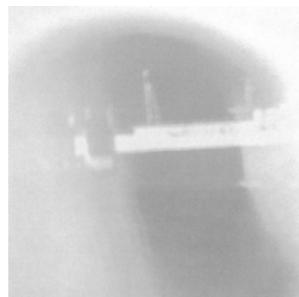
平成11年 タイプCプリント

1999 Type C print

46.0×46.0 cm 裏面右下に署名、年記、題名／エディション「1/12」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-181



170

市川美幸 1963(昭和38)ー

Miyuki ICHIKAWA

「テレ・シップ・スコープ」シリーズより

from the series of "tele-ship-scope"

平成11年 タイプCプリント

1999 Type C print

46.0×46.0 cm 裏面右下に署名、年記、題名／エディション「1/12」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-182



171

市川美幸 1963(昭和38)ー

Miyuki ICHIKAWA

「テレ・シップ・スコープ」シリーズより

from the series of "tele-ship-scope"

平成11年 タイプCプリント

1999 Type C print

46.0×46.0 cm 裏面右下に署名、年記、題名／エディション「1/12」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-183



172

市川美幸 1963(昭和38)ー

Miyuki ICHIKAWA

「テレ・シップ・スコープ」シリーズより

from the series of "tele-ship-scope"

平成11年 タイプCプリント

1999 Type C print

46.0×46.0 cm 裏面右下に署名、年記、題名／エディション「1/12」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-184



173

市川美幸 1963(昭和38)ー

Miyuki ICHIKAWA

「テレ・シップ・スコープ」シリーズより

from the series of "tele-ship-scope"

平成11年 タイプCプリント

1999 Type C print

46.0×46.0 cm 裏面右下に署名、年記、題名／エディション「1/12」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-185



174

市川美幸 1963(昭和38)ー

Miyuki ICHIKAWA

「テレ・シップ・スコープ」シリーズより

from the series of "tele-ship-scope"

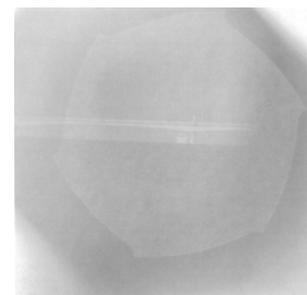
平成11年 タイプCプリント

1999 Type C print

46.0×46.0 cm 裏面右下に署名、年記、題名／エディション「1/12」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-186



175

杉山晶子 1958(昭和33)ー

Akiko SUGIYAMA

Colour of Circumstances 96-I

平成7ー8年 タイプRプリント(5枚)

1995-96 Type R print (5 prints)

各80.0×80.0 cm 裏面右下に署名、題名「"Colour of Circumstances 96-I" Akiko Sugiyama」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-187



176

杉山晶子 1958(昭和33)ー

Akiko SUGIYAMA

In-spiral II

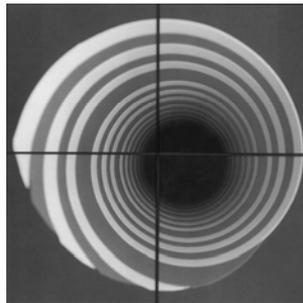
平成10年 タイプCプリント(4枚組)

1998 Type C print (a set of 4 prints)

160.0×160.0 cm 裏面に署名、題名「In-spiral II」Akiko Sugiyama

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-188



177

安田千絵 1962(昭和37)ー

Chie YASUDA

into a vortex; Untitled

平成6年 クリスタル・プリント

1994 Crystal print

43.8×43.8 cm 裏面右下に署名、年記/エディション「2/5」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-189



178

安田千絵 1962(昭和37)ー

Chie YASUDA

into a vortex; Untitled

平成8年 クリスタル・プリント

1996 Crystal print

43.8×43.8 cm 額の裏板に署名、年記/エディション「2/5」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-190



179

安田千絵 1962(昭和37)ー

Chie YASUDA

into a vortex; Untitled

平成8年 クリスタル・プリント

1996 Crystal print

43.8×43.8 cm 裏面右下に署名・年記/エディション「2/5」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-191



180

安田千絵 1962(昭和37)ー

Chie YASUDA

into a vortex; Untitled

平成8年 クリスタル・プリント

1996 Crystal print

43.8×43.8 cm 裏面右下に署名、年記/エディション「2/5」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-192



181

安田千絵 1962(昭和37)ー

Chie YASUDA

into a vortex; Untitled

平成10年 クリスタル・プリント

1998 Crystal print

43.8×43.8 cm 裏面右下に署名、年記/エディション「2/5」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-193



182

安田千絵 1962(昭和37)ー

Chie YASUDA

into a vortex; Untitled

平成10年 クリスタル・プリント

1998 Crystal print

43.8×43.8 cm 裏面右下に署名、年記/エディション「2/5」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-194



183

安田千絵 1962(昭和37)ー

Chie YASUDA

into a vortex; Untitled

平成11年 クリスタル・プリント

1999 Crystal print

43.8×43.8 cm 裏面右下に署名、年記/エディション「2/5」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-195



184

安田千絵 1962(昭和37)ー

Chie YASUDA

into a vortex; Untitled

平成11年 クリスタル・プリント

1999 Crystal print

43.8×43.8 cm 裏面右下に署名、年記/エディション「2/5」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-196



185

安田千絵 1962(昭和37)ー

Chie YASUDA

into a vortex; Untitled

平成8年 ゼラチン・シルバー・プリント

1996 Gelatin silver print

26.5×26.5 cm 裏面右下に署名、年記/エディション「3/25」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-197



186

安田千絵 1962(昭和37)ー

Chie YASUDA

into a vortex; Untitled

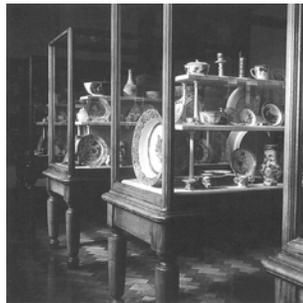
平成8年 ゼラチン・シルバー・プリント

1996 Gelatin silver print

26.5×26.5 cm 裏面右下に署名、年記/エディション「3/25」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-198



187

安田千絵 1962(昭和37)ー

Chie YASUDA

into a vortex; Untitled

平成8年 ゼラチン・シルバー・プリント

1996 Gelatin silver print

26.5×26.5 cm 裏面右下に署名、年記/エディション「3/25」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-199



188

安田千絵 1962(昭和37)ー

Chie YASUDA

into a vortex; Untitled

平成10年 ゼラチン・シルバー・プリント

1998 Gelatin silver print

26.5×26.5 cm 裏面右下に署名、年記/エディション「5/25」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-200



189

安田千絵 1962(昭和37)ー

Chie YASUDA

into a vortex; Untitled

平成10年 ゼラチン・シルバー・プリント

1998 Gelatin silver print

32.6×32.6 cm 裏面右下に署名、年記/エディション「2/5」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-201



190

安田千絵 1962(昭和37)ー

Chie YASUDA

into a vortex; Untitled

平成8年 ゼラチン・シルバー・プリント

1996 Gelatin silver print

32.6×32.6 cm 裏面右下に署名、年記/エディション「2/5」

平成25年度独立行政法人 国際交流基金寄贈

PH-202



191
菅木志雄 1944(昭和19)―
Kishio SUGA
界測
Kaisoku
平成2年 鉄、木
1990 Steel, wood
21.2×104.5×73.5 cm
平成25年度双ギャラリー寄贈
S-185



192
菅木志雄 1944(昭和19)―
Kishio SUGA
四囲分集
Shi-i-bun-shu
平成6年 木、石、ペイント
1994 Paint, wood, stones
70.0×395.0×206.0 cm 石で隠れている部分に署名、年記、題名「Kishio Suga 1994 四囲分集」
平成25年度双ギャラリー寄贈
S-186



193
小村雪岱 1887(明治20)―1940(昭和15)
Settai KOMURA
挿絵原画
Original Illustration
制作年不詳 墨、紙
Date unknown Sumi on paper
16.1×23.8 cm
平成25年度小村欣也氏寄贈
RI-109



194
小村雪岱 1887(明治20)―1940(昭和15)
Settai KOMURA
挿絵草稿(一式713点)
Original Illustration (713 sheets)
制作年不詳 墨、鉛筆、紙
Date unknown Sumi, pencil on paper
平成25年度小村欣也氏寄贈
RI-110



195
小村雪岱 1887(明治20)―1940(昭和15)
Settai KOMURA
挿絵校合刷(一式218点)
Proofs of Illustrations (218 Sheets)
制作年不詳 印刷、紙
Date unknown Prints on paper
平成25年度小村欣也氏寄贈
RI-111



196

小村雪岱 1887(明治20)－1940(昭和15)

Settai KOMURA

染色図案 桔梗、菊

Design of Bellflower and Chrysanthemum

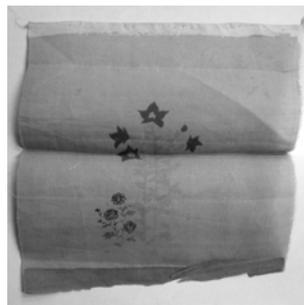
制作年不詳 彩色、絹

Date unknown Color on silk

21.0×20.0 cm

平成25年度小村欣也氏寄贈

RI-112



197

小村雪岱 1887(明治20)－1940(昭和15)

Settai KOMURA

染色図案 女郎花、赤とんぼ

Design of Yellow Patrinia and Red Dragonfly

制作年不詳 彩色、絹

Date unknown Color on silk

22.1×19.3 cm

平成25年度小村欣也氏寄贈

RI-113



198

小村雪岱 1887(明治20)－1940(昭和15)

Settai KOMURA

蚊帳吊草に桔梗文様着物

Kimono with Design of Galingales and Bellflowers

制作年不詳 彩色、絹

Date unknown Color on silk

身丈：150.0 cm

平成25年度小村欣也氏寄贈

RI-114



199

小村雪岱 1887(明治20)－1940(昭和15)

Settai KOMURA

赤とんぼ

Red Dragonfly

昭和51年 木版、紙

1976 Woodcut

24.9×17.5 cm、制作：アダチ版画研究所

平成25年度小村欣也氏寄贈

RI-115



200

小村雪岱 1887(明治20)－1940(昭和15)

Settai KOMURA

お傳地獄 傘

Umbrella from the Illustrations of "Oden-jigoku"

昭和10年 木版、紙

1935 Woodcut

26.4×52.0 cm 左下に朱文方印「雪岱」

平成25年度小村欣也氏寄贈

RI-116



201

小村雪岱 1887(明治20)－1940(昭和15)

Settai KOMURA

花の影

Shadow Cast by Blossoms

昭和57年 木版、紙

1982 Woodcut

40.8×27.7 cm

右中に朱文方印「雪岱」、制作：高見澤研究所

平成25年度小村欣也氏寄贈

RI-117



202

小村雪岱 1887(明治20)－1940(昭和15)

Settai KOMURA

春雨

Spring Rain

昭和62年 木版、紙

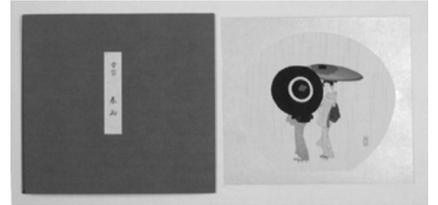
1987 Woodcut

21.0×23.3 cm

右下に朱文方印「雪岱」、制作：高見澤研究所

平成25年度小村欣也氏寄贈

RI-118



203

小村雪岱 1887(明治20)－1940(昭和15)

Settai KOMURA

蛍

Firefly

昭和62年 木版、紙

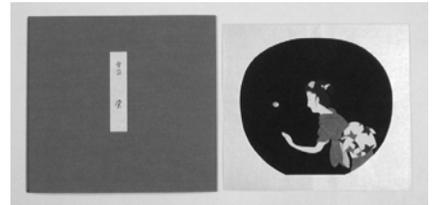
1987 Woodcut

20.9×23.0 cm

右下に朱文方印「雪岱」、制作：高見澤研究所

平成25年度小村欣也氏寄贈

RI-119



204

小村雪岱 1887(明治20)－1940(昭和15)

Settai KOMURA

夜雨

Rainfall at Night

昭和62年 木版、紙

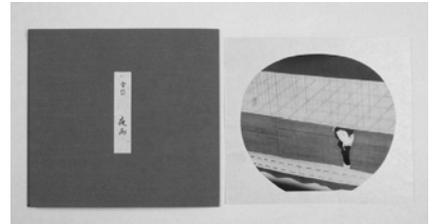
1987 Woodcut

20.8×23.3 cm

画面左に朱文方印「雪岱」、制作：高見澤研究所

平成25年度小村欣也氏寄贈

RI-120



205

小村雪岱 1887(明治20)－1940(昭和15)

Settai KOMURA

月

Moonlight

昭和62年 木版、紙

1987 Woodcut

21.1×23.4 cm

画面右に朱文方印「雪岱」、制作：高見澤研究所

平成25年度小村欣也氏寄贈

RI-121



206

小村雪岱 1887(明治20)－1940(昭和15)

Settai KOMURA

雪兔

Hare Made of Snow

昭和62年 木版、紙

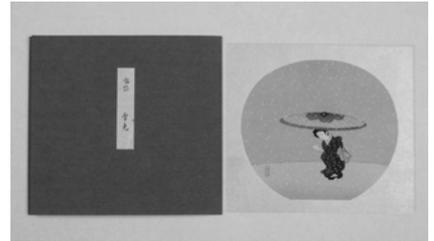
1987 Woodcut

21.2×23.6 cm

左下に朱文方印「雪岱」、制作：高見澤研究所

平成25年度小村欣也氏寄贈

RI-122



207

小村雪岱 1887(明治20)－1940(昭和15)

Settai KOMURA

筑波

Mt. Tsukuba

昭和62年 木版、紙

1987 Woodcut

20.8×23.1 cm

画面左に朱文方印「雪岱」、制作：高見澤研究所

平成25年度小村欣也氏寄贈

RI-123



208

小村雪岱 1887(明治20)－1940(昭和15)

Settai KOMURA

河岸

Riverside

昭和62年 木版、紙

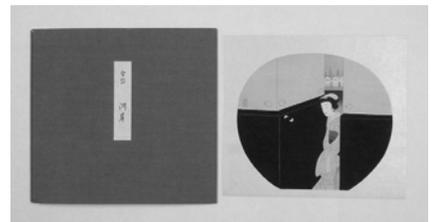
1987 Woodcut

20.9×23.5 cm

画面左に朱文方印「雪岱」、制作：高見澤研究所

平成25年度小村欣也氏寄贈

RI-124



209

小村雪岱 1887(明治20)－1940(昭和15)

Settai KOMURA

浜辺

Beach

昭和62年 木版、紙

1987 Woodcut

21.0×23.8 cm

画面左に朱文方印「雪岱」、制作：高見澤研究所

平成25年度小村欣也氏寄贈

RI-125



210

小村雪岱 1887(明治20)－1940(昭和15)

Settai KOMURA

春告鳥

Bush Warbler

平成3年 木版、紙

1990 Woodcut

29.0×37.9 cm 左下に朱文方印「雪岱」、制作：京都版画院

平成25年度小村欣也氏寄贈

RI-126



211

立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16)－1998(平成10)

Tiger TATEISHI

カレンダー『フィアット社 1981年3月／雲の中を走るフィアット・131 アバルト・ラリー』の下絵

Study for the Calendar "FIAT, March 1981, Running in the clouds: Fiat 131 Abarth Rally"

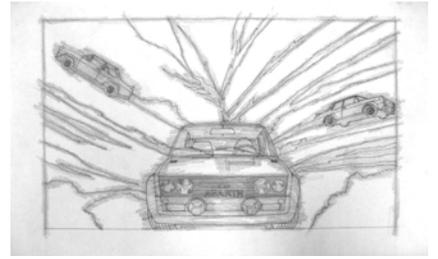
昭和55年 鉛筆、インク、トレーシングペーパー

1980 Ink, pencil on tracing paper

31.0×51.0 cm

平成25年度寄贈

RI-127



212

立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16)－1998(平成10)

Tiger TATEISHI

アレッサンドロ・メンディーニ著『家事の風景』の挿画の下絵(一式4点)

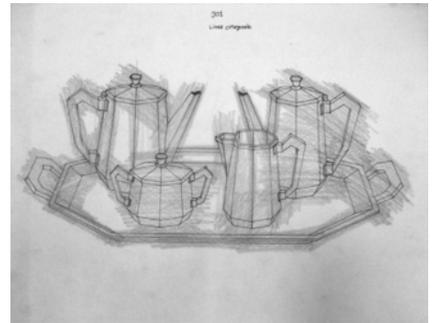
Studies for the Illustrations of "PAESAGGIO CASALINGO" by Alessandro Mendini (4 sheets)

昭和54年 鉛筆、インク、トレーシングペーパー

1979 Ink, pencil on tracing paper

平成25年度寄贈

RI-128



213

立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16)－1998(平成10)

Tiger TATEISHI

アレッシィ社のTシャツの下絵(一式4点)

Studies for Alessi's T-shirts (4 sheets)

昭和56年 鉛筆、インク、トレーシングペーパー

1981 Ink, pencil on tracing paper

一部の下絵に年記「1981」

平成25年度寄贈

RI-129



214

立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16)－1998(平成10)

Tiger TATEISHI

レコード・ジャケット『リッキー・ジアンコ アルチンボルド』の装画(一式4点)

Illustrations for the Record Jacket "RICKY GIANCO, ARCIMBOLDO" (4 sheets)

昭和53年 鉛筆、紙ほか

1978 Pencil and other materials on paper

一部に1978年6月の年記

平成25年度寄贈

RI-130



215

小村雪岱 1887(明治20)－1940(昭和15)

Settai KOMURA

小村雪岱関連資料(一式43点)

Reference works and materials on Settai Komura (43 items)

平成25年度小村欣也氏寄贈

RII-19



216

立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16)―1998(平成10)

Tiger TATEISHI

ポスター『タイガー立石 アレクサンドル・イオラス画廊』

Poster "TIGER TATEISHI, GALERIE ALEXANDRE IOLAS"

昭和47年 リトグラフ、紙

1972 Lithograph

83.0×59.0 cm

平成25年度寄贈

R II-20



217

立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16)―1998(平成10)

Tiger TATEISHI

ポスター『ハイドン建築事務所』

Poster "HAIDAN"

昭和47年 オフセット、紙

1972 Offset

68.0×48.5 cm 画中右下に印刷で署名、年記「Tiger 1972」

平成25年度寄贈

R II-21



218

立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16)―1998(平成10)

Tiger TATEISHI

ポスター『ラウル・バルビエリ&ジョルジオ・マリアネリ建築事務所』

Poster "RAUL BARBIERI E GIORGIO MARIANELLI ARCHITETTI"

昭和50年 オフセット、紙

1975 Offset

81.3×60.0 cm 画中中央下に印刷で署名、年記「Tiger 1975」

平成25年度寄贈

R II-22



219

装画：立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16)―1998(平成10)

Illustration: Tiger TATEISHI

カレンダー『ダルミネ社 1977年』

Calendar "Darminé, 1977"

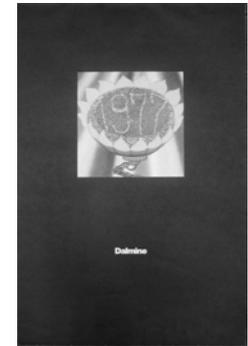
昭和51年 オフセット、紙/12点掲載

1976 Offset

67.0×47.0 cm 巻末にクレジット

平成25年度寄贈

R II-23



220

装画：立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16)―1998(平成10)

Illustration: Tiger TATEISHI

手帳『ダルミネ社 1977年』

Agenda "Darminé, 1977"

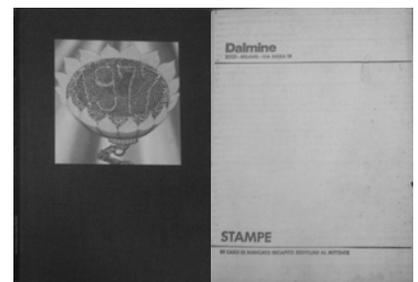
昭和51年 オフセット、紙/7点掲載

1976 Offset

26.5×18.5×2.0 cm 巻末にクレジット

平成25年度寄贈

R II-24



221

装画：立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16)－1998(平成10)

Illustration：Tiger TATEISHI

カレンダー『フィアット社 1981年3月／雲の中を走るフィアット・131 アバルト・ラリー』

Calendar "FIAT, March 1981, Running in the clouds: Fiat 131 Abarth Rally"

昭和55年 オフセット、紙

1980 Offset

64.2×48.5 cm 巻末にクレジット

平成25年度寄贈

R II-25



222

装画：立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16)－1998(平成10)

Illustration：Tiger TATEISHI

アレッシィ社のTシャツ(一式3点)

Alessi's T-shirts(3 pieces)

昭和56年 綿／箱付

1981 Cotton

各65.0×63.0 cm 図柄下に署名「Tiger Tateishi」

平成25年度寄贈

R II-26



223

装画：立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16)－1998(平成10)

Illustration：Tiger TATEISHI

レコード・ジャケットの装画一式 (LPレコード3点、宣伝用リトグラフ1点)

Illustration for the Record Jackets (LP Record: 3 sheets, Lithograph for publicity: 1 sheet)

昭和53-61年 リトグラフもしくはオフセット、紙

1978-1986年 Lithograph, offset

平成25年度寄贈

R II-27



224

装画：立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16)－1998(平成10)

Illustration：Tiger TATEISHI

トランプの装画(一式2点)

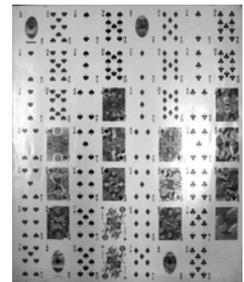
Illustration for Cards(2 sets)

昭和52-54年 オフセット、紙

1977-1979 Offset

平成25年度寄贈

R II-28



225

立石大河亞(タイガー立石) 1941(昭和16)－1998(平成10)

Tiger TATEISHI

TIGER TATEISHI, SUPER MULTI DIMENSION

1970年代 セリグラフ、紙／封筒にマーク部分を貼ったもの

1970's Serigraph

封筒寸法：57.0×43.8 cm

平成25年度寄贈

R II-29



226

装画：中村宏 1932(昭和7)ー／立石紘一(立石大河亞／タイガー立石)
1941(昭和16)ー1998(平成10)

Illustration: Hiroshi Nakamura, Koichi TATEISHI / Tiger TATEISHI

ポスター『第14回和泉祭 明治大学和泉校舎』

Poster "The 14th Izumi Festival, Meiji University Izumi Campus"

昭和39年 セリグラフ、紙

1964 Serigraph

52.0×72.0 cm

平成25年度寄贈

R II-30



227

装画：エットレ・ソットサス 1917ー2007/原画：立石大河亞(タイガー立石)

Illustration: Ettore SOTTASS

カレンダー『建築のドローイング 1988年1月』

Calendar "ARCHITECTURAL DRAWINGS, January 1988"

1987年 オフセット、紙

1987 Offset

43.0×39.0 cm 図版余白に印刷で署名、年記、エディション「Ettore Sottsass 73 7/17」

平成25年度寄贈

R II-31



■美術資料貸出等一覧

■美術作品の館外貸出

館外貸出点数：22件（展覧会）60点（点数）

作者名	作品名	展覧会名	会場	会期（備考）
瑛九	作品Ⅰ	ドローイング・シュルレアリスム	モーガン・ライブラリー・ア ンド・ミュージアム	1/25-4/21
瑛九	作品Ⅲ	ドローイング・シュルレアリスム	モーガン・ライブラリー・ア ンド・ミュージアム	1/25-4/21
瑛九	作品Ⅳ	ドローイング・シュルレアリスム	モーガン・ライブラリー・ア ンド・ミュージアム	1/25-4/21
瑛九	作品Ⅴ	ドローイング・シュルレアリスム	モーガン・ライブラリー・ア ンド・ミュージアム	1/25-4/21
瑛九	作品（2）	ドローイング・シュルレアリスム	モーガン・ライブラリー・ア ンド・ミュージアム	1/25-4/21
瑛九	作品（6）	ドローイング・シュルレアリスム	モーガン・ライブラリー・ア ンド・ミュージアム	1/25-4/21
瑛九	作品（7）	ドローイング・シュルレアリスム	モーガン・ライブラリー・ア ンド・ミュージアム	1/25-4/21
瑛九	作品（41）	ドローイング・シュルレアリスム	モーガン・ライブラリー・ア ンド・ミュージアム	1/25-4/21
瑛九	作品（72）	ドローイング・シュルレアリスム	モーガン・ライブラリー・ア ンド・ミュージアム	1/25-4/21
瑛九	作品（74）	ドローイング・シュルレアリスム	モーガン・ライブラリー・ア ンド・ミュージアム	1/25-4/21
瑛九	作品（76）	ドローイング・シュルレアリスム	モーガン・ライブラリー・ア ンド・ミュージアム	1/25-4/21
土田麦僊	甜瓜図	近代日本画と工芸の流れ 1868-1945	ローマ国立近代美術館	2/26-5/5
荒川修作	VOICE DRINKER/ THE ARTIFICIAL GIVEN	Re:Quest—1970年以降の日本 現代美術	ソウル大学校美術館	3/5-4/14
吉田克朗	650ワットと60ワット	日本の70年代	広島市現代美術館	4/4-7/26
高松次郎	布の弛み	日本の70年代	広島市現代美術館	4/4-7/26
山本容子	Papa's and Mama's 〈JUNE BRAND '75〉	日本の70年代	広島市現代美術館	4/4-7/26
山本容子	Papa Land 〈JUNE BRAND '75〉	日本の70年代	広島市現代美術館	4/4-7/26
山本容子	To the Park 〈JOURNEY〉	日本の70年代	広島市現代美術館	4/4-7/26
ポール・デルヴォー	森	ポール・デルヴォー：夢をめぐる旅	岡崎市美術博物館	4/6-5/26
マン・レイ	レイヨグラフ（PH-137）	〈遊ぶ〉シュルレアリスム	徳島県立近代美術館	4/27-6/30
マン・レイ	レイヨグラフ（PH-138）	〈遊ぶ〉シュルレアリスム	徳島県立近代美術館	4/27-6/30
マン・レイ	レイヨグラフ（PH-140）	〈遊ぶ〉シュルレアリスム	徳島県立近代美術館	4/27-6/30
マン・レイ	レイヨグラフ（PH-142）	〈遊ぶ〉シュルレアリスム	徳島県立近代美術館	4/27-6/30
マン・レイ	レイヨグラフ（PH-147）	〈遊ぶ〉シュルレアリスム	徳島県立近代美術館	4/27-6/30
マン・レイ	レイヨグラフ（PH-148）	〈遊ぶ〉シュルレアリスム	徳島県立近代美術館	4/27-6/30
マルセル・デュシャン	ロト・レリーフ（6枚のディスクのうちの3枚）	〈遊ぶ〉シュルレアリスム	徳島県立近代美術館	4/27-6/30
オーギュスト・ルノワール	三人の浴女	ルノワールと20世紀の画家	国立故宮博物院	5/25-9/8
レオナルド・フジタ	横たわる裸婦と猫	レオナルド・フジタとパリ 1913-1931	熊本県立美術館	7/2-8/25
マン・レイ	レイヨグラフ（PH-137）	〈遊ぶ〉シュルレアリスム	損保ジャパン東郷青児美術 館	7/9-8/25
マン・レイ	レイヨグラフ（PH-138）	〈遊ぶ〉シュルレアリスム	損保ジャパン東郷青児美術 館	7/9-8/25
マン・レイ	レイヨグラフ（PH-140）	〈遊ぶ〉シュルレアリスム	損保ジャパン東郷青児美術 館	7/9-8/25
マン・レイ	レイヨグラフ（PH-142）	〈遊ぶ〉シュルレアリスム	損保ジャパン東郷青児美術 館	7/9-8/25

作者名	作品名	展覧会名	会場	会期(備考)
マン・レイ	レイヨグラフ (PH-147)	《遊ぶ》シュルレアリスム	損保ジャパン東郷青児美術館	7/9-8/25
マン・レイ	レイヨグラフ (PH-148)	《遊ぶ》シュルレアリスム	損保ジャパン東郷青児美術館	7/9-8/25
マルセル・デュシャン	ロト・レリーフ (6枚のディスクのうち3枚)	《遊ぶ》シュルレアリスム	損保ジャパン東郷青児美術館	7/9-8/25
郷倉和子	明	郷倉和子展—心の調べ	富山県立近代美術館	9/21-11/24
パウル・クレー	古代風の二重肖像	詩人の美術—瀧口修造展	天童市美術館	10/3-10/27
イヴ・タンギー	無題	詩人の美術—瀧口修造展	天童市美術館	10/3-10/27
佐藤太清	竹窗細雨	生誕100年・佐藤太清展	板橋区立美術館	10/5-11/10
橋本雅邦	花鳥図	狩野派と橋本雅邦	埼玉県立歴史と民俗の博物館	10/12-11/24
橋本雅邦	長江晴楼図	狩野派と橋本雅邦	埼玉県立歴史と民俗の博物館	10/12-11/24
橋本雅邦	浩月怒涛図	狩野派と橋本雅邦	埼玉県立歴史と民俗の博物館	10/12-11/24
橋本雅邦	月下群雁図	狩野派と橋本雅邦	埼玉県立歴史と民俗の博物館	10/12-11/24
橋本雅邦	大和山水図巻	狩野派と橋本雅邦	埼玉県立歴史と民俗の博物館	10/12-11/24
須田剋太	不協雑音	ゲンビー現代美術懇談会の軌跡 1952-1957	芦屋市立美術博物館	10/19-11/24
須田剋太	作品B	ゲンビー現代美術懇談会の軌跡 1952-1957	芦屋市立美術博物館	10/19-11/24
奥原晴湖	仙境群鶴図	没後100年記念・奥原晴湖展	古河歴史博物館	10/26-12/8
奥原晴湖	溪頭風雨図	没後100年記念・奥原晴湖展	古河歴史博物館	10/26-12/8
奥原晴湖	山風溪雨図	没後100年記念・奥原晴湖展	古河歴史博物館	10/26-12/8
パウル・クレー	古代風の二重肖像	詩人の美術—瀧口修造展	足利市立美術館	11/3-12/23
イヴ・タンギー	無題	詩人の美術—瀧口修造展	足利市立美術館	11/3-12/23
古賀春江	コンポジション	アートが絵本と出会うとき	うらわ美術館	11/16- 2014. 1/19
李禹煥	線より	アートが絵本と出会うとき	うらわ美術館	11/16- 2014. 1/19
佐藤太清	竹窗細雨	生誕100年・佐藤太清展	京都文化博物館	12/22- 2014. 2/9
倉田白羊	六月	日本美術院再興100年・世紀の日本画	東京都美術館	2014. 1/25-4/1
カミーユ・ピサロ	エラニーの牛を追う娘	印象派を超えて—一点描の画家たち	愛知県美術館	2014. 2/25-4/6
佐藤太清	竹窗細雨	生誕100年・佐藤太清展	茨城県天心記念五浦美術館	2014. 3/1-4/13
跡見泰	石川島	光風会と日本の外光派	東京ステーションギャラリー	2014. 3/21-5/6
須田剋太	老人像	光風会と日本の外光派	東京ステーションギャラリー	2014. 3/21-5/6
寺内萬治郎	裸婦 (0-191)	光風会と日本の外光派	東京ステーションギャラリー	2014. 3/21-5/6

資料の貸出点数：2件11点

(映像資料)

関根伸夫	映像版・位相—大地	日本の70年代	広島市現代美術館	4/4-7/26
野村仁	Dec. 1973-Oct. 1974又は視覚のブラウン運動	日本の70年代	広島市現代美術館	4/4-7/26
関根伸夫	映像版・位相—大地	グループ「幻触」と石子順造 1966-971	静岡県立美術館	2014. 2/1-3/23

(図書資料)

作者名	作品名	展覧会名	会場	会期(備考)
横尾忠則(デザイン)	『第6回東京国際版画ビエンナーレ』図録	日本の70年代	広島市現代美術館	4/4-7/26
粟津潔(デザイン)	『季刊藝術』vol. 4, No. 4	日本の70年代	広島市現代美術館	4/4-7/26
粟津潔(デザイン)	『建築文化』vol. 1. 30, No. 341	日本の70年代	広島市現代美術館	4/4-7/26
高松次郎(デザイン)	『季刊藝術』第17号	日本の70年代	広島市現代美術館	4/4-7/26
高松次郎(デザイン)	『季刊藝術』第18号	日本の70年代	広島市現代美術館	4/4-7/26
高松次郎(デザイン)	『季刊藝術』第19号	日本の70年代	広島市現代美術館	4/4-7/26
高松次郎(デザイン)	『季刊藝術』第22号	日本の70年代	広島市現代美術館	4/4-7/26
高松次郎(デザイン)	『季刊藝術』第36号	日本の70年代	広島市現代美術館	4/4-7/26

寄託作品の貸出点数: 3件17点

作者名	作品名	展覧会名	会場	会期(備考)
クロード・モネ	ルエルの眺め(所蔵:丸沼芸術の森)	光の賛歌・印象派展	東京富士美術館	10/22- 2014. 1/5
ウジェーヌ・ブーダン	ノルマンディーの風景(所蔵:丸沼芸術の森)	光の賛歌・印象派展	東京富士美術館	10/22- 2014. 1/5
クロード・モネ	ルエルの眺め(所蔵:丸沼芸術の森)	光の賛歌・印象派展	福岡市博物館	2014. 1/15-3/2
ウジェーヌ・ブーダン	ノルマンディーの風景(所蔵:丸沼芸術の森)	光の賛歌・印象派展	福岡市博物館	2014. 1/15-3/2
田口善国	作品・資料13点(所蔵:伊奈町)	田口善国氏回顧展	伊奈町総合センター	11/9-11/10

■特別利用

写真原板貸出: 21件32点 作品熟覧: 0件 作品撮影: 1件1点 作品模写: 0件

■収蔵作品の紹介

作家名	作品名	発行元等	媒体
カミーユ・ピサロ	エラニーの牛を追う娘	La micro	Cartas 1883-1903. Camille y Lucien Pissarro
小村雪岱	見立寒山拾得	日本経済新聞社	『日本経済新聞』2013年6月16日(日曜版)
レオナルド・フジタ	横たわる裸婦と猫	テレビ朝日映像	複製画(大)、複製画(小)、絵はがき(商品制作)
斎藤豊作	フランス風景 I	Le gazett des art	Le Livre des Artistes Contemporains
小村雪岱	見立寒山拾得	美術出版社	『福井真一 人物を描く』
小村雪岱	見立寒山拾得	小学館	『和楽』2013年11月号
小村雪岱	筑波	小学館	『和楽』2013年11月号
クロード・モネ	ルエルの眺め	東京富士美術館	絵はがき(商品制作)
小村雪岱	おせん	デジタルSKIPステーション	彩の国ビジュアルプラザ映像公開ライブラリー一冊子
横山大観	朧月	デジタルSKIPステーション	彩の国ビジュアルプラザ映像公開ライブラリー一冊子
小村雪岱	春告鳥 *寄託作品	集英社	『漂砂のうたう』
小茂田青樹	春の夜	サン・アート	『月刊美術』2013年11月号
オーギュスト・ルノワール	三人の浴女	茶の湯同好会	『茶の湯』2013年12月号
レオナルド・フジタ	横たわる裸婦と猫	小学館	『藤田嗣治画集』
平田五郎	Mind Space—光の部屋	東京美術倶楽部	『日本の20世紀芸術—明治以後』
森田恒友	山村早春	東京美術倶楽部	『日本の20世紀芸術—明治以後』
小村雪岱	見立寒山拾得	東京美術倶楽部	『日本の20世紀芸術—明治以後』
須田剋太	作品 1963g	東京美術倶楽部	『日本の20世紀芸術—明治以後』
須田剋太	作品A	東京美術倶楽部	『日本の20世紀芸術—明治以後』
吉田克朗	650ワットと60ワット	東京美術倶楽部	『日本の20世紀芸術—明治以後』
作者不詳	春陽会チラシ	東京美術倶楽部	『日本の20世紀芸術—明治以後』
橋本雅邦	長江晴楼図	学研	『ニューワイド学研学習百科シリーズ』
今野忠一	山湖浅春	自费出版	『今野忠一 自然観想に生きる』
今野忠一	北睡	自费出版	『今野忠一 自然観想に生きる』

作家名	作品名	発行元等	媒体
小村雪岱	青柳	小学館	『日本美術全集 第17巻 前衛とモダン』
奥原晴湖	仙境群鶴	古河歴史博物館	『古河歴史博物館研究紀要 泉石』第11号
クロード・モネ	ジヴェルニーの積みわら、夕日	光村図書出版	平成28年度中学校美術科教科書
高田誠	松原湖辺	玲風書房	『信州風景万華鏡』
斎藤豊作	雪後の夕	一枚の繪	『一枚の繪』2014年5月号
斎藤豊作	フランス風景Ⅱ	一枚の繪	『一枚の繪』2014年5月号

■作品撮影

作家名	作品名	申請者
佐藤太清	竹窗細雨	生誕100年佐藤太清展実行委員会

■教育・普及事業

■美術館講座

■近・現代建築探検ツアー

■開催趣旨

鑑賞の対象を建築領域にまで広げ、建築家と作品をよりよく知ろうとする講座である。

建築鑑賞の面白さは、現地を実際に訪れ、その場所を知り、建物を見て、その機能を確認しながら建物の内部に入って、空間を体感することにある。この講座では、初回到講義で作家や作品の時代背景や鑑賞する上でのヒントを得、建築の見方の基本を学び、2回目には実際に建築を現地に訪ね、作家のコンセプトを中心にその表現や方法を探ることとしている。鑑賞だけにとどまらず、建築をめぐるさまざまな問題にも眼を向けていきたいと考えている。

■県内版

見学会：2013年5月18日(土) / 講師：内田青蔵(神奈川大学教授) / 見学箇所①旧石川組製糸西洋館②遠山記念館 / 参加者26名。

■都内版

講義：2014年3月1日「外国人建築家の系譜」 / 講師：米山勇(建築史家) / 参加者：26名。

見学会：2014年3月8日(土) / 講師：米山勇(建築史家) / 見学箇所：①スペイン大使館②大倉集古館③ホテルオークラ東京 / 参加者：25名。

■広報記録

・告知：『ぼど』2013年4月12日号 / 『彩の国だより』2014年1月号

■担当後記

<県内版>

◆県内の名建築として取り上げるとすれば、洋館は川口の旧田中家住宅、そして入間の西洋館、和風の建築とすれば遠山記念館になるだろう。実はこの二つの建築に携わっているのが室岡惣七という県内生まれの建築家。今回の県内のツアー、その室岡惣七に焦点をあて構成した。

◆入間市博物館研究紀要第9号に掲載された斉藤主幹の研究論文は貴重で入間の西洋館だけでなく、室岡惣七に関するところでも参考にさせていただいた。

◆占領下に西洋館は進駐軍の住居として利用されたが、その際、建物のベランダや床の間に改修がなされ、残念ながらそのつめ跡が残されていた。

◆遠山記念館では御好意で二階の応接室をツアーのために特別に開放していただいた。豪華な応接セット、窓、欄間等、賓客対応の間として華麗で参加者一同感激していた。また久保木学芸員の案内は非常に詳しくかつ丁寧

で素晴らしかった。

◆遠山記念館の建築素材は吟味を重ね、また建築技法も巧緻で、全体が和風建築の粋とでもいべきもので、研究者はもとより現場で和風建築に携わる関係者の多くが見学を訪れるという。

◆入間と川島町は大分離れており、二つの建築を一度に訪ねるには車の足が必要である。今回は事業を提携している埼玉大学の御好意により、バスで巡ることができた。
<都内版>

◆六本木周辺には大使館が多い。以前、神谷町のオランダ大使館を訪ねており、同一の設計者であるガーディナーの設計したスペイン大使館を訪問の対象に計画してみた。

◆大使館を見学するにはそれなりの理由が必要である。リニューアルオープンの最初の展覧会がスペインとの交流400年を記念した「ピカソの陶芸」展。そこで大使館との展覧会の折衝時に担当者と同行、文化参事官に交渉して快諾が得られた。

◆付近にあるスペイン大使館と同じ年に竣工した大倉集古館。さらに道を挟んだ谷口吉郎のホテルオークラのメインロビーも見学対象に加えた。ホテルオークラのメインロビーは和モダンの建築としてメディアでも取り上げられている。切子を応用した「オークラ・ランタン」の灯、雪見障子と麻の葉の組子の組み合わせはシルエットの妙もあり見事。伝統の援用が谷口の手にかかるのかくも美しい空間になるのである。

◆ホテルの好意で貸出の合間にホテル内にある茶室「聴松庵」を見学。特に外国の宿泊客には好評であるという。
(伊豆井秀一)



旧石川組製糸西洋館



スペイン大使館

■子どものためのプログラム

■アートフル∞プログラム「MOMASの扉」

0. 「MOMASの扉」とは

2010年4月から新しくスタートした教育普及プログラム。美術館という場所を舞台に、関わる人全て（参加者、美術館スタッフ、ボランティア）が一緒になって美術館での体験を共有することにより、ひとり一人の新しい次元の扉が開き、芸術文化を共に創造する機会が充実することを目的としている。

開催日は毎週土曜日。美術館での“できごと”を楽しむというコンセプトで運営し、平成25年度は8種類の内容を行った。参加者の年齢層は幼児（4才）からお年寄りまで幅広い。

1. MOMASコレクション みる+つくる

MOMASコレクションや美術館の建物などを小グループでまわり、参加者同士の対話を楽しんで作品の鑑賞を行う。その後、鑑賞をもとにした簡単な制作を楽しむプログラムを実施した。対象枠：小・中学生

- ・「鑑賞からつくる」4月13日／参加者：17名。
- ・「会話（おしゃべり）」6月15日／参加者：24名。
- ・「いろいろな角度から見てみよう」7月6日／参加者：24名。

2. MOMASコレクション 親子クルーズ

MOMASコレクションや美術館の建物などを小グループでまわり、親子で鑑賞をする。その後、鑑賞をもとにした簡単な制作を親子で楽しむプログラムを実施した。対象枠：小・中学生+親

- ・「ピカソで似顔絵」4月27日／参加者：31名。
- ・「消しゴム点描」6月8日／参加者：29名。

3. 企画展物語 みる+つくる

企画展会場で、展示会の魅力や楽しむためのヒントをわかりやすく紹介するプログラム。鑑賞の後に簡単な制作を行うプログラムを実施した。対象枠：小・中学生。

- ・「展示の中のつながり探し」4月20日／参加者：25名。

4. 企画展物語 親子クルーズ

企画展を親子で楽しむプログラム。作品の魅力を紹介し、親子で鑑賞した後、簡単な制作を行うプログラムを実施した。対象枠：小・中学生+親

- ・「親子で木村直道探し」5月11日／参加者：20名。
- ・「思い出を閉じ込める」7月20日／参加者：17名。
- ・「浮遊するデザイン」8月24日／参加者：20名。

5. み〜つけ！

美術館のでできごとを、体いっぱい楽しむプログラム。美術館や公園などの環境を生かし、発見をテーマに実施した。対象枠：幼児（4才～6才）とその親

- ・「顔をつくろう！」5月25日／参加者：32名。
- ・「でたっ！」7月13日／参加者：40名。

6. 工房

美術館ならではの制作を中心としたプログラム。じっくり制作に取り組んだりみんなで一緒に活動したりして、ワークショップを展開した。対象枠：小学生～一般

- ・「写真（手作り箱カメラ）」5月28日／参加者：29名。
- ・「つまかさねる くみあわせる おおきくなる」6月22日／参加者：28名。

7. アート★ビンゴ

9つのクイズを解きながら、美術館を気軽に楽しむ鑑賞プログラム。参加者は1階ロビーでビンゴ・シートを受け取り、館内外を巡りながらクイズを解く。最後にスタッフと一緒に答えを確認し、正解が多ければスタンプがもらえる。リピーターも多く、子どもたちや家族に人気のプログラムである。対象枠：どなたでも／4月6日、5月4日、6月1日、6月29日、7月27日／参加者：計376名。

8. サマー・アドベンチャー

夏休み限定の特別企画。県民の方が美術館での活動に参加することによって美術の価値を見出す機会を提供する、スペシャル・プログラムである。

- ・「身近なものが生き物に変身！」8月3日／講師：富田菜摘（美術家）／参加者：120名。
- ・「せんとくバサミで絵を描こう！」8月10日／参加者：84名。
- ・「親子でペーパーキルト動物王国」8月17日／講師：テツ山下（画家・デザイナー）／参加者：176名。
- ・「座れる段ボールの椅子大集合！」8月31日／参加者：123名。



富田菜摘氏のプログラム。ご自身の作品を紹介

9. さいたま市浦和区内公民館での出張MOMASの扉

改修工事による休館に伴い、さいたま市浦和区内の公民館の力を借りて出張ワークショップを行った。当館の収蔵作品を鑑賞し、その後親子で制作を行い楽しんだ。

対象枠：小・中学生＋親

・「おしりでアートを楽しもう！」10月5日 岸町公民館、11月2日 北浦和公民館、11月16日 南箇公民館、11月30日 常盤公民館、1月18日 領家公民館、1月25日 針ヶ谷公民館／参加者：74名。

「ゆれる光と影をつかまえよう！」10月12日 浦和南公民館、10月26日 針ヶ谷公民館、12月7日 岸町公民館、12月21日 常盤公民館、1月11日 本太公民館／参加者：60名。



瑛丸のフォトデッサンの作品の鑑賞をもとに、コピー・アートペーパーを使って制作

■夏休みの特別プログラム

1. 夏休みMOMASステーション

夏休みに美術館を訪れる子どもたちの美術館体験が豊かなものになるようサポートするコーナーを設置した。相談員は教育普及サポート・スタッフが交代で行い、美術館の案内や資料の配布、美術館見学の宿題の相談に応じた。教育普及研究員が美術館の楽しみ方を紹介するジュニア・ガイドを作成したり、教員によるレポート例の特別掲示版を作成したりして、子どものサポートを充実させた。7月20日（土）～8月31日（土）の休館日以外の毎日／エントランス／対応数：計3,784名。

2. 鑑賞ツアー

夏休み期間中に3日間限定で30分のミニ・ツアーを行った。館職員と教育普及サポート・スタッフの有志がファシリテーターとなり、ツアーの運営にあたった。美術に興味のある人と一緒に美術館を巡ることで、美術の楽しみ方を体験的に学ぶことができる機会を提供することができた。／7月26日、8月2日、8月9日の3日間／対応数：計162名。



サポート・スタッフによる鑑賞ツアーの様子

■広報記録

<新聞>

・『東京新聞』2013年8月21日

・『朝日新聞』2013年9月1日

<雑誌、ミニコミ誌等>

・山水明「埼玉県立近代美術館通信63 富田菜摘《今日子》」『サラダハウス』2013年8月号

・「埼玉県立近代美術館 感性や創造力を育てよう」『ぴあ こどもとおでかけ 遊んで学ぼう夏（埼玉版）』2013年6月13日発行

・「土曜のイベントに参加して美術館デビュー」『まっぷる 家族でおでかけ夏号』

・告知：『ぼど』2013年4月12日号／『ぼど』2013年4月26日号／『ぼど』2013年6月14日号／『NISSAN おまかせ Car Life 美術館をまるごと楽しむドライブ』2013年夏号／『J:COMクーポン』2013年9月号／『南箇公民館だより』2013年10月号／『南箇公民館だより』2013年11月号

■担当後記

◆「MOMASの扉」の実施、4年目を迎え、各プログラムの内容が参加者に定着してきたと言える。また、参加者のニーズに合わせ、制作をプログラムの中に入れたことが浸透し、リピートしてくれる参加者が増えた。しかし、キャンセルや当日欠席が多く、定員割れすることもあったので、今後も定員以上の申し込みを受け付けて対応したいと考えている。

◆今年度は後半の半期が改修工事のため休館となり、当館でのワークショップ実施ができなくなったため、残念がる参加者の姿が多数見られた。次年度も半期休館が分かっているため、当館以外で行うワークショップの広報を早めに行い、他施設でのワークショップにもぜひ、参加してもらいたいと考えている。（田中耕次）

■ミュージアム・コラボレーション

埼玉大学と埼玉県立近代美術館が共同で子どものための事業を行うもので、主として土曜日の教育普及プログラム「MOMASの扉」を運営している。教員等を目指す学生が積極的に参画することで、学生は現場での実践力を身につけることができる。また美術館にとっては、こうした事業を通じて子どもの目線に立った作品鑑賞を充実させることができるとともに、新たな切り口の鑑賞プログラムを開発できるメリットがある。

■担当後記

◆平成25年度の学生の登録は8名。学生が主となり運営したプログラムは「公民館でのプログラム」5回である。美術館・大学・学生が三位一体となって、連携を密にとりながらの協働が実現できた1年であった。

◆「ミュージアム・コラボレーション」の授業を継続受講する学生が多く、新入生をうまくリードしながら学生グループ内の運営も順調に進んだ。また、演習を重ねることによって、計画の立て方や運営の仕方も徐々に身についてきた。美術館職員の考えたプログラムをもとに、学生の考えを盛り込むことでより魅力的な内容となり、参加者が楽しむことができた。来年度は休館中を利用して、埼玉大学でワークショップを行う予定である。ホームグラウンドの利点を生かして、内容の充実が期待できると考えている。(田中耕次)



埼玉大学の学生による作品鑑賞

■企画展ワークシートの作成

企画展の特徴をわかりやすく紹介するため、主にセルフガイド型のペーパー・アイテムを作成している。会場で無償配布するほか、学校団体や子どものためのプログラムなどでも幅広く活用している。県内全ての小・中学校、また必要に応じて高校、図書館、公民館にも配布する広報資料であり、また学校では、鑑賞学習の指導者側のツールとしても用いられ、来館前の事前学習に大いに役立つこともある。

平成25年度は次の2種を作成した。

- ① 「アート de オリエンテーリング」(たまもの) / 作成：山水明



「たまもの」ワークシート表面

- ② 「このイスをジューッと見てみよう / 『浮遊するデザイン』(浮遊するデザイン 倉俣史朗とともに) / 作成：田中耕次



「浮遊するデザイン 倉俣史朗とともに」ワークシート表面

■学校との連携

■企画展ガイド・ツアー（教員向け鑑賞会）

学校教員を対象に、企画展の鑑賞と解説を通して美術館の利用促進と鑑賞教育への関心を高めてもらうことを目的に、各企画展で1回ずつ実施した。

プログラムは、①学校で美術館を利用するための利用方法などの紹介、②企画展担当学芸員による展覧会解説と鑑賞、③企画展関連情報提供、という流れで行った。

- ・「たまもの」展／5月2日（木）／参加者：14名。
- ・「倉俣史朗」展／7月12日（金）／参加者：10名。



「倉俣史朗」展の鑑賞会の様子

■美術館利用研究会

学校における美術館の利用を率先して考える研究会として教員12名を委嘱し、年間12回の研究活動を行った。

委嘱研究員：佐藤直子（さいたま市立大宮南小学校）、鈴木裕美（三芳町立三芳小学校）、後藤保紀（小平市立小平第十小学校）、安田敦子（熊谷市立大幡中学校）、浅沼夏菜（戸田市立喜沢中学校教諭）、高田悠希子（和光市立和光第二中学校）、宮地和加菜（さいたま桜高等学園）、三木綾香（埼玉県立芸術総合高等学校）、島田温子（白岡市立南中学校）、草野いずみ（志木市立宗岡第二小学校）、小泉朋子（所沢市立所沢中学校）、高柳由美（志木市立宗岡第二小学校）。

研究活動：今年度は当館の所蔵作品《ジヴェルニーの積みわら、夕日》／クロード・モネの複製画の活用促進を図るため、複製画を使った学校での鑑賞授業プログラムの作成を行った。美術館で行う研究を基本として、検証のために志木市立宗岡第二小学校の3年生の学級において検証授業を行った。発達の段階に合わせて授業を構成したので、児童は作品をじっくり見て、じっくり考える良い授業となった。今後は、当館のホームページに授業案を掲載し、気軽に複製画を借りて授業ができるよう

にしたいと考えている。また、当館所蔵のグッド・デザインの椅子を用いた研究授業も行い、授業協力の内容の充実を図ることができた。



グッド・デザインの椅子を用いた授業の様子

■担当後記

◆今年度も研究員が各学校でプログラムのシミュレーションをしつつ研究を進めた。その甲斐あって、説得力のある内容にまとめることができた。今後も、継続していきたいと考えている。

◆次年度は研究員の希望する研究主題を聞き取り、より能動的な研究会となるように年度末に話し合いを行いたいと考えている。
（田中耕次）

■教員美術講座

- ・第1回教員美術講座「座れる段ボールの椅子を作るには」／6月1日（土）／講師：高須賀昌志（埼玉大学教授・デザイナー）／参加者：55名。
- ・第2回教員美術講座「デジタルカメラ三題材！」／8月16日（金）／講師：三澤一実（武蔵野美術大学教授）／参加者：28名

■担当後記

<第1回「座れる段ボールの椅子を作るには」>

◆今年度、小・中学校、高等学校、特別支援学校の児童生徒を対象に、「座れる段ボールの椅子グランプリ」を開催した。それに先立ち、当グランプリの審査委員を務める埼玉大学教授の高須賀昌志氏を講師にお招きして、本講座を開催した。グランプリ参加校の生徒を交えて、段ボールという素材の特徴をはじめ、加工方法によって強度が変わることや、素材から発想し、実際に形にしているプロセスを段ボールを使った創作体験を通して学ぶ時間となった。



第1回教員美術講座 講評会の様子

◆下半期に実施してきた第2回教員美術講座が、「出張に出にくい」という学校現場の状況もあり、参加者が減少してきたため、今年度は6月の土曜日に開催した。参加者へのアンケートでも、この時期の土曜日開催を歓迎する結果が出ており、今後も継続してこの時期に開催していきたい。

内容に関しても、教育におけるイメージをどのように生み出すかという発想・構想に関して示唆に富んだ内容であったという感想が寄せられた。(山水 明)

◆参加者の感想 (抜粋)

- ・浮かんだイメージから、何を大事にして何を捨てるか。1回でいいものを作ろうと思ったらムシが良すぎる。実際の材料で作ってみるのが一番の近道。といったことが段ボールとの格闘の中で感じ取ることができた。(小学校教諭)
- ・段ボールについてだけでなく、結果よりもプロセスが大切であるといったデザインや美術に対する講師の方の考えを聞くことができてよかった。(中学校教諭)
- ・一つのを生み出すためのプロセスや考え方のヒントをたくさんいただきました。学校で本日学んだことをさらに発展させていきたいと思います。(高等学校教諭)
- ・とても中味が濃く、ためになる講座でした。次回もまた受けてみたいです。(高等学校生)

<第2回「デジタルカメラ三題材！」>

◆武蔵野美術大学の教授である三澤一実氏を講師に招聘し、授業ですぐに使えるデジタル・カメラを活用した題材を紹介、体験する講座として設定した。当日は、針金を芯材とした人体を手軽に制作し、作品にぴったりの場所を公園内で探して撮影する「ハリガネ・クロッキー」や暗闇でLEDライトを使って絵を描く「ライト・ドローイング」、お気に入りの作品を動画で紹介する「デジカメ鑑賞」を学ぶことができた。今までにないような内容の題材を扱っていただき参加者にも喜ばれ、ニーズに合った有意義な講座になった。(田中耕次)

◆参加者の感想 (抜粋)

- ・鑑賞活動を取り入れ、感覚だけでなく思考力・判断力を必要としているので、子どもたちが夢中になってできる活動内容だと思いました。デジタル機器を取り入れて、楽しい授業を行っていきたいと思った。(小学校教諭)
- ・題材それぞれの重要なポイントがとても参考になりました。シンプルでわかりやすく、伝えやすいと感じました。また、他の参加者の作品を見ることで、学べるものがたくさんあることに気付きました。(高校教諭)
- ・盛りだくさんな内容で、大変充実していました。自分自身の視覚を可視化し客観視できることは、俯瞰的な見方、考え方を手に入れるひとつの方法だと思いました。(中学校教諭)



第2回教員美術講座の様子

■その他の学校連携事業

学校との連携を図る活動として、以下の対応も行った。

<学校団体の受け入れ>

美術作品の鑑賞を目的として来館した学校等の園児・児童・生徒・学生を対象に、対話による鑑賞をしながら展示室や館内を案内した。初めて美術館に来館したり、本物の作品にふれたりする子どももいて、美術への関心を高めることができた。利用団体に行ったアンケートの結果も良好である。今年度は、下半期に改修工事により閉館した。そのため小学校団体の利用が例年に比べ少なくなった。夏休みの中学校部活動による利用は多かった。／学校団体対応数：65校1761人。



中学校団体利用の様子

<授業協力>

今年度は、改修工事による休館期間があるため、学校との連携強化と当館広報活動として、より積極的に実施した。依頼を受けた学校に赴き、収蔵作品の複製画や鑑賞キットを使って鑑賞の授業を行った。授業を通して、美術館や作品、作家への興味をもたせるきっかけとなった。／授業協力数：県内小・中学校、高等学校54校。



授業協力の様子

<複製画等の貸し出し>

教師が授業で活用できるよう、美術館にある複製画や鑑賞キット、アートカードなどを貸し出した。ピカソ、小茂田青樹、モネ、ピサロとアート・カードを中心に活用されている。毎年、継続して利用する形が多い。／貸出数：35件。

<座れる段ボールの椅子グランプリ>

学校との連携強化と、創造力と創意工夫する力の育成を目的に、県内小・中学校、高等学校、特別支援学校の児童、生徒を対象に本事業を開催した。段ボールのみを素材に、大人が座ることができる椅子を3人以上のグループで制作して応募するコンクール形式で実施し、19校、49グループが参加した。(詳しくはP. 103-4を参照)

<職場体験の受け入れ> / 対応数：2校。

■ミュージアム・キャラバン事業

学校連携を深めるとともに、当館収蔵作家を学校に派遣し、美術家としての生き方や考え方をはじめとして、美術の世界について鑑賞や創作体験を通して小中学生に伝えることを目的に本事業を実施した。今年度は、高田洋一氏を講師に迎え、氏の作品の鑑賞も交えながら空気を材料にしたアート体験プログラムを提供した。

- ・1月30日(木) さいたま市立日進北小学校 6年生/160名。
- ・2月15日(土) 朝霞市内中学校美術部/79名(大雪のため中止)。



さいたま市立日進北小学校での活動の様子

◆参加者の感想(抜粋)

- ・今日のアート体験はとても楽しく、いつもとはちがう考え方をして作品を作れました。私は、今日のこの時間を大切にして、これからの図工を見直してみたいと思います。(小6女子)
- ・すごく楽しかったです!「空気」を使って工作するのは初めてだったし、面白かったです。すごく美術やアートに興味を持ってました。美術館に行ってみたいです。(小6男子)
- ・教員にとっても、美術に対する目を開かせてくれるものでした。ぜひ来年も継続して実施していただければありがたいです。(学校長)

■担当後記

- ◆高田氏による作品の紹介や、その考え方を聞き、創作活動を体験することで、参加した児童にとって「美術が本来持っている自由な発想や、試行錯誤することの楽しさ」を実感する時間となった。
- ◆今年度は、下半期に改修工事があり休館となるため、その期間を利用して本事業を実施した。県内学校との連携強化と当館の広報活動を兼ねて実施したが、教員や児童からのアンケート結果からその効果が十分にあったことが分かる。また、今後も継続した実施を望む声もあり、検討していきたいと考えている。

今年度は、改修工事に伴い9月以降の団体利用の受け入れができなかった。次年度も同様であるため、学校連携が改修工事で降も継続するようにするため、授業協力をはじめとした休館中も継続可能な事業に力を入れたほか、「座れる段ボールの椅子グランプリ」、「ミュージアム・キャラバン」といった学校との連携強化を図るための事業も実施した。実施校の児童、生徒、教員からは、今後も継続して欲しいといった声や、授業協力で紹介した作品を美術館でぜひ見てみたいといった声も聞かれ、一定の効果があつたと感じている。(山水 明)

■博物館実習

「埼玉県博物館等の博物館実習生受入要項」に基づき、下記の9大学12名の実習生を受け入れ、全7日間の日程で実施した(学習院大学、埼玉大学、聖徳大学、帝京大学、東京造形大学、日本大学、日本女子大学、武蔵野美術大学、明治学院大学)。例年、20名を超える応募があるが、今年度は少なかった。

学芸員および担当職員による講義中心の合同実習を4日間、担当学芸員のもとテーマに応じた実務を行う個別実習を3日間行った。

■合同実習

講義、実技、講話などを中心に職員、学芸員が講師として指導した。

・7月23日(火) 開講式、オリエンテーション、館内外施設見学、学芸の仕事、管理の仕事、美術資料の収集と保存について、MOMASコレクションについて、彫刻メンテナンスについて。

・7月24日(水) 彫刻の取り扱い(洗浄)、図書の取り扱い、SMFについて。

・7月25日(木) 企画展の概要、企画展の実務について、「倉俣史朗」展見学、美術館サポーターと教育普及サポートスタッフ・学校連携について、MOMASの扉・大学連携について、版画の取り扱い。

・7月26日(金) 新採用の学芸員から、これからの美術館について、油彩画の取り扱い、日本画の取り扱い、広報と刊行物について。

■個別実習

例年通り、各実習生の研究テーマや関心領域に応じて学芸員が1~2名の実習生を担当し、実務の実習を行った。実習日は担当学芸員と実習生の相談により決定し、展示作業、発送、資料整理、ワークショップ運営、ワークショップ作成などに実際に参加してもらった。原則として8月中に3日間の実習を行った。

■美術館ボランティア

■美術館サポーター

美術館サポーター（ガイド・ボランティア）は、毎日14時から30分程度（展示替え後は除く）、常設展示室で解説ガイドを行っている。その活動は美術館を代表するひとつの顔となりつつあり、各方面からの取材や関心も高く、来館者もリピーターが増え、美術館を身近なものにしてくれている。25年度の登録人数：34名（男性7名、女性27名）。

■研修日程

- 4月27日（土）クロストークシリーズ1: オブザーバー 前山学芸員
- 5月25日（土）クロストークシリーズ2: オブザーバー 大越学芸員、吉岡学芸員
- 6月22日（土）学芸員と話すシリーズ：大浦学芸員
- 7月27日（土）講演：加納光於氏
- 8月24日（土）ギャラリーからの質問をきっかけに。情報交換会
- 9月28日（土）館外研修：東京国立近代美術館「竹内栖鳳展」
- 10月26日（土）館外研修：画廊回り（台風のため中止）
- 11月23日（土）館外研修：神奈川県立近代美術館 鎌倉館「加納光於展」
- 12月14日（土）館外研修：近況報告、情報交換会
- 1月26日（土）館外研修：国立西洋美術館ガイドボランティアの方との情報交換会
- 3月29日（土）年間総括。新常設展示室紹介、第1期作品解説会：梅津学芸員



11月の館外研修「神奈川県立近代美術館 鎌倉館」の様子

■担当後記

- ◆今年度も、美館サポーターからの要望をもとに研修会を実施した。半期休館ということもあり、館内で研修会が難しい9月以降は、館外研修を中心に実施し、他館ガイドボランティアとの交流会をはじめとした他館視察と、収蔵作家作品に対する見識を広めるよう努めた。
- ◆今年度は、和光市のサンアゼリア、県立歴史と民俗の

博物館において、収蔵作品の移動展を行った。それに伴い、各会場において美術館サポーターによるガイドを実施した。広く県民に、当館作品を紹介する機会であるとともにサポーターのガイド活動を紹介する好機ともなった。

- ◆運営面ではメーリングリストを効果的に活用し、当番の割り振り作業に報告・調整を加え、毎月1回の月例会前にスケジュールを完成させるよう努めていただいた。

（山水 明）

■教育普及サポート・スタッフ

当館の教育普及事業をサポートするボランティア・バンクとして、学生や教員、一般まで幅広く募集している。美術館への関心の高さとともに、バンク登録者にとっては社会貢献への位置づけとなっている。1年更新で、平成25年度の登録人数は114名。

■研修日程

- ・第1回「美術館の概要と子どもの鑑賞活動について」／6月21日（金）、6月23日（日）。
- ・第2回「美術館の目的と収蔵作品、平成25年度の活動内容と運営計画について」／6月28日（金）、6月30日（日）。
- ・ガイドスタッフ特別研修「ガイドスタッフの役割と対話型鑑賞について」／7月5日（金）、7月7日（日）。

■担当後記

- ◆4年前からスタートさせた夏休みの鑑賞ツアーは、昨年度の反省を生かして早めの広報を行うことで多くの参加者を募り、ガイドをするサポート・スタッフの活躍できる場を設定することができた。ガイドにかかわるサポート・スタッフの人数も増え、中学校の美術部を中心に多くの参加者があった。来年度も継続していきたい。
- ◆継続登録のスタッフも増え、順調に登録数を増やすことができた。埼玉大学や東京家政大学、埼玉学園大学の年度当初のガイダンスに参加し広報を行うことによって、大学生スタッフの数も増やし、各大学との連携も深めていきたい。

（田中耕次）



サポート・スタッフの研修

■MOMAS彫刻ボランティア

埼玉県立近代美術館(MOMAS)彫刻ボランティアは、発足10周年を迎えることができました。春から秋にかけて北浦和公園内に設置された当館所蔵の彫刻作品の洗浄・ワックスがけを行い、冬期には研修会を開催して、彫刻を通じて芸術に関するさまざまな啓発・発信活動を自立的に行う人材の育成を目指している。

活動は例年どおりに、野外彫刻の洗浄を中心とした。大規模改修工事が年度後半に予定されていたため、毎年10月に行っていた恒例の親子対象の洗浄ワークショップ「彫刻あらいぐま参上！」を、開館中の5月に繰り上げて開催した。登録者数16名。

■活動概要

- ・5月19日(日)／ワークショップ「彫刻あらいぐま、今年は5月に参上！」
- ・8月18日(日)／特別研修会 建帛哲館長による講話
- ・9月27日(土)／特別研修会「ボテロ《横たわる人物》のスクラッチ補正、ワックス調色作業の見学・作業補助とレクチャー『屋外ブロンズ彫刻のメンテナンスについて』」／講師：黒川弘毅(彫刻家・武蔵野美術大学教授)、篠崎未来(屋外彫刻調査保存研究会)
- ・1月19日(日)／特別研修会「彫刻家・橋本真之氏のアトリエ見学」／講師：橋本真之(彫刻家)
- ・2月16日／特別研修会「朝倉彫塑館見学」／講師：戸張泰子(台東区立朝倉彫塑館学芸員)

■担当後記

◆本年度は雨天のため洗浄できなかったことがあったが、ブロンズ彫刻のワックスがけなどは無事行うことができました。

◆恒例の親子参加のワークショップ「彫刻あらいぐま、今年5月に参上！」は、タイトルの通り5月に開催した。今回の参加者は親子7組の計20人。野外彫刻クルーズのあと、恒例のボテロ《横たわる人物》と橋本真之の《果実の中の木もれ陽》に加えて、今回は上記2点の中間地点に設置されている作品である柳原義達のハトとカラス、高岡典男の石彫作品を対象に洗浄を行った。洗浄作業後は講座室に移動して記念写真、修了証をプレゼントした。

◆9月の研修会は、彫刻家・武蔵野美術大学教授の黒川弘毅氏を講師にお招きしてのボテロ《横たわる人物》の補修を行った。作品にスクラッチ(ひっかき傷)がついてしまっており、これについて目立たないようにする措置を行った。彫刻の素材と汚れの関係についてロジカルで整然とした説明を聞くことができ、普段行っているメンテナンス手法の根拠などの理解が深められてボランティアには大変好評だった。ところが補修後何日もたたない

うちに、今度は作品の一部に熱が原因と思われる変色を被ってしまった。意図しない事故によるものなのか、故意のいたずらなのかはわからず仕舞いであったが、ボランティア・当館職員ともども残念な思いにかられた事件だった。

◆1月の研修会では、収蔵作家で県内在住の彫刻家・橋本真之氏のアトリエを訪問した。見学がてらに、ボランティア一同でアトリエを埋め尽くしている鍛金作品を庭に移動して、制作スペースの改善に協力できたことは大変よい経験だった。作家が制作にかける時間と努力の「重さ」を実感できた。その後、上尾市内のギャラリー緑隣館のご厚意でギャラリー・スペースを会場に橋本氏の話聞くことができ、充実した研修会となった。

◆2月の研修会では、改修を終え再オープンした台東区立朝倉彫塑館を訪問した。学芸員・戸張氏の案内で館内を見て回り、改修のポイントや朝倉文夫の生涯について理解を深めることができた。同館見学後は有志で近くの谷中銀座をぶらりと歩き、これも楽しい経験となった。改修中には収蔵庫などを特別に見せてもらっていたこともあり、同館には彫刻ボランティアは創立以来大変お世話になっている。記して御礼申し上げます。(渋谷 拓)



特別研修会「ボテロ《横たわる人物》のスクラッチ補正、ワックス調色作業の見学・作業補助とレクチャー『屋外ブロンズ彫刻のメンテナンスについて』」。彫刻のメンテナンスについて黒川氏から講義を受ける。

■広聴・広報・刊行物

■広聴

1. アンケート調査

企画展、MOMASコレクションともに、毎回会場出口でアンケート調査を実施し、来場者の声を聴いた。

- ・企画展調査：「たまもの 埼玉県立近代美術館大コレクション展」4月26日～5月19日の23日間。回答数：222／「浮遊するデザイナー－倉俣史郎とともに」8月8日から8月31日の21日間。回答数：294。
- ・MOMASコレクション調査：「I」4月26日から5月12日の16日間。回答数：297／「II」8月13日から8月18日の6日間。回答数：269。
- ・「美術館にひとこえを！」と名づけたアンケート用紙を1階ロビーに常備し、来館者の声を聴いた。質問や要望の内容によっては回答をさしあげている。また、美術館講座やMOMASの扉、ミュージアム・コンサートなどでもアンケートを実施した。

2. その他

- ・当館への問い合わせ等はインターネットでも受け付けており、随時回答をさしあげている。
- ・近隣町内会や商店会の代表者の方たちと定期的に催しの情報交換をし、美術館に対する要望をうかがったり広報協力をお願いしたりする機会としている。

■広報

1. 印刷物の配布

- ・企画展毎に、それぞれのイメージに即したデザインによるポスター、ちらし、ワークシート等を作成した。MOMASコレクションでは昨年に引き続き、イメージを統一したB1・B2ポスターを会期ごとに作成し、北浦和公園や館内各所に掲出した。こうしたポスター類や道案内は、JR東日本大宮支社のご協力を得て、最寄りのJR北浦和駅構内にも設置している。その他、美術館講座や学校向けの利用案内などは手づくりのちらしを作成した。
- ・以上の印刷物や美術館広報誌『ソカロ』、『ミュージアム・カレンダー』を、関連機関、協力ポイント、県内の情報拠点やすべての小、中、高、特別支援学校、全国美術館等に配布した。また、新聞、雑誌、テレビ等各種の媒体を活用し、広報に努めた。

2. ホームページ

埼玉県立近代美術館は、独自サーバでホームページを運営してきたが、5月17日にホームページの改ざん被害を受けたため、よりセキュリティ体制が整備されている

彩の国県立学校間ネットワークシステムにサーバを移転した。また、これに併せてホームページのメニューや掲載内容等の整理・修正を行った。

アドレス：<http://momas.jp/>

情報項目：お知らせ(ニュース、ソカロ)、利用案内(利用案内/交通案内、フロアガイド、美術館概要、一般展示室/講堂)、展覧会(企画展、MOMASコレクション、一般展示室)、イベント(イベントカレンダー、年間スケジュール)、教育普及事業(MOMASの扉、学校と美術館、彫刻あらいぐま、近現代建築探検ツアー)、もっと楽しもう(収蔵品紹介、今日座れる椅子、図書室、北浦和公園・野外彫刻、お得な情報、ファミス、ミュージアムショップ、レストラン・ペペロネ)、今日座れる椅子、子どものプログラム、利用案内/交通案内、ミュージアムショップ、リンク、サイトマップ、English

3. ツイッター

2011年7月よりツイッターを開始し、企画展の情報を中心に1日1回程度、美術館の情報をつぶやいている。また、情報収集の手段として、リスト機能を利用して他館のツイート、検索機能を利用して当館や企画展、北浦和公園に関する一般の方のツイートを見るために利用している。フォロワー数は5,000人を超え、順調に伸びている。

アドレス：http://twitter.com/momas_kouhou

ツイート：797、フォロワー：4,860、フォローワー：5,110(3月末日現在)。

4. その他

- ・動画を利用して美術館の魅力を発信できるようYouTubeのアカウントを取得した。
- ・県展開催期間限定で、MOMASコレクション観覧料を半額にする割引サービスを実施した。
- ・美術館周辺の飲食店の協力を得て、企画展半券の持参による特別サービスを実施した。
- ・与野本町ショッピングセンターのデジタルサイネージに、企画展や椅子の情報を提供した。
- ・県内のイオン全店舗にポスターを掲出した。

■担当後記

◆いずれの事業のアンケートでも、内容や雰囲気、職員の対応について96パーセント以上の方が「たいへん良かった」「良かった」と答えてくださり、満足度の高い数字が得られた。

◆休館中は、ホームページを利用してさまざまな活動の告知や報告を行いたいと考えていた。しかし、改ざんによりホームページも「休館」状態となってしまう、運営が滞ってしまったのが残念であった。(大越久子)

◆ホームページのセキュリティを確保するためサーバの移転を行った。これに伴い管理ソフトが変わったので、ホームページを全て作り直したが、従前のデザインと同じく、見やすく、使いやすいものとなった。

(松下晋治)

■広報記録

<埼玉県立近代美術館>

- ・「埼玉県立近代美術館」『北浦和 Style』2013年5月2日発行
- ・「埼玉県立近代美術館 美術を楽しむための独自の工夫がおもしろい。」『Hanako』2013年9月12日号
- ・「近美と県展ーさいたまアートシーンの最前線」『美術屋・百兵衛』2013年秋号
- ・「埼玉県立近代美術館」『おとなのびあ首都圏版2013秋ー2014春 絶対見るべき美術展 完全案内』2013年10月10日発行
- ・「埼玉県立近代美術館に潜入。」『Rip Lip』2014年1月号
- ・「埼玉県立近代美術館」『日本の美術館 ベスト250完全案内』2014年2月28日発行、ぴあムック
- ・「埼玉県立近代美術館館長 建島哲」『アコレおみや』2014年1-2月号
- ・「2012年美連協大賞「奨励賞」埼玉県立近代美術館「日本の70年代 1968-1982」」『美術の窓』2014年2月号
- ・「北浦和公園」『J:COMクーポン』2013年5月号
- ・「北浦和公園」『J:COMチャンネル 番組ガイド』2013年5月号
- ・「北浦和公園」『たまログ』2013年5月号
- ・『UR都市機構 浦和・川口エリアガイド』
- ・TBSラジオ「朝イチ 埼玉応援団！」2013年6月1日

<ホームページ改ざん>

- ・「不正アクセスで県立近代美術館のHP公開停止」『埼玉新聞』2013年5月18日
- ・「近代美術館HP改ざん」『読売新聞』2013年5月18日
- ・『産経新聞』2013年5月18日

■刊行物

平成24年度版年報、平成25年度版要覧、平成25年度版ミュージアム・カレンダー、館広報紙『ソカロ』を刊行した。要覧はホームページでも閲覧できる。

■ソカロ

館広報紙『ソカロ』(A3版2面、カラー印刷)を、2か月毎(年3回、各15,000部。長期休館中は休刊)に編集・発行・配布した。

■2013年6-7月号(#66 5月20日発行)

- ・デザインが夢見るもの 企画展「浮遊するデザイナーー倉俣史朗とともに」(平野到)
- ・サクラソウの壁画、覚えてますか? 生誕100年記念 点描の詩情ー高田誠の世界(中村誠)
- ・どうぞよろしく! (大浦周)
- ・ミュージアムショップからのおすすめ商品「バーディペーパーナイフ」(番井優美)
- ・MUSEUM NEWS 6-7



■2013年8-9月号(#67 7月20日発行)

- ・松本での会話 「浮遊するデザイナーー倉俣史朗とともに」 (建島哲)
- ・毀誉褒貶の画家ドラクロワとカリカチュアーリサーチ・プログラム「ドラクロワをめぐる」ー(渋谷拓)
- ・「断崖絶壁」のデザインの魅力(水谷孝次、聞き手:吉岡知子)
- ・北浦和公園の見どころと、公園を守る職員の仕事(阿部恵一)
- ・ミュージアムショップからのおすすめ商品「キットパスきっず」(遠見薫)
- ・MUSEUM NEWS 8-9



■2014年4-5月号(#68 3月20日発行)

- ・大いなる帰郷 企画展「ピカソの陶芸ー地中海にはぐくまれて」(平野到)
- ・木との対話、新たに MOMASコレクション I (大浦周)
- ・大規模改修工事(第1期)の完成報告(鈴木亨)
- ・ミュージアムショップのオリジナルマーク(山田恵)
- ・MUSEUM NEWS 4-5



■図書資料の収集と公開

美術館活動を進める上で、必要な基礎的及び専門的資料を収集し、併せてこれを一般に公開することにより、県民が美術に親しみ、理解と鑑賞を深める機会を提供している。

■蔵書冊数一覧

・一般書

	分 類	平成24年度 まで	平成25年度	計
購 入	A 美術総記	2,380	26	2,406
	B 日本美術	2,503	29	2,532
	C 西洋美術	3,085	10	3,095
	D 東洋 その他の美術	183	0	183
	E 図録	835	12	847
	F 埼玉資料	237	0	237
	G 関係諸学	768	5	773
	小 計	9,991	83	10,074
受贈 (一般図書・他館図録)	29,002	559	29,561	
合 計	38,993	642	39,635	

・美術雑誌(バックナンバーを除く)

購入 25タイトル(うち洋雑誌4タイトル)

受贈 11タイトル

計 36タイトル

開室日数 130日

利用者数 2,071人

レファレンス受付件数 90件

■書架の増設

資料の増加に伴い、閲覧室に低書架を3台増設した。

■椅子の美術館

約60種類所蔵している内外のグッド・デザインの椅子やアートな椅子を、入館者に自由に座って楽しんでもらった。これらの椅子は、企画展やMOMASコレクションの展示替えに合わせて定期的に入れ替え、常時20～30脚程度を館内各所に配置しており、ホームページの「今日座れる椅子」で紹介している。

■ハイビジョン・コーナー

1階エントランス・ホールの休憩コーナーでは、65インチの大画面により、当館の収蔵作品や19世紀以降の優れた美術作品等を、高精細な映像と音声で紹介した。

■トピックス

■トピックス[1]

座れる段ボールの椅子グランプリ

学校との連携強化と、創造力と創意工夫する力の育成を目的に、県内小・中学校、高等学校、特別支援学校の児童、生徒を対象に本事業を開催した。段ボールのみを素材に、大人が座ることができる椅子を3人以上のグループで制作して応募するコンクール形式で実施し、19校、49グループが参加した。

8月9日（金）当館講堂において建昌哲館長、埼玉大学教授・高須賀昌志氏、大越学芸員が審査を行い、以下の入賞作品と入選作品を決定した。

- ① 総合グランプリ
越谷西高校美術部Aチーム
「ゆりイス」
(県立越谷西高等学校)



- ② チームワーク賞
大宮八幡中学校美術部
「被害者M」
(さいたま市立大宮八幡中学校)



- ③ 高等学校グランプリ
杉戸高校美術部1年
「サンドイッチ型折りたたみイス」
(県立杉戸高等学校)



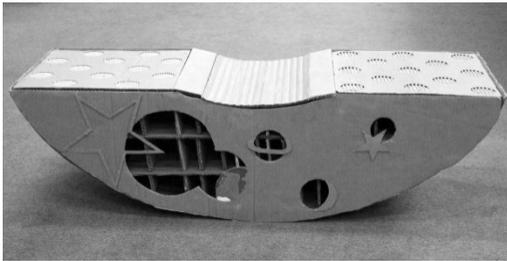
- ④ 中学校グランプリ
BBboys
「スターチェアー」
(行田市立長野中学校)



- ⑤ 高等学校準グランプリ
クラフトデザイン
「ワッフル・チェアー」
(県立芸術総合高等学校)



- ⑥ 中学校準グランプリ
Captain TOMOYO
「friend “ship”」
(小川町立東中学校)



- ⑦ 奨励賞 (小学校)
美園小学校実験・工作クラブAチーム
「4本脚スツール」
(さいたま市立美園小学校)



- ⑧ 奨励賞 (特別支援学校)
安定感。
「Dream tortoise (夢の亀)」
(県立特別支援学校さいたま桜高等学園)



8月27日(火)～9月1日(日)の期間、受賞作品、入選作品を館内に展示し、来館者に紹介するほか、8月31日(土)に受賞式を行うとともに作者によるプレゼンテーションを中心とした鑑賞会を行い、広くアピールした。



8月31日に行われた鑑賞会の様子

■広報記録

<新聞>

- ・竹内章「県立近代美術館コンテスト開催 個性豊か「座れる段ボール」」『東京新聞』2013年8月21日

<雑誌、ミニコミ誌等>

- ・「埼玉県立近代美術館 学校との連携事業」『県教委だより』2013年7月24日号
- ・告知：『J:COMクーポン』2013年9月号／『J:COMチャンネル 番組ガイド』2013年9月号

■担当後記

◆今年度は、改修工事に伴い9月以降の団体利用の受け入れができなかったが、学校連携が改修工事で降も継続できるよう、連携強化を図り、「座れる段ボールの椅子グランプリ」事業を実施した。参加校の児童、生徒、教員からは、今後も継続して欲しいといった声や、美術部の活性化につながる取り組みであり、子ども達の励みとなる、といった評価があった。美術館に親しみを持ってもらい、関心を高める事業として次年度も実施したいと考えている。
(山水 明)

■トピックス[2]

大規模改修工事（第1期）の報告

昭和57年11月に開館した埼玉県立近代美術館は建築後31年を経て、施設・設備の老朽化や生活様式の変化に伴い平成25年度より2か年間かけて大規模改修工事を実施する予定である。このたび、大規模改修工事（第1期）を平成25年9月2日から平成26年4月1日の期間に全面休館して実施した。

第1期工事では、主に常設展示室、お客様用トイレを中心に改修した。その他にも、空調設備、給排水設備の機器等の更新を行った。

具体的には、まず、常設展示室においては、展示室内装を一新し、照明設備を高効率化した。また、展示室内の温湿度環境をより向上させるため、空調機器の更新や展示室の高断熱化、高气密化を行った。

次に、お客様用トイレにおいては、これまでお客様から強い要望があった便器の洋式化をはじめ、ベビーチェア等の設置、自動水栓など全面的な改修を行った。

なお、平成26年4月2日より当館はリニューアルオープンするが、再び、平成26年9月から平成27年3月にかけて大規模改修工事（第2期）を実施するため全面休館する予定である。第2期工事では、主に企画展示室、一般展示室、外壁、エレベーターの改修を計画している。

また、大規模改修工事とは直接関係ないが、開館以来長年の懸案であった一般駐車場の確保について提携駐車場という形態での提供が可能となった。民間企業（三井のリパーク）は、平成25年11月に埼玉県が所有する旧労働会館跡地を土地貸借し、24時間営業の時間貸し駐車場を新設した。併せて、美術館観覧者への割引サービス（常設展観覧で駐車料金100円割引、企画展観覧で駐車料金300円割引）を始めた。

■担当後記

今年度は建築後30年以上経過した美術館の大規模改修工事の第1期工事を行った。工事施工者と学芸員の間に立ち、双方が納得でき、かつ、円滑に工事が進むように何度も何度も打ち合わせを行い、合意形成を図ることに苦心した。

平成26年度には、大規模改修工事（第2期）を予定している。2か年かける改修工事の集大成として、より一層引き締めて取り組んでいきたい。（鈴木 亨）

■広報記録

- ・木村健二「県立近代美術館改修工事で休館」『毎日新聞』2013年8月31日
- ・砂生敏一「県立近代美術館改修工事で休館」『埼玉新聞』2013年8月31日
- ・「県立近代美術館が長期休館」『産経新聞』2013年9月2日
- ・「テレ玉ニュース」『テレビ埼玉』2014年4月2日
- ・砂生敏一「リニューアルの県立近代美術館」『埼玉新聞』2014年4月3日
- ・「近代美術館がリニューアル」『産経新聞』2014年4月3日
- ・「埼玉県立近代美術館リニューアルオープン」『新美術新聞』2014年4月11日号



常設展示室（工事中）



常設展示室（完成後）

■トピックス[3]

SMF (Saitama Muse Forum) 事業概要

県内5つの公立美術館がゆるやかに連携し、さまざまな方々の協力を得ながら5年間(2008~2012年)にわたって実施してきた文化庁のモデル事業・補助事業の成果を継承し、今後の展開に活かそうと、アート関係者のプラットフォーム、SMF (Saitama Muse Forum) が、2013年4月、次のような活動方針を掲げ、メンバーシップ制で再出発した。

SMF (Saitama Muse Forum) 趣意書

SMF (Saitama Muse Forum) は、既成のジャンルにとらわれない自由な視点からさまざまなアートプログラムを企画して、アートをめぐって多くの人がつながっていくためのプラットフォームです。

SMFは、埼玉県立近代美術館に事務局を置き、埼玉県内各地のミュージアムをキーステーションとし、美術、建築、音楽、文学、ダンス、パフォーマンス、地域活動など、さまざまな領域のメンバーが活動します。

SMFは、さまざまな生き方をしてきた人が集い、触発しあいながら、まだ見たことも聴いたことも経験したことのないようなモノゴトを創りだすこと、これまで見えなかったモノゴトが見えるようになること、これまでとモノゴトが違ってみえるようになり、生きることが豊かになることを目指します。

会員は、正会員25名、フレンド会員5名、サポート会員4団体で出発した。(SMFのこれまでの活動、会則、会員名簿は、SMFのホームページ <http://www.artplatform.jp> 参照)

平成25年度は文化庁に助成申請を行わず、定例のフォーラムやラウンドテーブル、各ミュージアムとの連携事業等の経費は、会費と寄付で賄うかたちとなった。今年度を実施した事業は以下の通り。

【主催事業】(定例のフォーラムを除く)

- 5月19日 「入間・飯能新緑アート散歩」(ヴォリーズ設計教会、入間市博物館、伊東孝志展) 参加11名
- 6月 — さいたまゴールドシアター『重本恵津子朗読集 旅につむいだことば』CD制作・発行
- 7月14日 アート井戸端かいぎ:「高橋博夫—会田誠 論」(埼玉県立近代美術館) 参加18名
- 8月1日 「アリット 子ども広場ワークショップ」(入間市博物館) 参加39名
- 9月8日 アート井戸端かいぎ「川越探訪と蔵の会メンバーの講話」(川越市立美術館ほか) 参加14名

- 10月19日 「東野高等学校見学ツアー」 参加12名
 - 10月19日 アリット秋のお茶まつり 同時開催1日だけの小品展「田中芳の夢」(入間市博物館) 参加68名
 - 11月10日 「『授業』の展覧会—図工・美術を学び直す」を振り返って」(うらわ美術館) 参加14名
 - 12月1日 「小川アート散歩」(小川町) 参加12名
 - 12月22日 SMFラウンドテーブル2013「空っ風xつむじ風—群馬から埼玉へ風が届けるアートな日」(埼玉県立近代美術館) 参加22名
 - 1月18日 ワークショップ「アトリアに獅子舞がやってくる!? 声と体でお囃子をつくろう」(川口市立アートギャラリー) 参加24名
- (*参加人数は講師・関係者含む)

【関連事業・協力事業】

- 5月26日 「サツキバレノシタ、ユレルハンモックヲ」公演(浦和、藤井利子・上原尚美スタジオ/SMF会員の共同企画)
- 10月27日 「ハローハローハロウィン変身大作戦」(北浦和西口銀座商店街/きたうらワン提供・広報協力と当日運営協力)
- 10月~11月 「里山アート展」の「記憶の容」プロジェクト(新潟県阿賀町豊実/1月の「SMFさんなすび展」が機縁となって実現)
- 11月9日 コレオグラファーの目vol.11「足袋nce@越谷能楽堂」(越谷能楽堂/広報協力)
- 11月17日 ヒアシンスハウス夢まつり(ヒアシンスハウス・別所沼会館/連携協力)

【SMF プレス】の刊行(今年度はWeb版のみ、バックナンバー含めホームページで閲覧できます)

- SMF プレス第14号 8月23日発行
- SMF プレス第15号 11月8日発行
- SMF プレス第16号 12月6日発行
- SMF プレス第17号 2月28日発行



北浦和のハロウィンフェスタにきたうらワンも一役

■埼玉県立近代美術館フレンド

埼玉県立近代美術館フレンドは、会員が美術館の情報を直接受け取ることで美術館活動に積極的に参加し、また会員相互の交流を深め、美術館活動を支援することを目的としている。略称：ファミス(fam. s=friends of art museum, saitama)。

■会員数

654件(人)(平成26年3月31日現在)

内訳：一般会員319人、シルバー会員150人、学生会員9人、家族会員113家族(402人)、賛助会員(個人)21人、賛助会員(法人)21団体、特別賛助会員21団体。

■活動内容

1. 企画委員会

○ファミス美術館見学会

「初秋・魅惑の九州・美術館と古伊万里」

期 間：平成25年10月15日(火)～10月17日(木)

見学地：石橋美術館、熊本美術館、出光美術館、北九州市美術館、源右衛門工房、長崎グラバー園、由布院

参加者：24名(うち会員20名)

2. 広報委員会

○『ファミス通信』第31号発行(5月)

3. ミュージアム・ショップ委員会

○休館セールの開催

期間：平成25年8月1日(木)～9月1日(日)

4. 事務局

○『平成24年度フレンド年報』発行(7月)

■担当後記

◆9月2日から3月31日まで美術館が改修工事のため休館した。その関係でファミスの活動も例年より少ない活動にとどまったが、美術館見学会や会報誌の発行等により美術館活動に貢献することができた。

(事務局・野口恵子)

■埼玉県立近代美術館フレンド役員名簿

平成26年3月31日現在

氏名	現職等	備考
清水 武司	秩父地域利用者 写真家	会長 企画委員長
内田 和子	秩父地域利用者	副会長
増野 武夫	県北地域利用者	顧問
石川 信子	県南地域利用者	ミュージアム・ショップ 運営委員長
石原 猛男	県西地域利用者 松田産業(株) 監査役	
小林 真	秩父地域利用者 デザイナー (株)コア 代表	広報委員
大久保 敏三	県西地域利用者 (株)丸広百貨店 代表取締役社長	
太田 せつ子	県東地域利用者 第一生命保険(株) 教育部顧問	
滝沢 布沙	県北地域利用者 染色家	
福島 勤	県南地域利用者 (株)テレビ埼玉 常務取締役	
丸山 晃	県西地域利用者 埼玉新聞社 相談役	
水野 晶子	県南地域利用者	ミュージアム・ショップ 運営委員
金川 京子	県南地域利用者	広報委員長
小口 良三	県南地域利用者	監事
田沼 利将	県南地域利用者 (財)長島記念財団 常務理事	監事

■貸館事業

当館地階には県内の美術団体や美術家の作品発表の場として、一般展示室1～4が設けられている。この一般展示室が、美術館の目的や運営方針にふさわしい利用に供されるよう利用申込みについて審査するため、埼玉県立近代美術館利用審査会が設置されている。また、講演会や集会などの会場として講堂を貸し出している。平成25年度の一般展示室の利用状況は次表のとおりで、団体展、グループ展、個展などの形態で、日本画、洋画、彫塑、現代美術、書、写真などさまざまな分野の作品が展示された。

一般展示室

- ・利用単位：1週間(月曜日の午後1時→翌週月曜日正午)。連続の場合は最長3週間。
- ・使用料(1週間につき)：

一般展示室 1—	227,850円
2—	88,200円
3—	51,450円
4—	29,400円

講堂

- ・利用単位：1時間 ・使用料：1時間あたり2,100円

■一般展示室利用状況

No.	展覧会名	開催期間 H25年度		開催 日数 (日)	利用室	分野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
		自	至						
1	U展	4月2日	4月7日	6	1～3	洋画・ドローイング・版画・彫刻	212	1,011	168
2	ありあるクリエーションズ美術企画	4月2日	4月7日	6	4	絵画・現代美術ほか	34	521	86
3	第29回さいたま蘭秀100選展	4月9日	4月14日	6	1	書	100	1,558	259
4	浦和写真クラブ作品展「自然と風土」	4月9日	4月14日	6	2	写真	79	1,212	202
5	35周年記念藤画会日本画展	4月9日	4月14日	6	3	日本画	55	1,044	174
6	彩美展	4月9日	4月14日	6	4	絵画、工芸	40	1,195	199
7	第3回九条美術展	4月16日	4月21日	6	1～3	絵画、彫刻、工芸ほか	214	1,257	209
8	第4回純銀粘土作品展	4月16日	4月21日	6	4	工芸	160	756	126
9	第37回埼玉女流工芸展	4月25日	4月28日	4	1・4	工芸	207	3,827	956
10	第9回群炎埼玉支部展	4月23日	4月28日	6	2	油彩、工芸、写真ほか	74	1,201	200
11	渡会不二男・山口幸子 和紙ファイバーアートの世界展	4月23日	4月28日	6	3	水彩、和紙	22	1,896	316
12	第17回埼玉二科展	4月30日	5月5日	6	1～4	油彩、彫刻、デザイン	167	1,544	257
13	第63回埼玉県美術展覧会(県展)	5月28日	6月19日	20	1～4	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真	1,659	28,720	1,436
14	第32回埼玉県高等学校写真連盟写真展	6月26日	6月30日	5	1	写真	905	1,470	294
15	第18回在在展	6月26日	6月30日	5	2	水彩、油彩、版画、彫刻	47	532	106
16	ポローニア絵画グループ展	6月26日	6月30日	5	3	油彩、パステルほか	42	496	99
17	王淑芝日本画、彩墨画展	6月26日	6月30日	5	4	日本画、彩墨画	64	504	100
18	第12回埼玉独立展	7月2日	7月7日	6	1	水彩、油彩、ドローイング	70	545	90
19	第22回工芸新樹会公募展	7月2日	7月7日	6	2	工芸	50	552	92
20	齋藤敬治油絵展	7月2日	7月7日	6	3	油彩	38	401	66
21	30回記念ロバの会展	7月2日	7月7日	6	4	水彩、油彩	46	675	112
22	第51回新構造埼玉展	7月9日	7月14日	6	1	水彩、油彩ほか	121	719	119
23	第29回アート現宇展	7月9日	7月14日	6	2	油彩、アクリル、コラーージュ	34	554	92
24	第26回白の会洋画展	7月9日	7月14日	6	3	油彩	28	775	129
25	15th BANSEI EXHIBITION	7月9日	7月14日	6	4	インスタレーション	20	519	86
26	第40回記念埼玉二紀展	7月16日	7月21日	6	1～4	油彩、彫刻	127	940	156
27	第9回水彩連盟埼玉西支部展	7月23日	7月28日	6	1	水彩	54	1,325	220
28	第34回太平洋埼玉展	7月23日	7月28日	6	2・3	水彩、油彩、版画	89	1,316	219
29	第1回埼玉中央美術家協会展	7月30日	8月4日	6	1	日本画、水彩ほか	95	1,484	247
30	第4回埼玉植物画の会作品展	7月30日	8月4日	6	2	水彩	89	1,943	323
31	田中いく子、美沙姉妹展	7月30日	8月4日	6	3	油彩、アクリル	25	1,418	236
32	ヨシズミトシオ展	7月23日	8月4日	12	4	油彩、版画ほか	26	1,012	84
33	第30回埼玉県写真サロン	8月6日	8月11日	6	1	写真	519	1,727	287
34	第20回基の会展(記念展)	8月6日	8月11日	6	2	油彩、アクリル	19	991	165
35	第23回旺玄会埼玉支部展	8月6日	8月11日	6	3・4	油彩、水彩、アクリルほか	75	1,371	228
36	第47回埼玉平和美術展	8月13日	8月18日	6	1～4	絵画、彫刻、工芸ほか	326	2,717	452
37	第27回墨芳展	8月21日	8月25日	5	1・3	書	136	992	198
38	第17回西遊会美術展	8月20日	8月25日	6	2	水彩、油彩ほか	38	836	139
39	自写自賛写真展IV(小中四平写真展)	8月20日	8月25日	6	4	写真	53	1,028	171
40	第57回埼玉書道展	8月29日	9月1日	4	1～4	書	733	1,761	440

■平成25年度入館者数一覧

(平成26年3月31日現在)

	入館者数	展 示 事 業						
		MOMAS コレクション	企 画 展 示			移 動 美 術 展		
			たまもの 埼玉県立近代 美術館大コレ クション展	浮遊するデザ インー倉俣史 朗とともに	企画展計	ポスター・デ ザイン	美の万華鏡	風光彩美
開 催 期 間	4/1(月) ～ 9/1(日)	4/1(月) ～ 9/1(日)	4/4(木) ～ 5/19(日)	7/6(土) ～ 9/1(日)		9/25(水) ～ 10/20(日)	10/8(火) ～ 10/28(月)	11/30(土) ～ 3/16(日)
(日) 数	130	128	42	51	93	26	21	88
(人) 観 覧 者 数 利 用 者 数	111,476	21,182	7,196	11,818	19,014	—	5,555	7,229
(人) 1日当たり平均	858	165	171	232	204	—	265	82
有 料	一 般 個 人	3,082	2,316	3,945	6,261	観 覧 料 無 料		
	一 般 団 体	1,056	140	458	598			
	大 高 個 人	350	199	744	943			
	大 高 団 体	5	95	44	139			
	(人) 合 計	4,493	2,750	5,191	7,941			
(人) 無 料	—	16,689	4,446	6,627	11,073	—		

	普 及 事 業					貸 館 事 業	
	企画展 関連	MOMAS コレクション 関連	教育・普及 関連	SMF事業 関連	図書室	一 般 展示室	埼玉県 美術展覧会
開 催 期 間	4/6(日) ほか	4/14(日) ほか	4/6(土) ほか	4/1(月) ～ 3/31(月)	4/1(月) ～ 9/1(日)	4/1(月) ～ 9/1(日)	5/28(火) ～ 6/19(水)
(日) 数	13	6	44	10	130	87	20
(人) 観 覧 者 数 利 用 者 数	601	133	1,813	234	2,071	45,625	28,720
(人) 1日当たり平均	46	22	41	23	16	524	1,436
有 料	一 般 個 人	—	—	—	—	—	—
	一 般 団 体						
	大 高 個 人						
	大 高 団 体						
	(人) 合 計						
(人) 無 料	—	—	—	—	—	—	—

月別入館者数

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
(人) 入 館 者 数	17,363	20,584	30,723	16,412	24,727	1,667	—	—	—	—	—	—	111,476

※平成25年9月2日(月)から平成26年3月31日(月)まで、大規模改修工事のため休館した。

■名簿

■埼玉県立近代美術館協議会委員

平成26年3月31日現在

選出区分	氏名	現職
学校教育関係者	村上 博俊	埼玉県美術教育連盟連盟長 川口市立仲町中学校長
	横田 俊治	埼玉県市町村教育委員会連合会会長 秩父市教育委員会委員長
社会教育関係者	塗師 祥一郎	埼玉県美術家協会会長 洋画家
	遠山 公一	(公財)遠山記念館理事長 慶應義塾大学文学研究科委員
家庭教育関係者	志村 洋子	埼玉県家庭教育振興協議会理事 埼玉大学教育学部教授
学識経験者	井原 實	(株)与野フードセンター代表取締役社長
	岩瀬 千潮	タウン誌編集者 「アコレおおみや」編集室代表
	恩地 元子	(一社)東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科 非常勤講師
	國島 徳正	さいたま市公共施設マネジメント会議委員
	佐滝 剛弘	NHKさいたま放送局副局長 日本イコモス委員
	神保 ふみえ	染色画家 春日部市景観絵画コンクール審査員
	野口 真理	陶芸家 (一社)日本建築美術工芸協会 総務・広報委員会会報編集部会部長

■埼玉県立近代美術館資料選考評価委員会委員

平成26年3月31日現在

氏名	現職	任期
青木 茂	明治美術学会会長	25. 5. 1～27. 4. 30
酒井 忠康	世田谷美術館長	25. 5. 1～27. 4. 30
真保 亨	筑波大学名誉教授	25. 5. 1～27. 4. 30
山梨 俊夫	国立国際美術館長	25. 5. 1～27. 4. 30
金子 賢治	茨城県陶芸美術館長	25. 5. 1～27. 4. 30

■埼玉県立近代美術館利用審査会委員

平成26年3月31日現在

氏名	現職	任期
飯野 一朗	彫金作家 東京芸術大学教授	24. 12. 20～26. 12. 19
小澤 基弘	洋画家 埼玉大学教育学部教授	24. 12. 20～26. 12. 19
栗崎 浩一路	書家 熊谷市美術家協会顧問	24. 12. 20～26. 12. 19
齋藤 研	洋画家 独立美術協会会員	24. 12. 20～26. 12. 19
内藤 五瑠	日本画家 日本美術院特待	24. 12. 20～26. 12. 19
増田 明弘	写真家 全日本写真連盟埼玉県本部顧問	24. 12. 20～26. 12. 19
代島 常造	県教育局 生涯学習文化財課長	25. 4. 1～26. 12. 19

■埼玉県立近代美術館職員

平成26年3月31日現在

担当	職名	氏名
総務・管理担当 総務担当 管理担当	館長(非常勤)	建 畠 哲
	副館長	依 田 英 樹
	担当部長	町 田 智
	担当課長	小 野 圭 弘
	主任	佐 藤 嘉 章
	主事	山 田 恵
	担当課長	鈴 木 亨
	主任	田 中 浩 一 郎
	主任	結 城 孝
	主事	阿 部 恵 一
学芸担当 企画展、教育・広報担当 企画展担当 教育・広報担当 常設展・収蔵品担当	主席学芸主幹	前 山 裕 司
	主任学芸員	平 野 到
	学芸員	吉 岡 知 子
	学芸主幹	大 越 久 子
	担当課長	山 水 明
	担当課長	田 中 耕 次
	主任	松 下 晋 治
	専門員兼学芸員	伊 豆 井 秀 一
	主席学芸主幹	中 村 誠
	主任学芸員	梅 津 元
学芸員	渋 谷 拓	
学芸員	大 浦 周	
嘱託(非常勤)	鏑 木 あ づ さ	

埼玉県立近代美術館年報 [平成25年度]

発行：埼玉県立近代美術館

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤9-30-1

電話：048-824-0111(代)

平成26年8月12日